

# 高齢者等実態把握調査 調査結果報告書（豊川市）

令和5年6月  
豊川市



## 目次

|   |                          |    |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 調査の概要.....               | 1  |
| ◆ | 調査目的 .....               | 1  |
| ◆ | 調査設計 .....               | 1  |
| ◆ | 回収結果 .....               | 1  |
| 2 | 調査結果【高齢者ニーズ調査】 .....     | 2  |
| ◆ | 宛名のご本人および家族について.....     | 2  |
| ◆ | 心身の状態について .....          | 6  |
| ◆ | 食えることについて .....          | 14 |
| ◆ | 毎日の生活について .....          | 18 |
| ◆ | 健康について .....             | 21 |
| ◆ | 介護予防について .....           | 25 |
| ◆ | 生活支援、社会参加について .....      | 28 |
| ◆ | 介護について .....             | 35 |
| 3 | 調査結果【要介護等認定者ニーズ調査】 ..... | 42 |
| ◆ | 宛名のご本人および家族について.....     | 42 |
| ◆ | 介護について .....             | 45 |
| ◆ | 住まい、介護保険について .....       | 50 |
| ◆ | 中心介護者について .....          | 55 |

# 1 調査の概要

## ◆ 調査目的

令和6年度から令和8年度までを計画期間とする東三河広域連合の第9期介護保険事業計画の策定に向けて、東三河地域の高齢者ニーズの把握や地域課題等の明確化を実施し、計画の基礎資料として活用するため、高齢者等実態把握調査を実施しました。

## ◆ 調査設計

|      |                    |                         |
|------|--------------------|-------------------------|
| 調査名称 | 高齢者等実態把握調査         |                         |
| 調査種別 | 高齢者ニーズ調査           | 要介護等認定者<br>ニーズ調査        |
| 調査対象 | 要介護等認定者を除く高齢者      | 2号被保険者を除く要介護・要<br>支援認定者 |
| 抽出方法 | 無作為抽出              |                         |
| 調査時期 | 令和4年8月1日～令和4年8月22日 |                         |
| 調査方法 | 郵送配布・郵送回収          |                         |

※高齢者ニーズ調査および要介護等認定者ニーズ調査の問4は居住自治体の設問のため、本概要版では掲載を省略しています。

## ◆ 回収結果

|       |          |              |
|-------|----------|--------------|
| 調査種別  | 高齢者ニーズ調査 | 要介護等認定者ニーズ調査 |
| 配布数   | 3,530 件  | 2,860 件      |
| 回収数   | 2,543 件  | 1,766 件      |
| 有効回収率 | 72.0%    | 61.7%        |

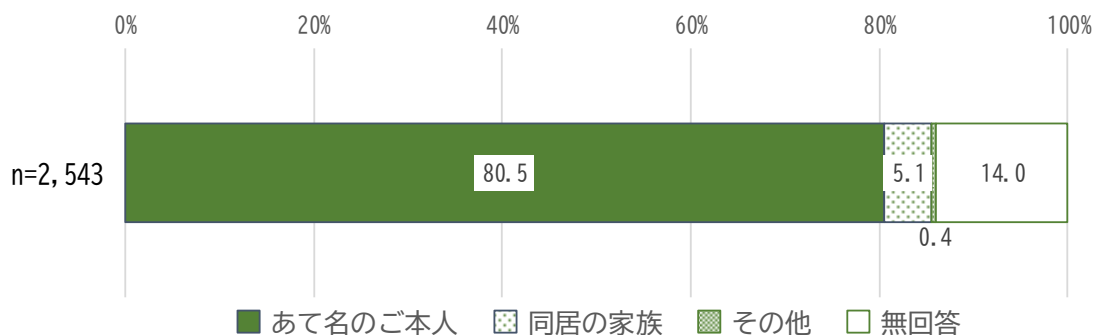
## 2

## 調査結果【高齢者ニーズ調査】

### ◆ 宛名のご本人および家族について

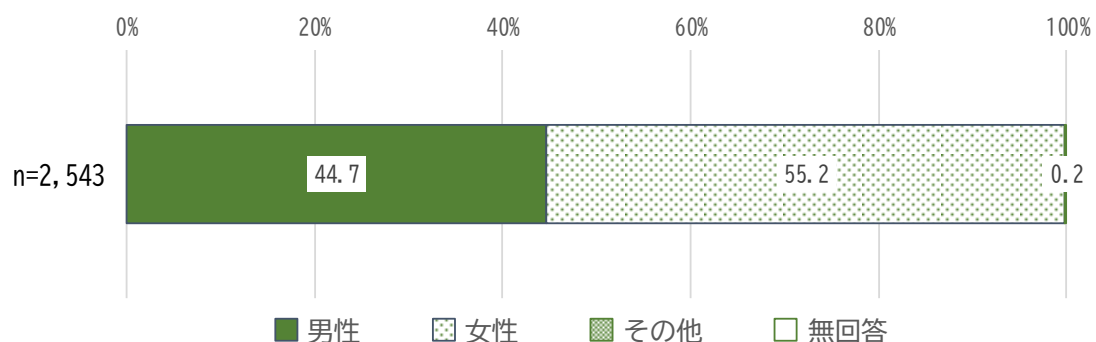
問1 この調査票にご回答いただいているのは、どなたですか。

高齢者ニーズ調査の回答者は、「あて名のご本人」が80.5%、「同居の家族」が5.1%となっています。



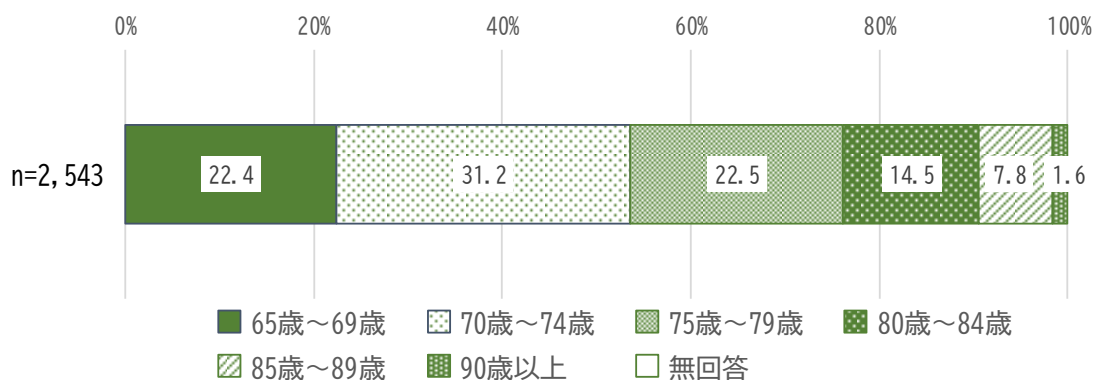
問2 あなたの性別をお答えください。

性別は、「男性」が44.7%、「女性」が55.2%となっており、「女性」の回答割合が高くなっています。



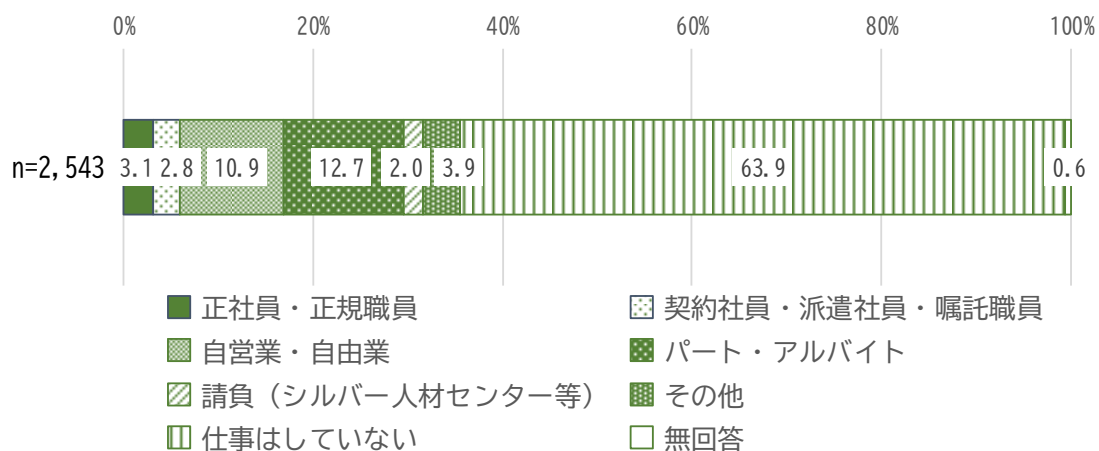
問3 あなたの令和4年8月1日現在の満年齢をお答えください。

年齢は、「70歳～74歳」が31.2%と最も高く、次いで「75歳～79歳」が22.5%、「65歳～69歳」が22.4%となっています。



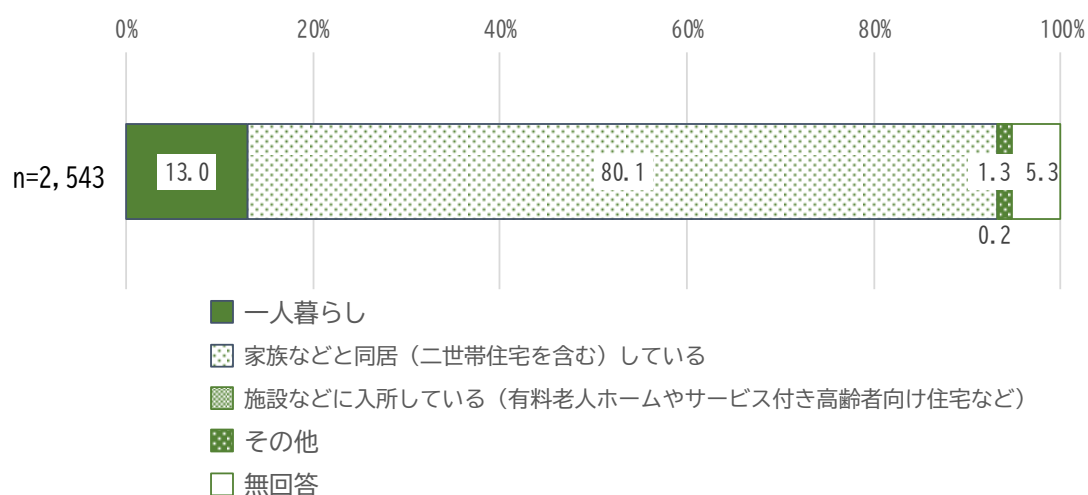
### 問5 あなたの雇用形態をお答えください。

雇用形態は、「仕事はしていない」が63.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が12.7%、「自営業・自由業」が10.9%となっています。



### 問6 あなたの現在の世帯の状況をお答えください。

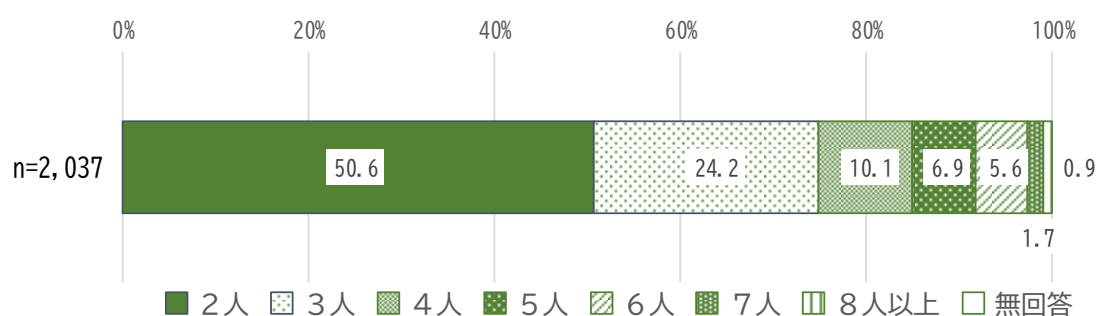
現在の世帯の状況は、「家族など同居（二世帯住宅を含む）している」が80.1%と最も高く、次いで「一人暮らし」が13.0%となっています。



### 問6-1 問6で「家族など同居している」に○をつけた方にうかがいます。

（1）あなたは、ご自身を含めて何人で暮らしていますか。

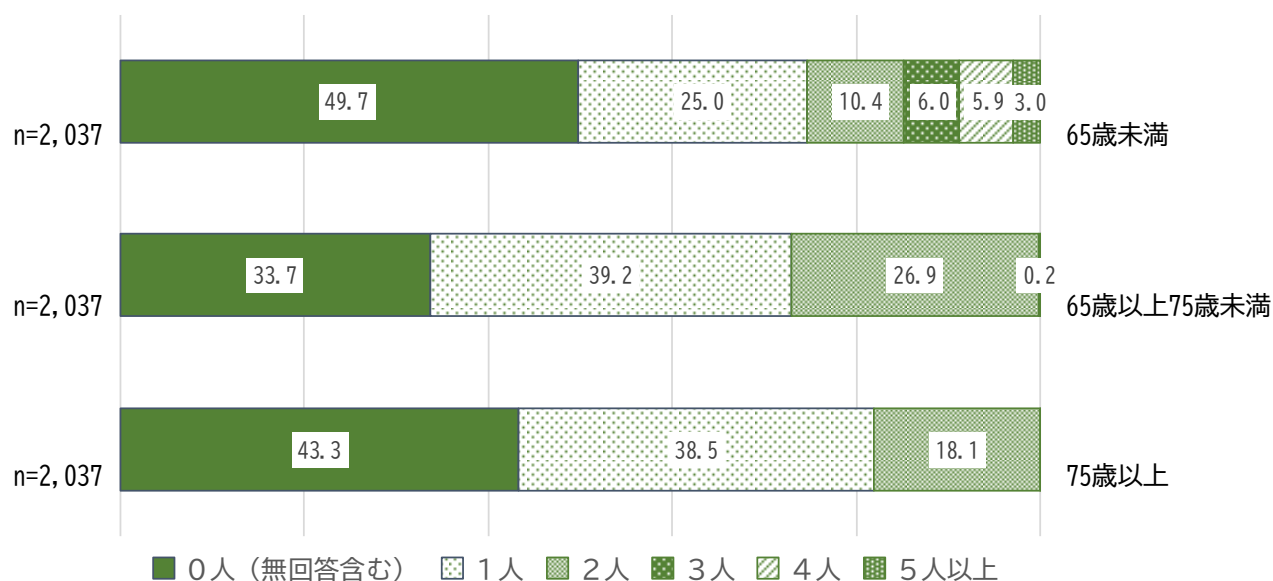
同居者数は、「2人」が50.6%と最も高く、次いで「3人」が24.2%、「4人」が10.1%となっています。



問6-1 問6で「家族など同居している」に○をつけた方にうかがいます。

(2) そのうち、65歳未満、65歳以上75歳未満、75歳以上の方はそれぞれ何人ですか。

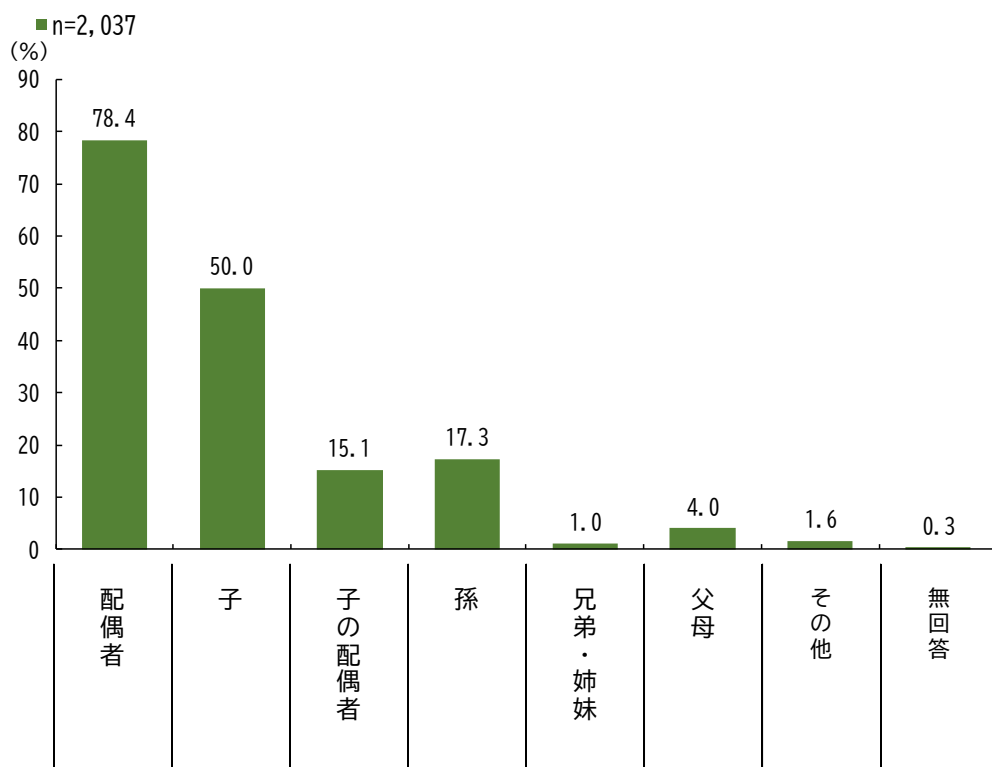
同居している人数は、65歳未満は「0人」が49.7%、65歳以上75歳未満は「1人」が39.2%、75歳以上は「0人」が43.3%とそれぞれ最も高くなっています。



問6-1 問6で「家族など同居している」に○をつけた方にうかがいます。

(3) 同居されている方はどなたですか。

同居者の構成は、「配偶者」が78.4%と最も高く、次いで「子」が50.0%、「孫」が17.3%となっています。



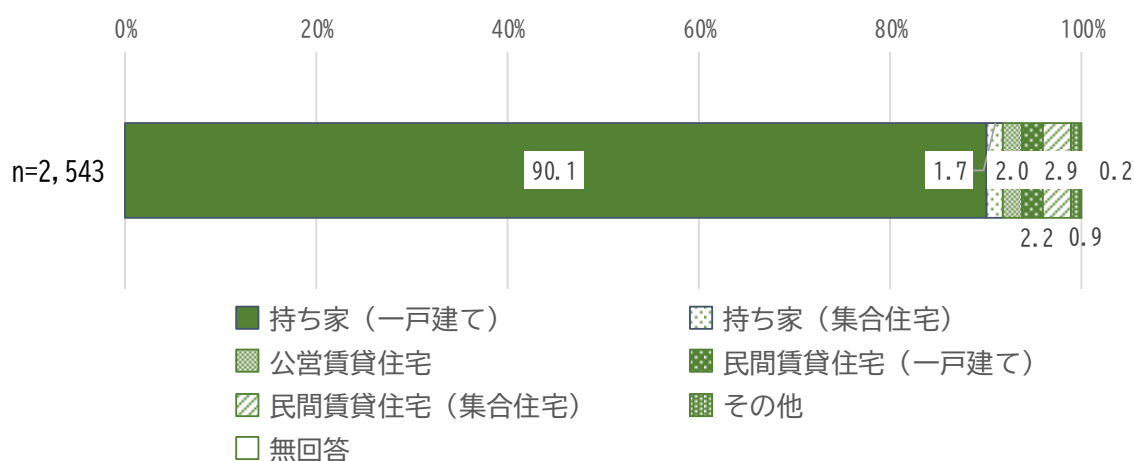
### 問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

普段の生活での介護・介助を必要としているかは、「介護・介助は必要ない」が90.0%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.6%となっています。



### 問8 あなたのお住まいをお答えください。

居住形態は、「持ち家（一戸建て）」が90.1%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が2.9%となっています。



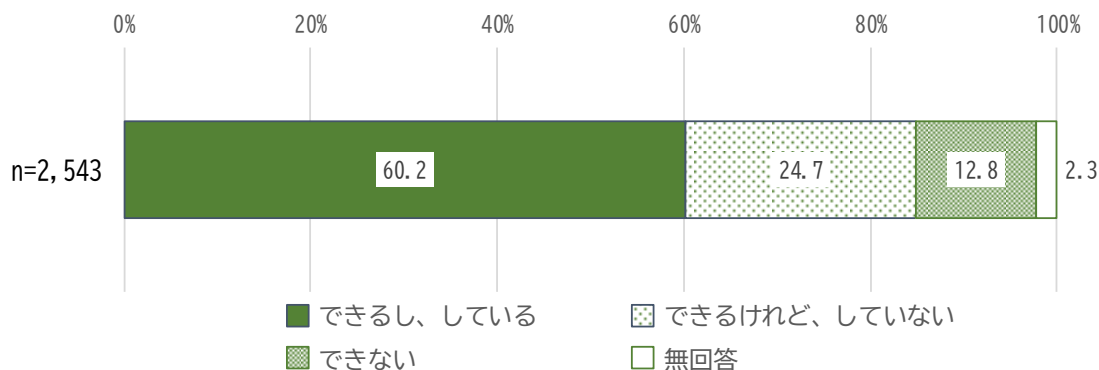


## ◆ 心身の状態について

問9 運動・閉じこもりの状況についてうかがいます。

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

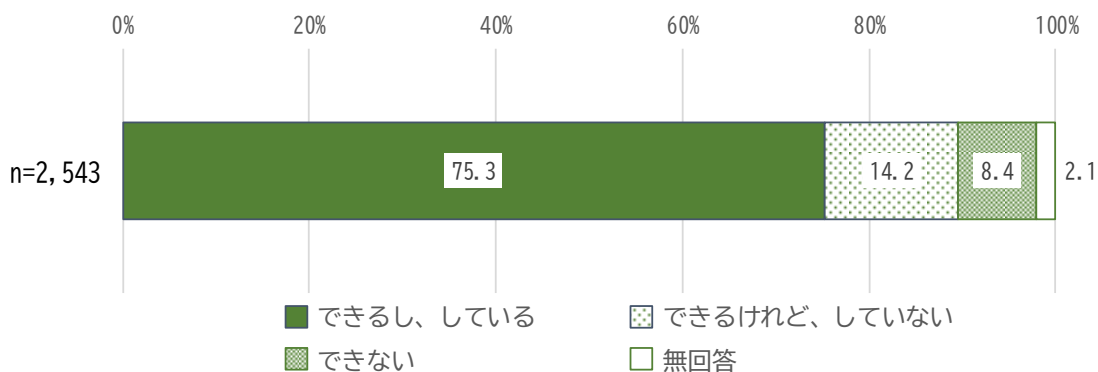
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が60.2%、「できるけれど、していない」が24.7%、「できない」が12.8%となっています。



問9 運動・閉じこもりの状況についてうかがいます。

(2) イスに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

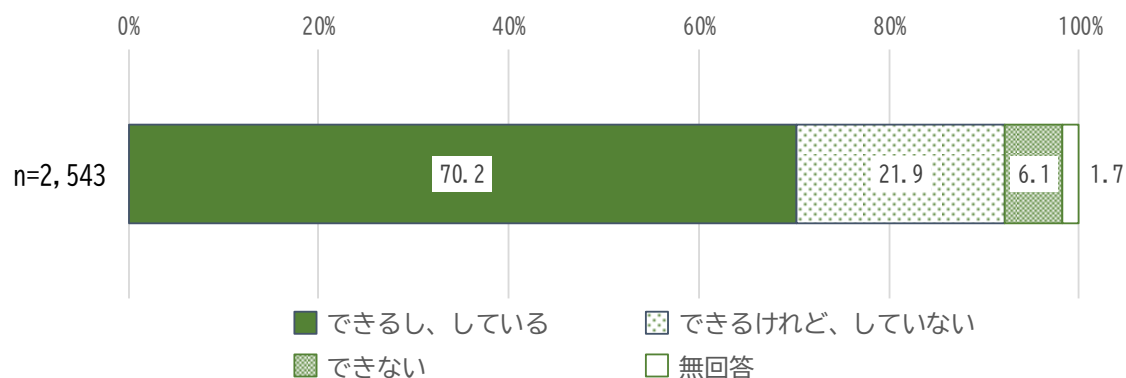
イスに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が75.3%、「できるけれど、していない」が14.2%、「できない」が8.4%となっています。



問9 運動・閉じこもりの状況についてうかがいます。

(3) 15分位続けて歩いていますか。

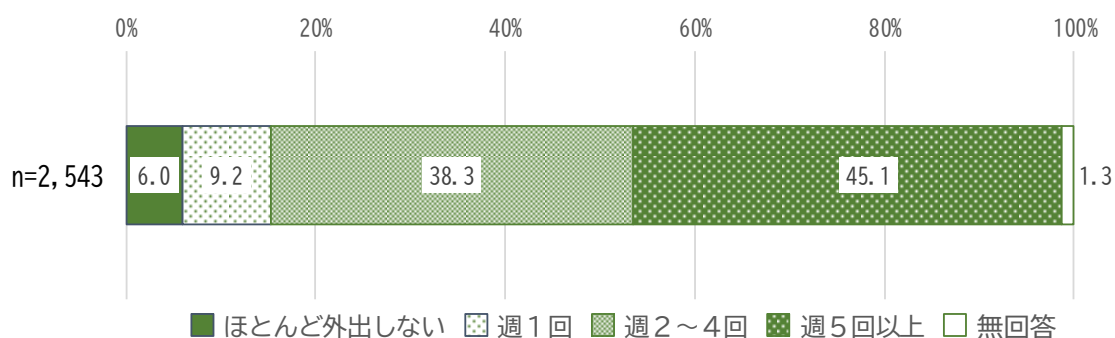
15分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が70.2%、「できるけれど、していない」が21.9%、「できない」が6.1%となっています。



問9 運動・閉じこもりの状況についてうかがいます。

(4) 外出はしていますか。

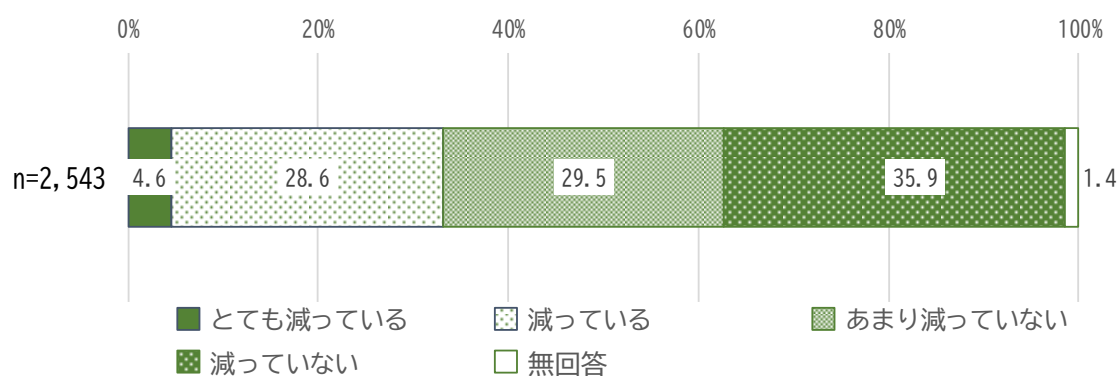
外出はしているかは、「週5日以上」が45.1%と最も高く、次いで「週2～4回」が38.3%となっています。



問9 運動・閉じこもりの状況についてうかがいます。

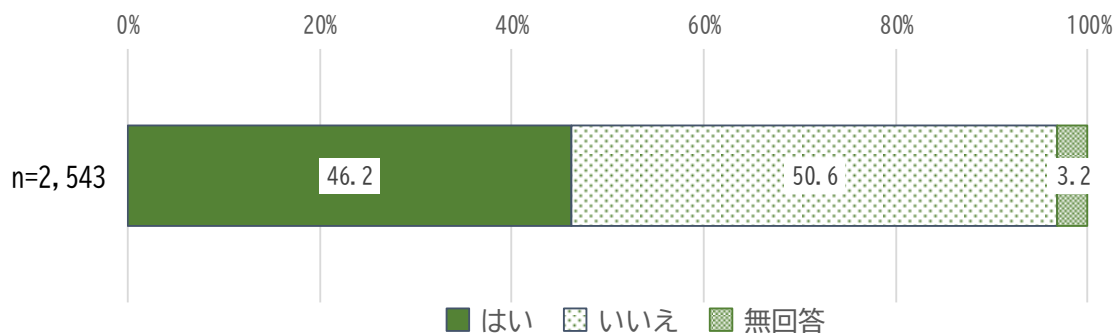
(5) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「減っていない」が35.9%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が29.5%となっています。



問10 あなたは、外出を控えていますか。

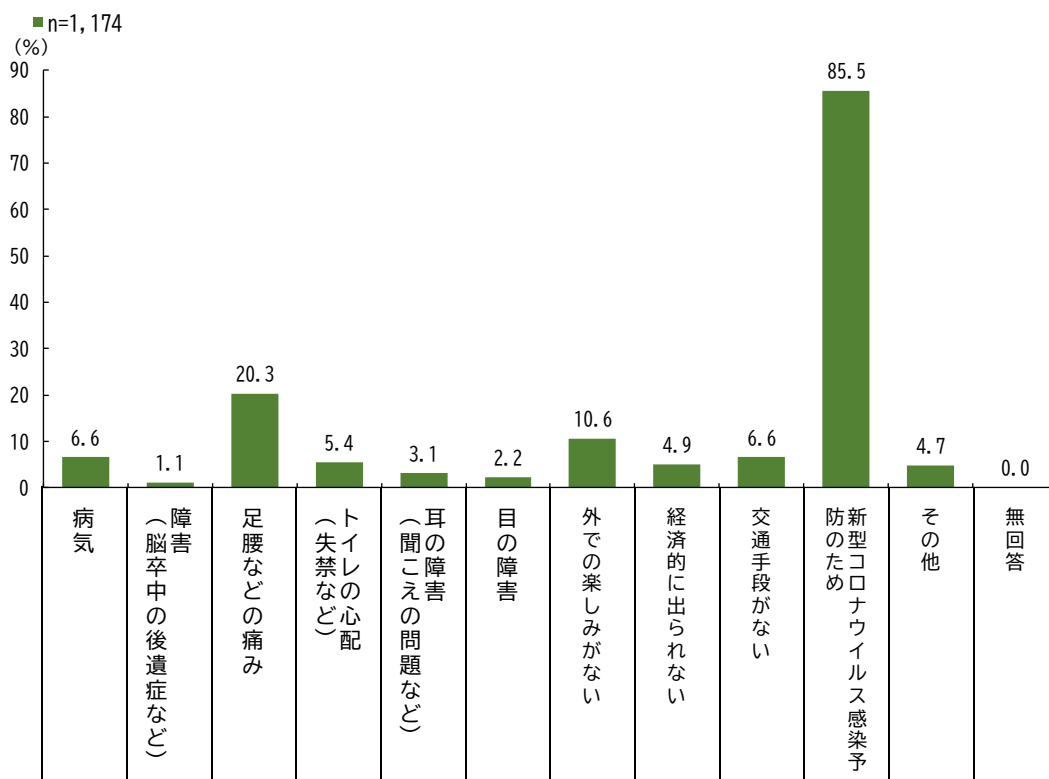
外出を控えているかは、「いいえ」が50.6%、「はい」が46.2%となっています。



問10-1 問10で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

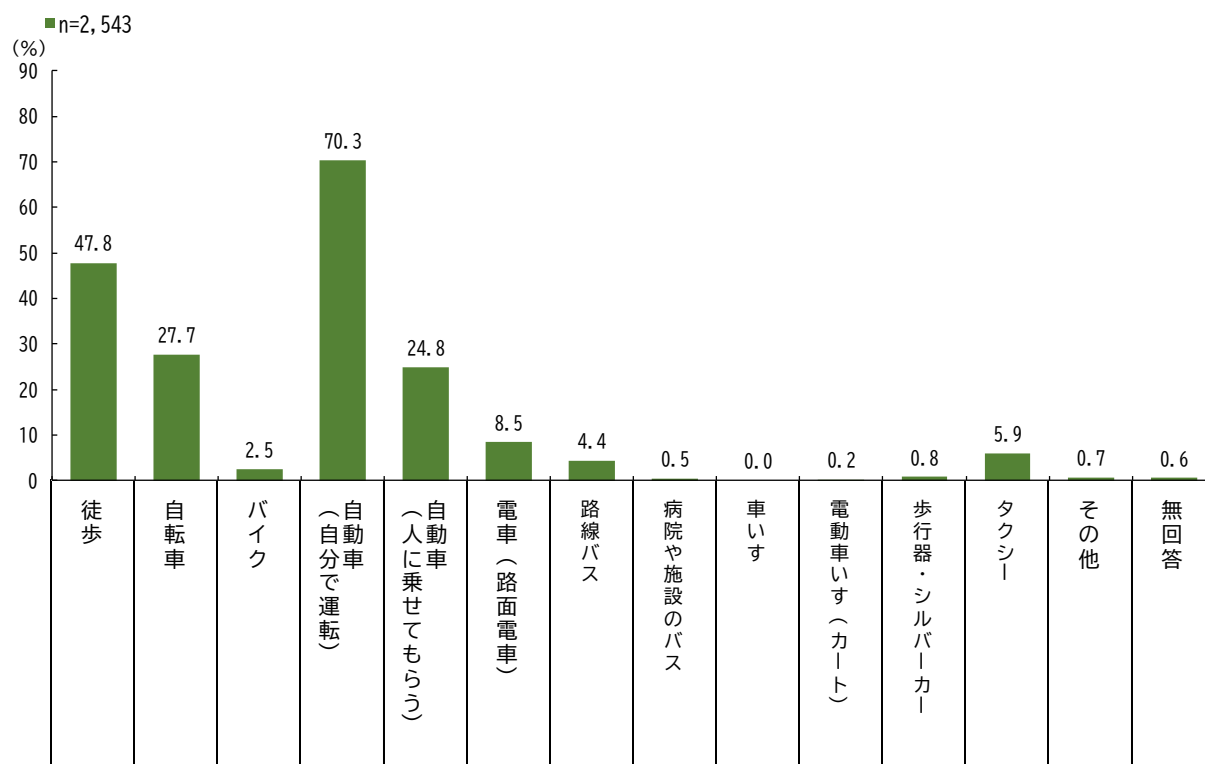
(1) 外出を控えている理由は、次のどれですか。

外出を控えている理由は、「新型コロナウイルス感染予防のため」が85.5%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が20.3%、「外での楽しみがない」が10.6%となっています。



問11 外出する際の移動手段は何ですか。

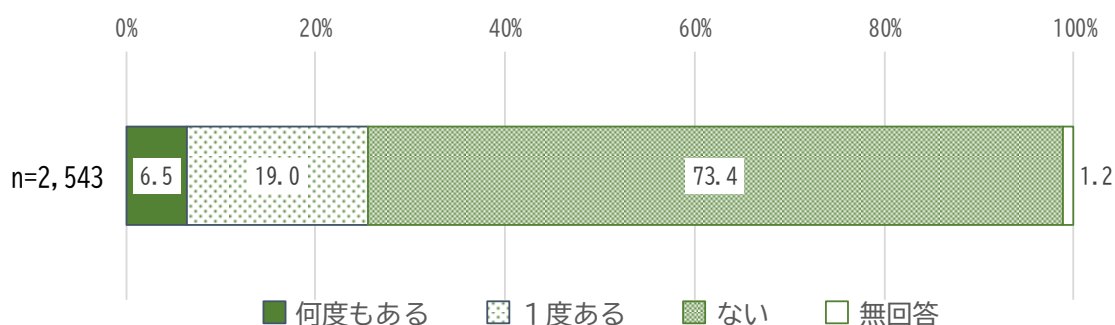
外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が70.3%と最も高く、次いで「徒歩」が47.8%、「自転車」が27.7%となっています。



問12 転倒の状況についてうかがいます。

(1) 過去1年間に転んだことがありますか。

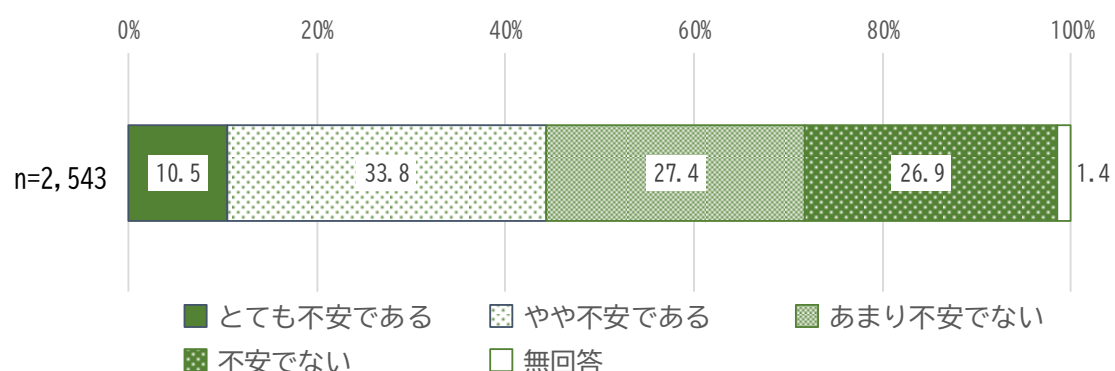
過去1年間に転んだことがあるかは、「ない」が73.4%、「1度ある」が19.0%、「何度もある」が6.5%となっています。



問12 転倒の状況についてうかがいます。

(2) 転倒に対する不安は大きいですか。

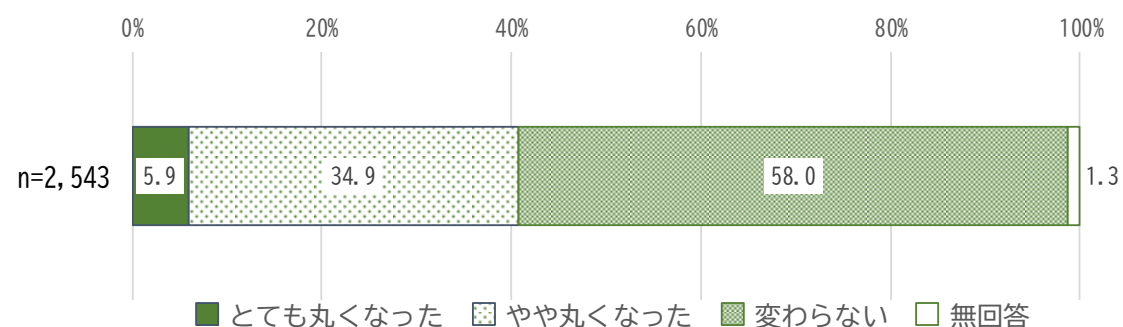
転倒に対する不安については、「やや不安である」が33.8%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が27.4%、「不安でない」が26.9%となっています。



問12 転倒の状況についてうかがいます。

(3) 背中が丸くなってきましたか。

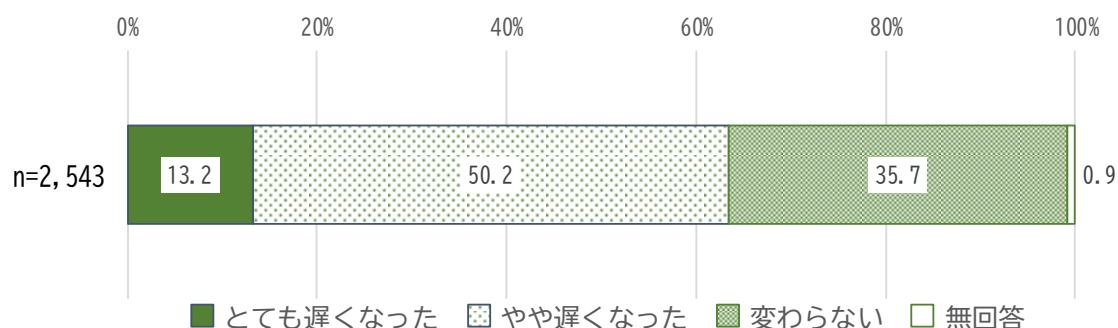
背中が丸くなってきたかは、「変わらない」が58.0%、「やや丸くなった」が34.9%、「とても丸くなった」が5.9%となっています。



問12 転倒の状況についてうかがいます。

(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

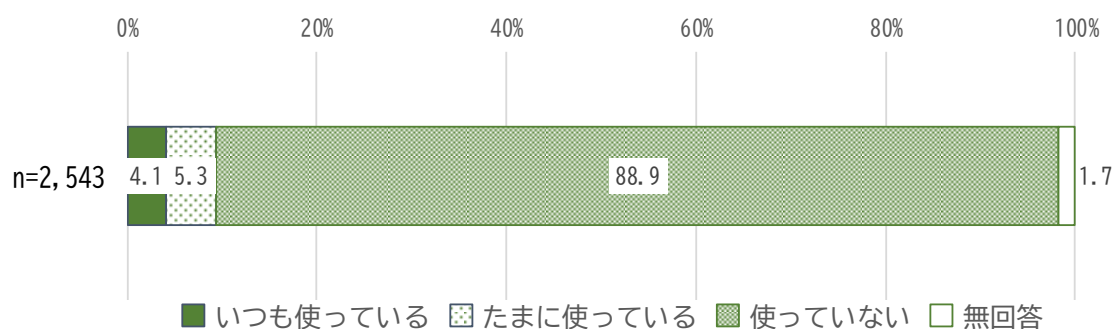
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかは、「やや遅くなった」が 50.2%、「変わらない」が 35.7%、「とても遅くなった」が 13.2%となっています。



問12 転倒の状況についてうかがいます。

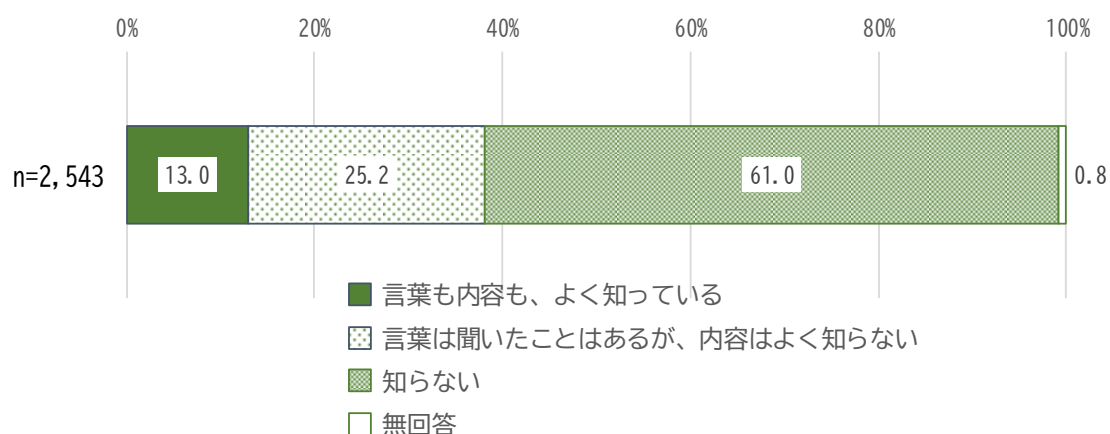
(5) 杖を使っていますか。

杖を使っているかは、「使っていない」が 88.9%、「たまに使っている」が 5.3%、「いつも使っている」が 4.1%となっています。



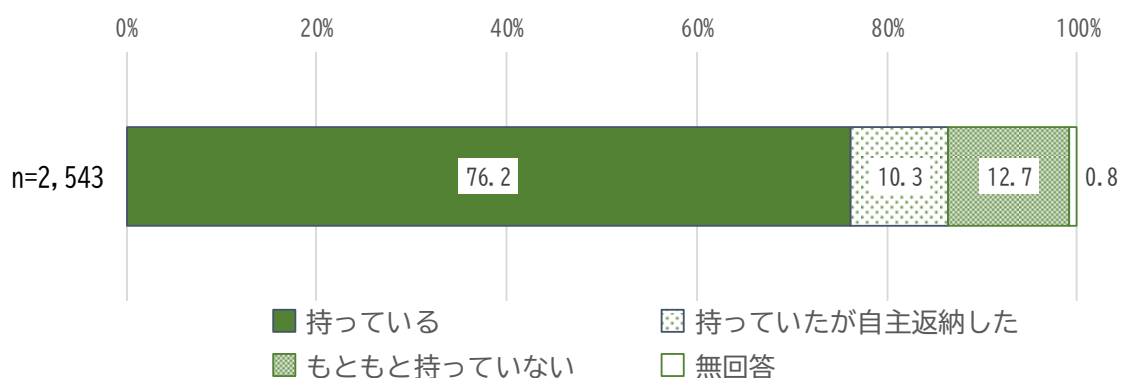
問13 あなたは「フレイル」について知っていますか。

「フレイル」の認知度は、「知らない」が 61.0%、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 25.2%、「言葉も内容も、よく知っている」が 13.0%となっています。



#### 問14 あなたは自動車運転免許証を持っていますか。

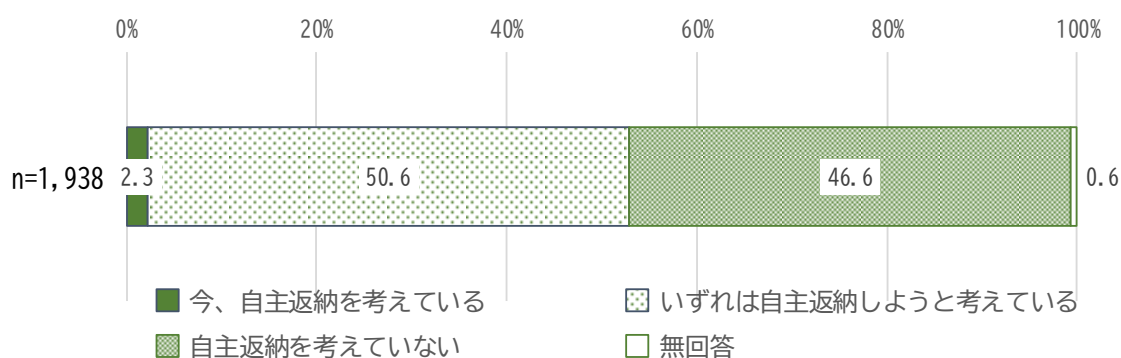
自動車運転免許証の保有状況は、「持っている」が76.2%、「もともと持っていない」が12.7%、「持っていたが自主返納した」が10.3%となっています。



#### 問14-1 問14で「持っている」に○をつけた方にうかがいます。

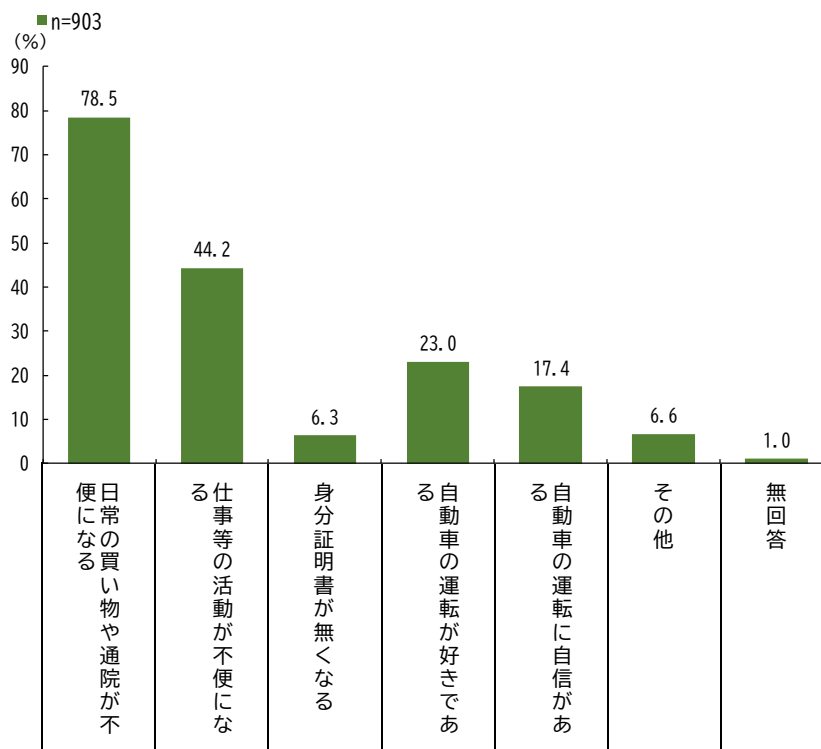
##### (1) あなたは、自動車運転免許証の自主返納を考えていますか。

自動車運転免許証の自主返納を考えているかについては、「いずれは自主返納をしようと考えている」が50.6%、「自主返納を考えていない」が46.6%、「今、自主返納を考えている」が2.3%となっています。



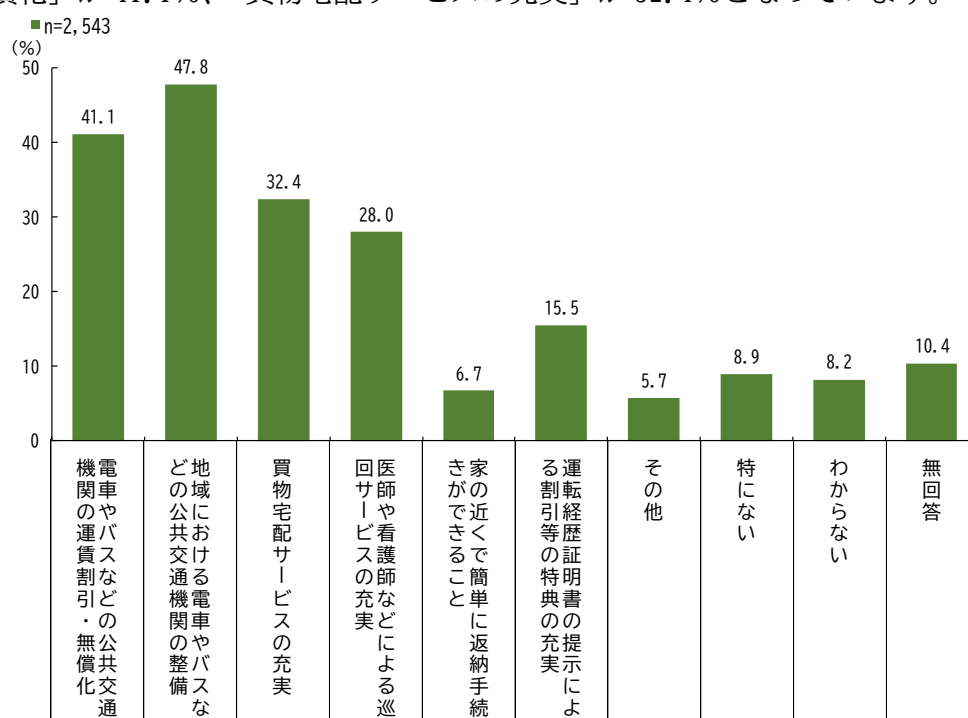
問14-1-1 問14-1で「自主返納を考えていない」に○をつけた方にうかがいます。  
あなたが自動車運転免許証の自主返納を考えていない理由をお答えください。

自動車運転免許証の自主返納を考えていない理由は、「日常の買い物や通院が不便になる」が78.5%と最も高く、次いで「仕事等の活動が不便になる」が44.2%、「自動車の運転が好きである」が23.0%となっています。



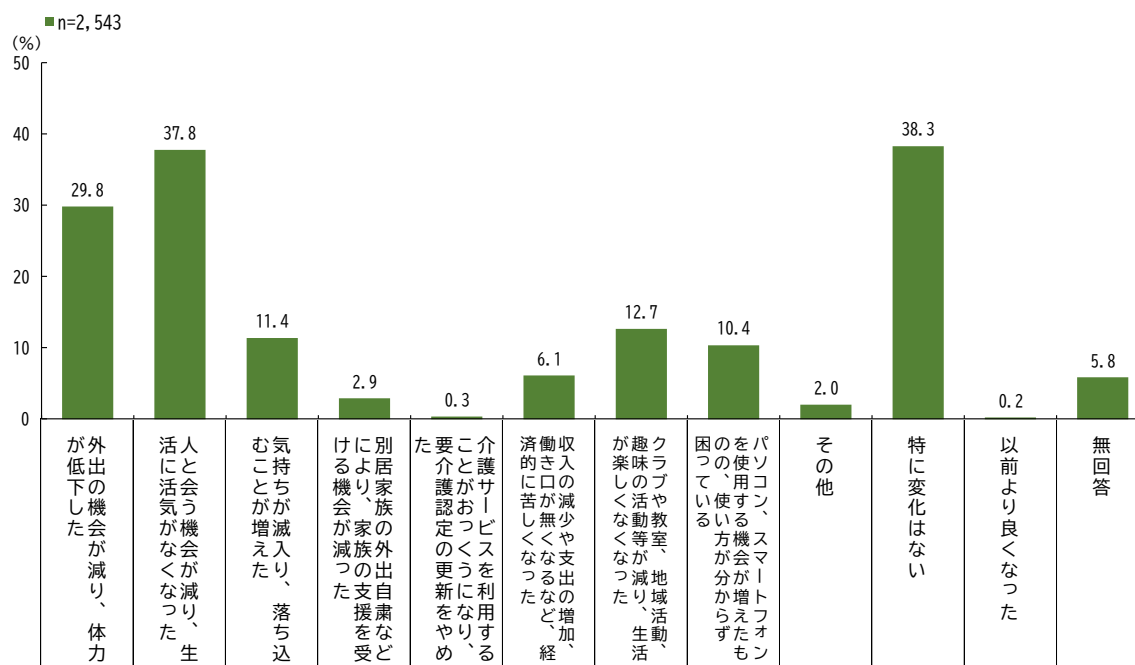
問15 どのような支援があれば、自動車運転免許証の自主返納が進むと思いますか。

自動車運転免許証の自主返納が進むと思う支援については、「地域における電車やバスなどの公共交通機関の整備」が47.8%と最も高く、次いで「電車やバスなどの公共交通機関の運賃割引・無償化」が41.1%、「買物宅配サービスの充実」が32.4%となっています。



問16 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降（令和2年3月以降）、心身の状態や環境に影響はありましたか。

新型コロナウイルス感染症の影響については、「特に変化はない」が38.3%と最も高く、次いで「人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった」が37.8%、「外出の機会が減り、体力が低下した」が29.8%となっています。





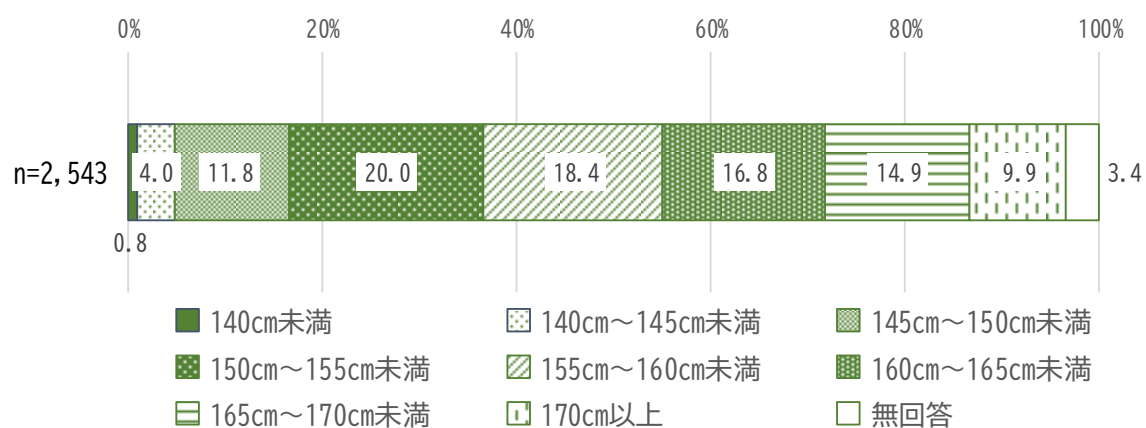
## ◆ 食べることについて

問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(1) 身長と体重を整数(小数点以下第一位四捨五入)でお書きください。

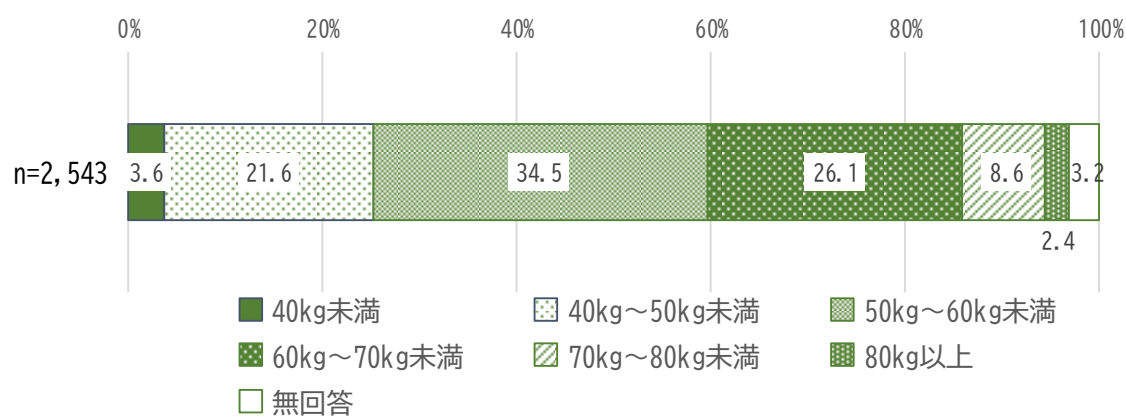
### 【身長】

身長は、「150cm～155cm 未満」が20.0%と最も高く、次いで「155cm～160cm 未満」が18.4%となっています。



### 【体重】

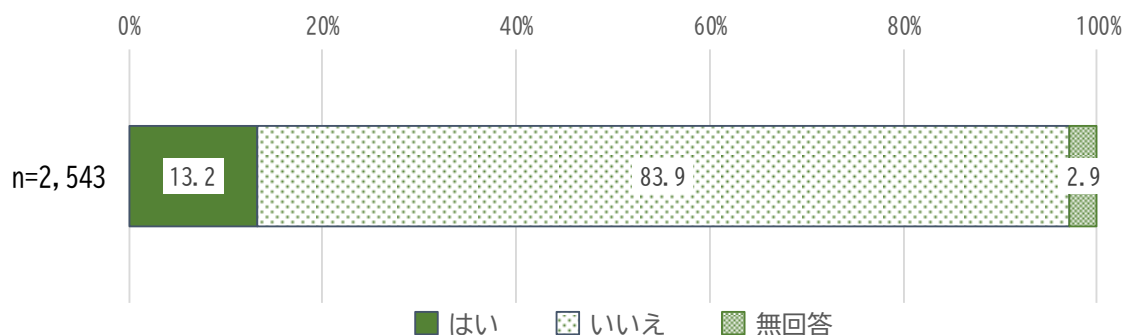
体重は、「50kg～60kg 未満」が34.5%と最も高く、次いで「60kg～70kg 未満」が26.1%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(2) 6か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか。

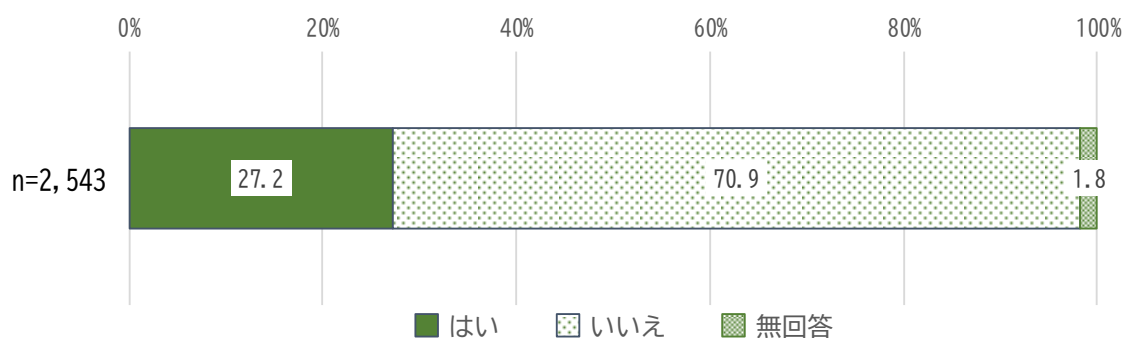
6か月間で2～3 kgの体重減少があったかは、「はい」が13.2%、「いいえ」が83.9%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(3) 半年前に比べてさきいか、たくあんなどの固いものが食べにくくなりましたか。

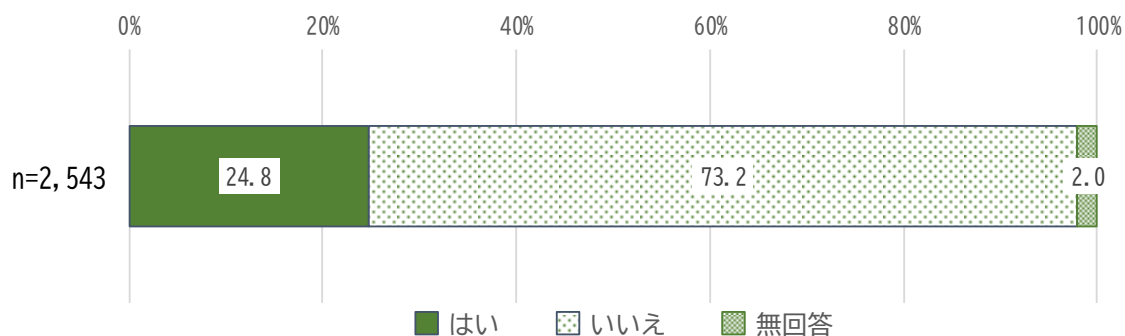
固いものが食べにくくなったかは、「はい」が27.2%、「いいえ」が70.9%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(4) お茶や汁物などでむせることがありますか。

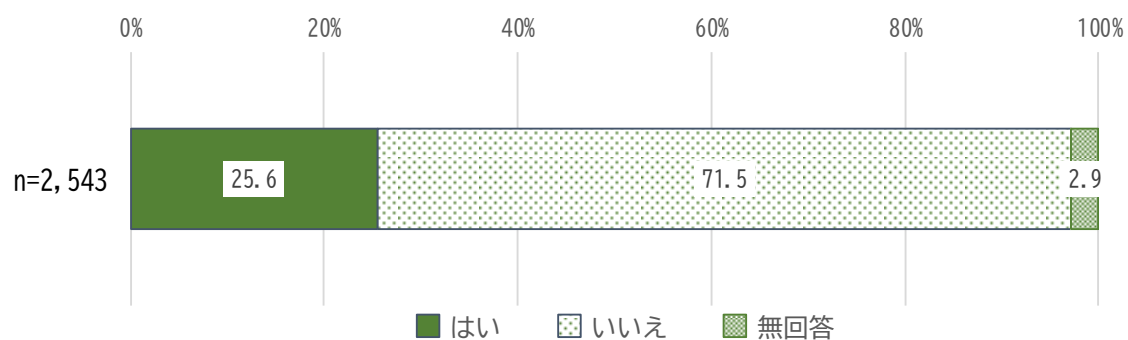
お茶や汁物などでむせることがあるかは、「はい」が24.8%、「いいえ」が73.2%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(5) 口の渇きが気になりますか。

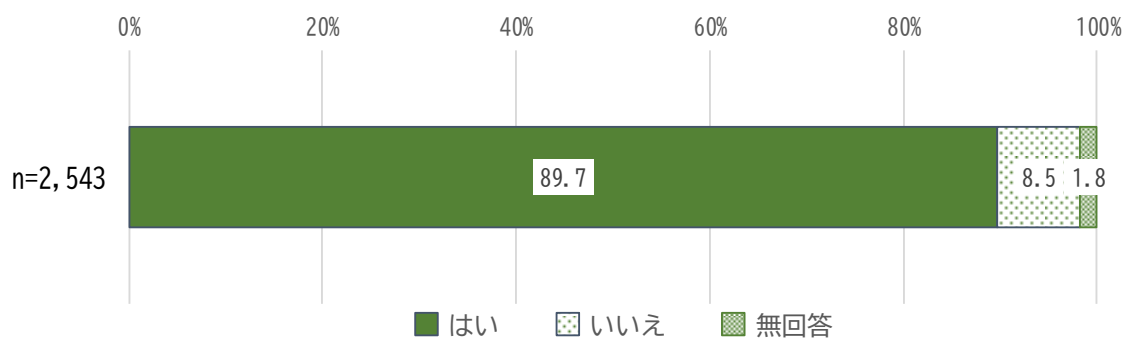
口の渇きが気になるかは、「はい」が25.6%、「いいえ」が71.5%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(6) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

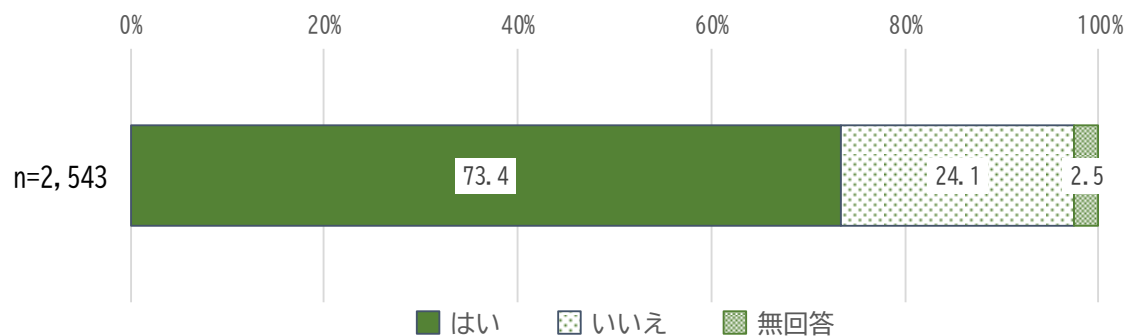
歯磨きを毎日しているかは、「はい」が89.7%、「いいえ」が8.5%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(7) かみ合わせは良いですか。

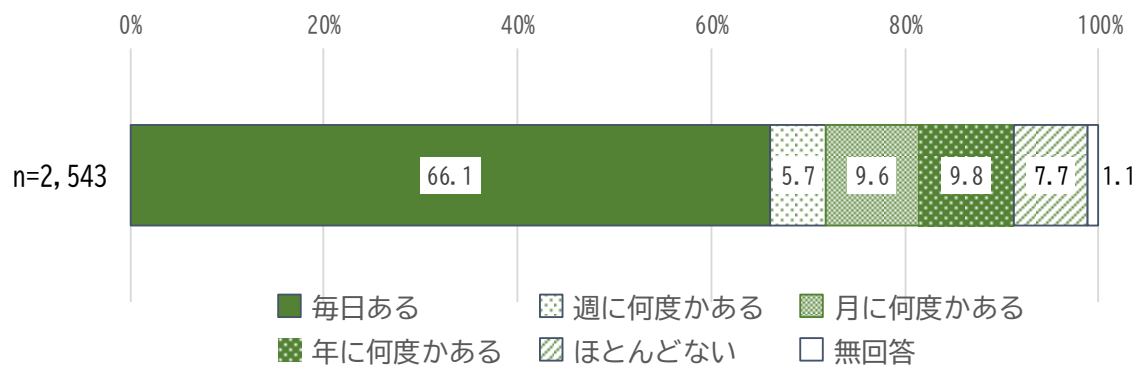
かみ合わせが良いかは、「はい」が73.4%、「いいえ」が24.1%となっています。



問17 口腔・栄養についてうかがいます。

(8) 誰か（家族や親せき含む）と食事をとにもする機会がありますか。

誰かと食事をする機会があるかは、「毎日ある」が66.1%と最も高く、次いで「年に何度かある」が9.8%となっています。

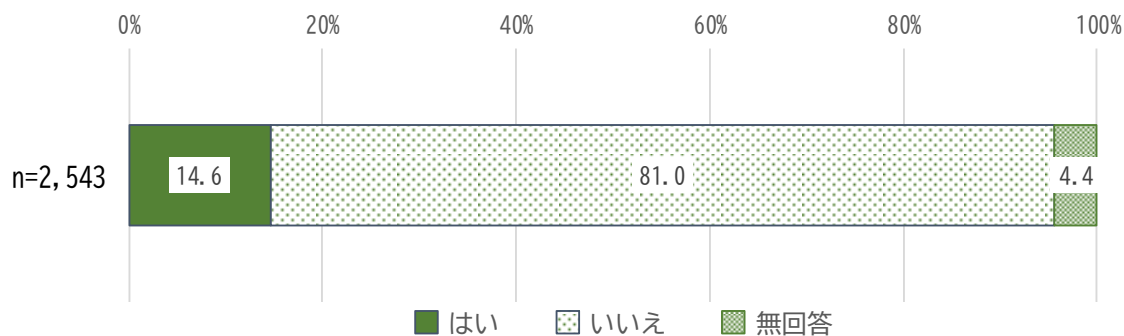


## ◆ 毎日の生活について

問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(1) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか。

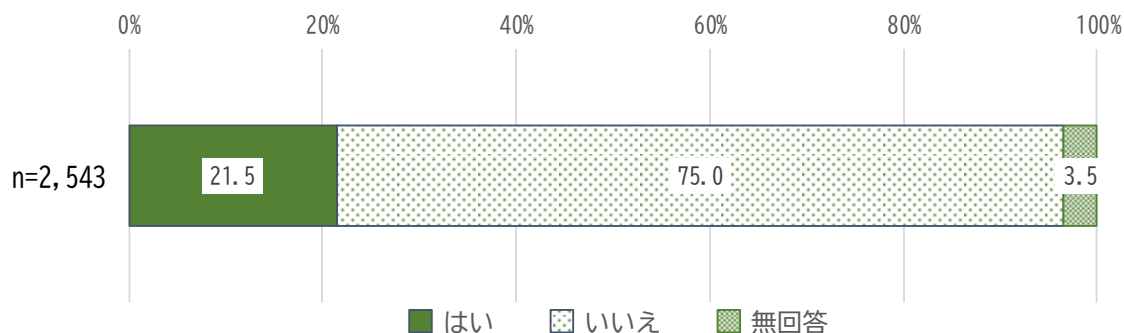
周りの人から物忘れがあるといわれるかは、「いいえ」が81.0%、「はい」が14.6%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか。

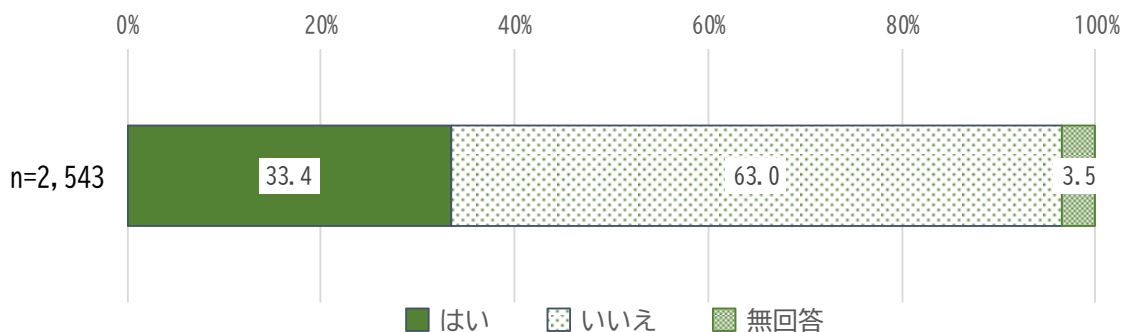
今日が何月何日かわからない時があるかは、「いいえ」が75.0%、「はい」が21.5%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(3) 友人の家を訪ねていますか。

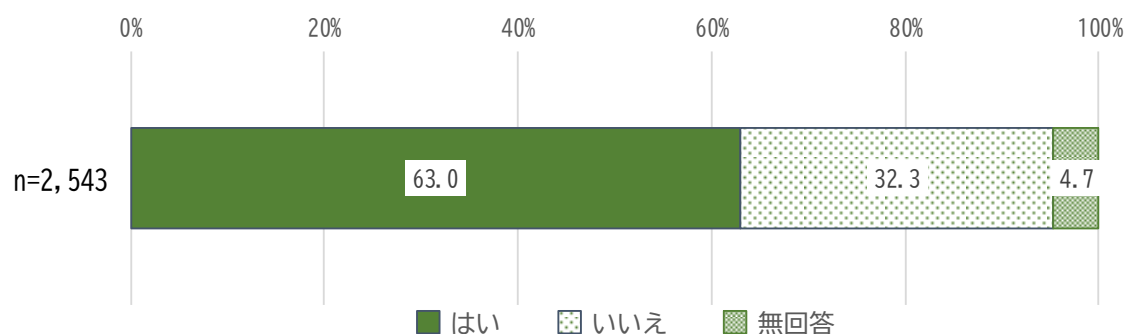
友人の家を訪ねているかは、「いいえ」が63.0%、「はい」が33.4%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(4) 家族や友人の相談にのっていますか。

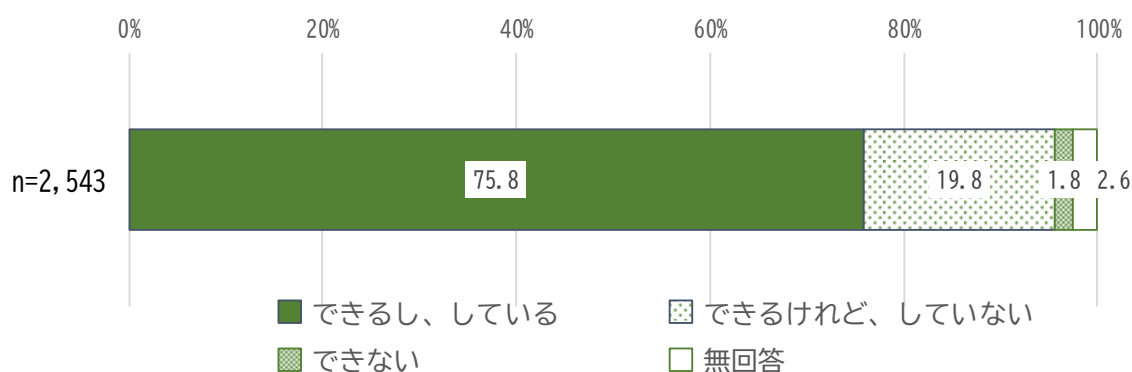
家族や友人の相談にのっているかは、「はい」が63.0%、「いいえ」が32.3%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(5) 自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。

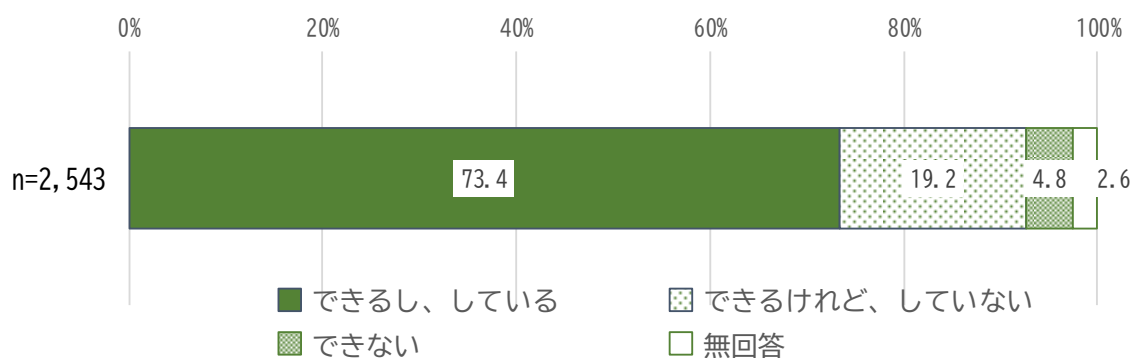
自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているかは、「できるし、している」が75.8%、「できるけれど、していない」が19.8%、「できない」が1.8%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(6) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

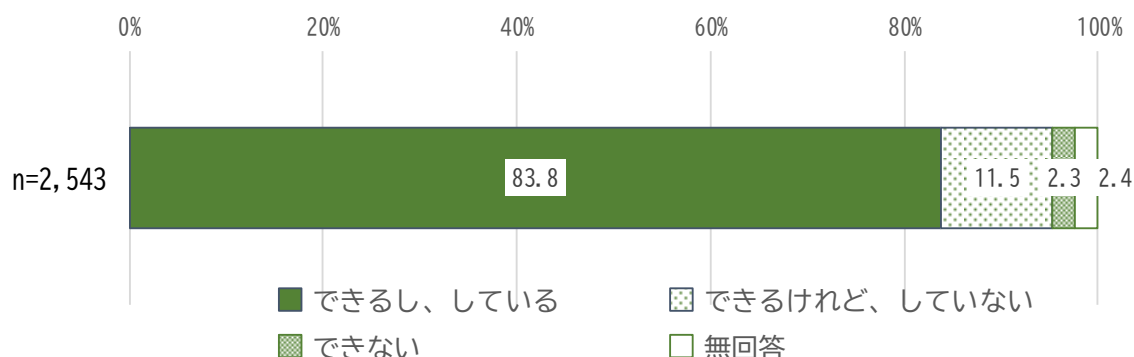
1人で外出しているかは、「できるし、している」が73.4%、「できるけれど、していない」が19.2%、「できない」が4.8%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(7) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

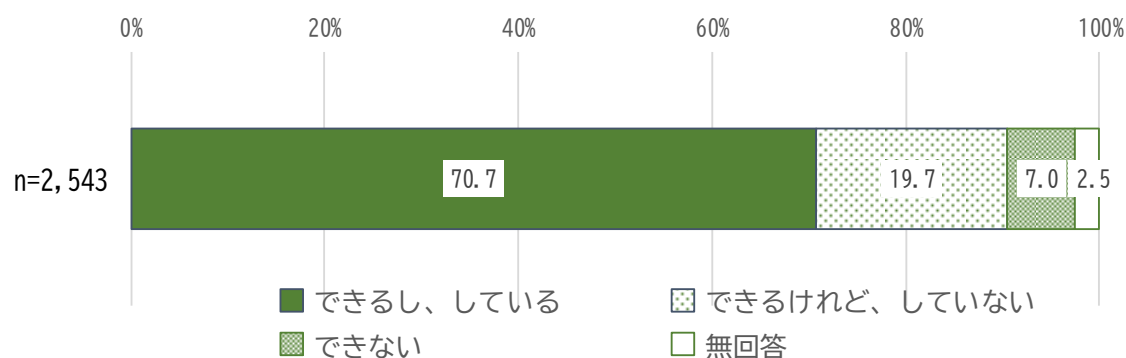
自分で食品・日用品の買い物をしているかは、「できるし、している」が 83.8%、「できるけれど、していない」が 11.5%、「できない」が 2.3%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(8) 自分で食事の用意をしていますか。

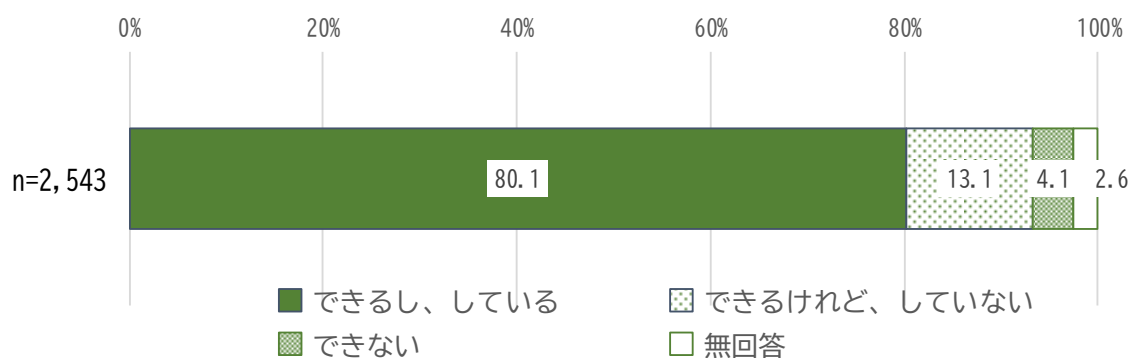
自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が 70.7%、「できるけれど、していない」が 19.7%、「できない」が 7.0%となっています。



問18 物忘れや日常生活などの状況についてうかがいます。

(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が 80.1%、「できるけれど、していない」が 13.1%、「できない」が 4.1%となっています。

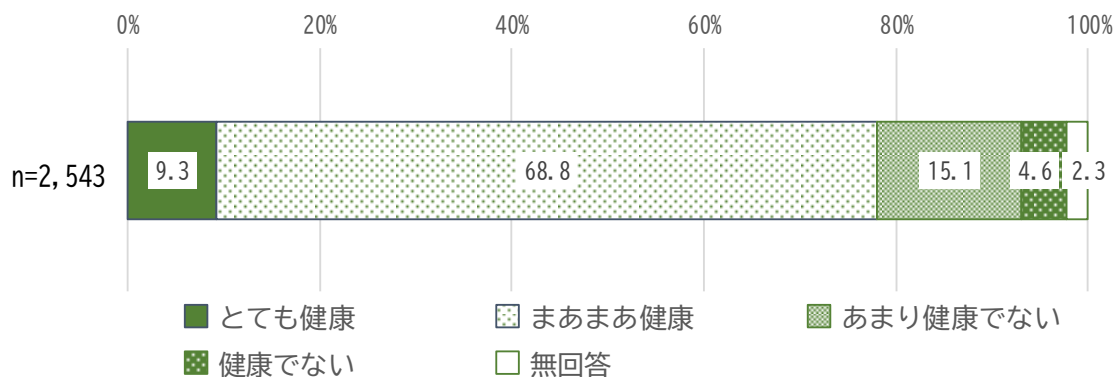


## ◆ 健康について

問19 健康についてうかがいます。

(1) 普段、ご自分で健康だと思いますか。

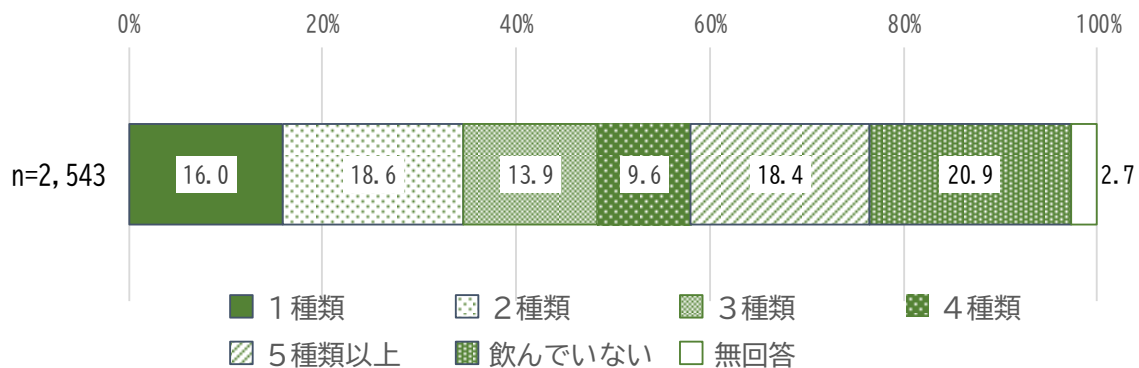
主観的健康感については、「とても健康」が 9.3%、「まあまあ健康」が 68.8%となっています。一方、「あまり健康でない」は 15.1%、「健康でない」は 4.6%となっています。



問19 健康についてうかがいます。

(2) 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるかは、「飲んでいない」が 20.9%と最も高く、次いで「2種類」が 18.6%、「5種類以上」が 18.4%となっています。

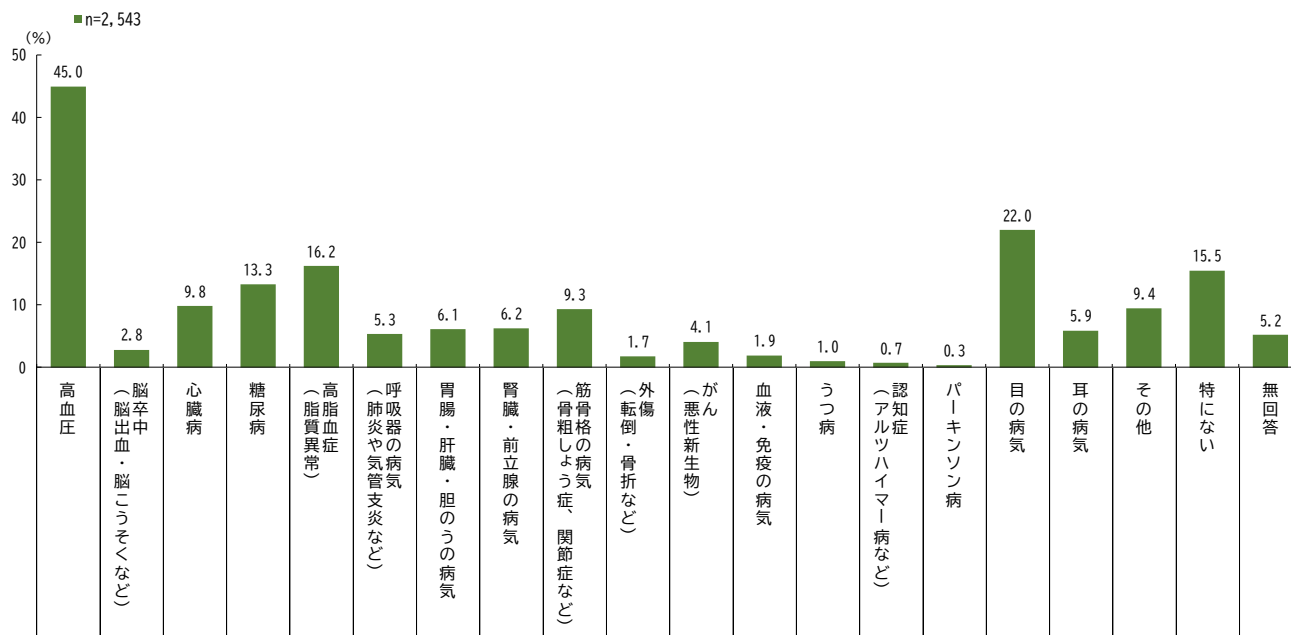




## 問19 健康についてうかがいます。

### (3) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

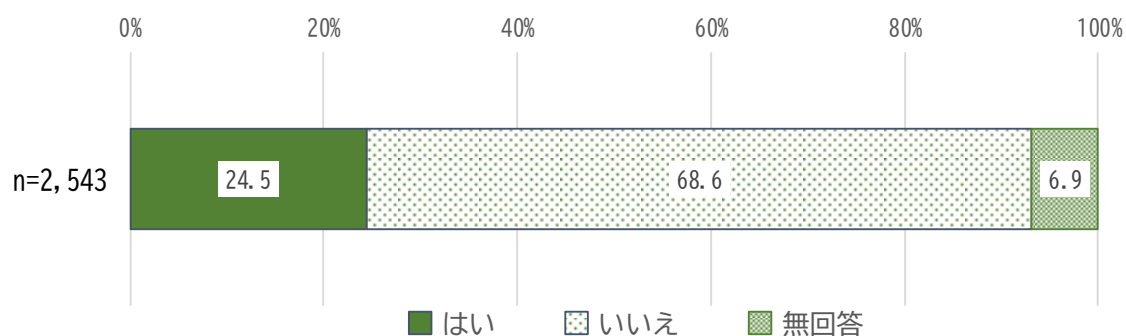
現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が45.0%と最も高く、次いで「目の病気」が22.0%、「高脂血症（脂質異常）」が16.2%となっています。



## 問20 あなたのここ2週間の健康状態についてうかがいます。

### (1) 毎日の生活に充実感がない。

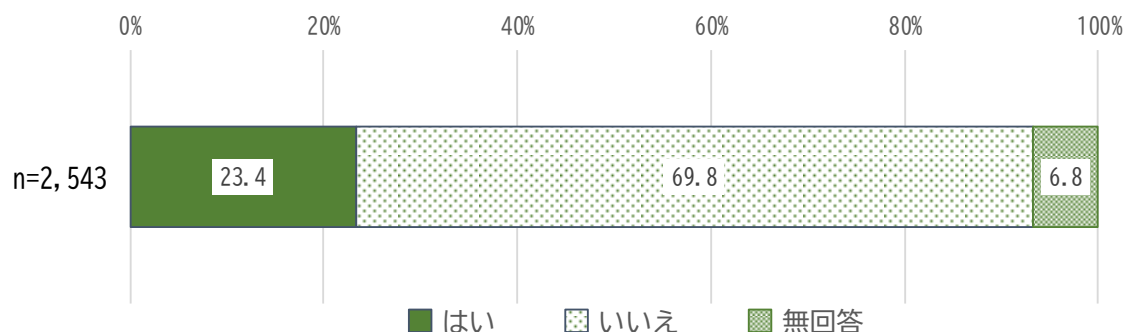
毎日の生活に充実感がないかは、「はい」が24.5%、「いいえ」が68.6%となっています。



問20 あなたのここ2週間の健康状態についてうかがいます。

(2) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。

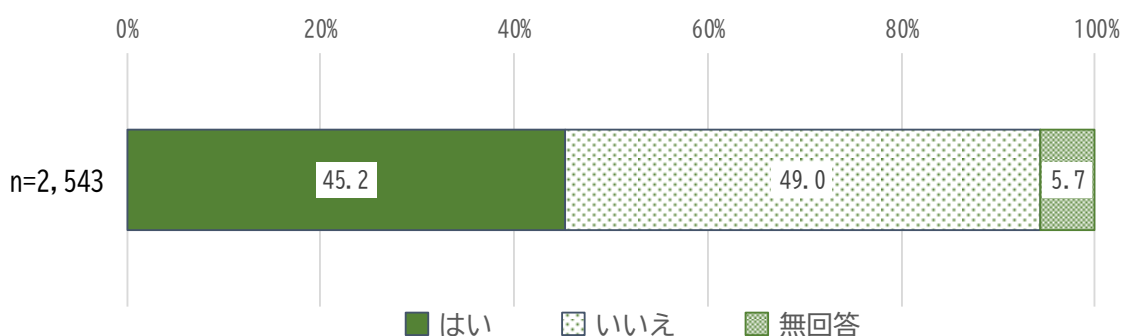
これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったかは、「はい」が 23.4%、「いいえ」が 69.8%となっています。



問20 あなたのここ2週間の健康状態についてうかがいます。

(3) 以前は楽にできていたことが、今はおっくうに感じられる。

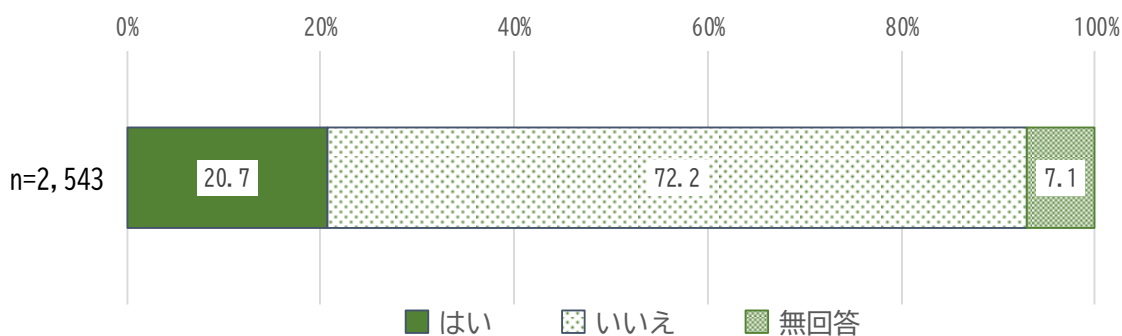
以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられるかは、「はい」が 45.2%、「いいえ」が 49.0%となっています。



問20 あなたのここ2週間の健康状態についてうかがいます。

(4) 自分が役に立つ人間だと思えない。

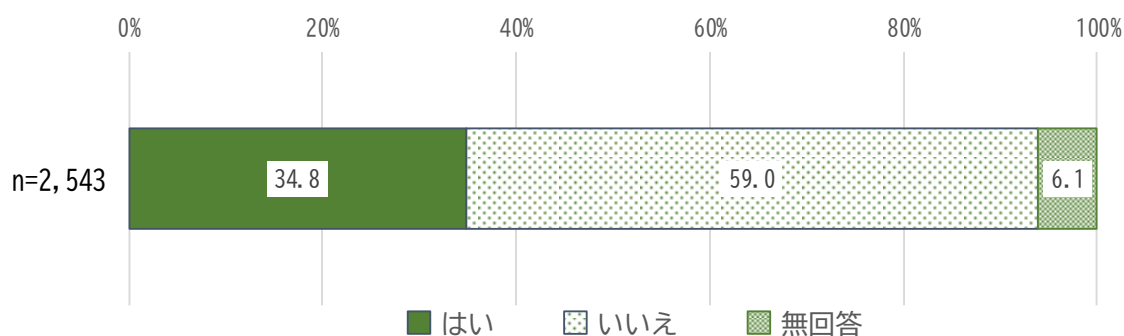
自分が役に立つ人間だと思えないかは、「はい」が 20.3%、「いいえ」が 72.5%となっています。



問20 あなたのここ2週間の健康状態についてうかがいます。

(5) わけもなく疲れたような感じがする。

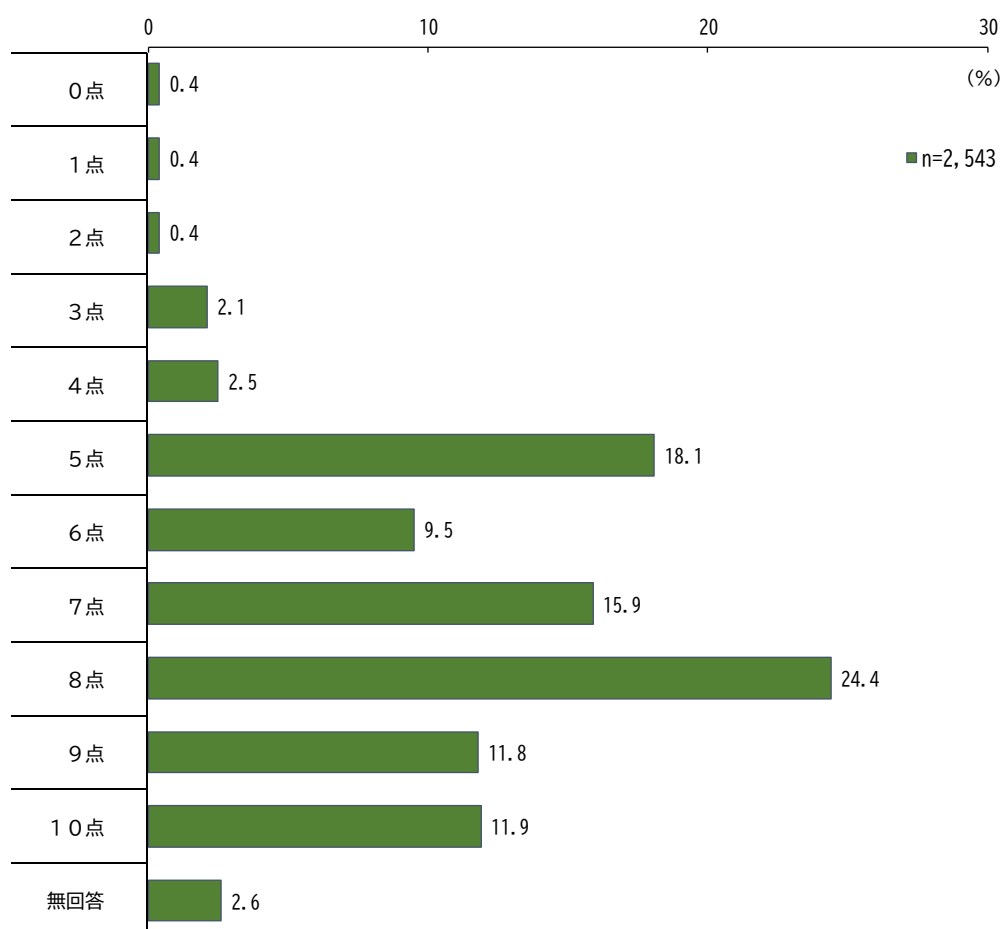
わけもなく疲れたような感じがするかは、「はい」が34.8%、「いいえ」が59.0%となっています。



問21 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として)

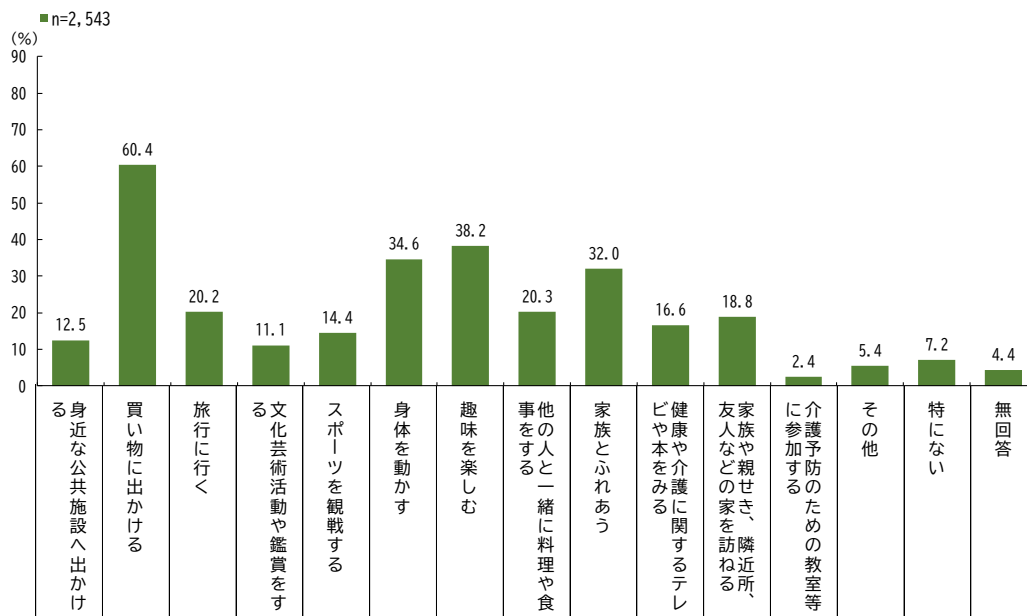
主観的幸福度については、「8点」が24.4%と最も高く、次いで「5点」が18.1%、「7点」が15.9%となっています。



## ◆ 介護予防について

問22 次のうち、あなたが私生活で楽しんでいることはありますか。

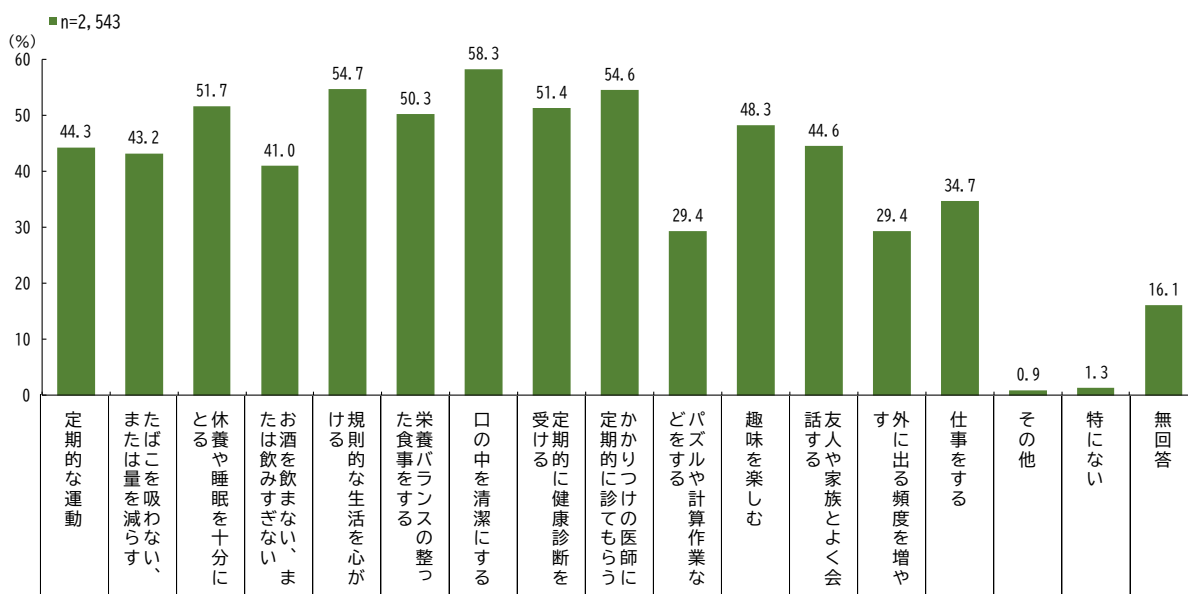
私生活で楽しんでいることについて、「買い物に出かける」が60.4%と最も高く、次いで「趣味を楽しむ」が38.2%、「身体を動かす」が34.6%となっています。



問23 あなたは、健康のために、1. これまで取り組んできたこと、2. 今後取り組みたいことはありますか。

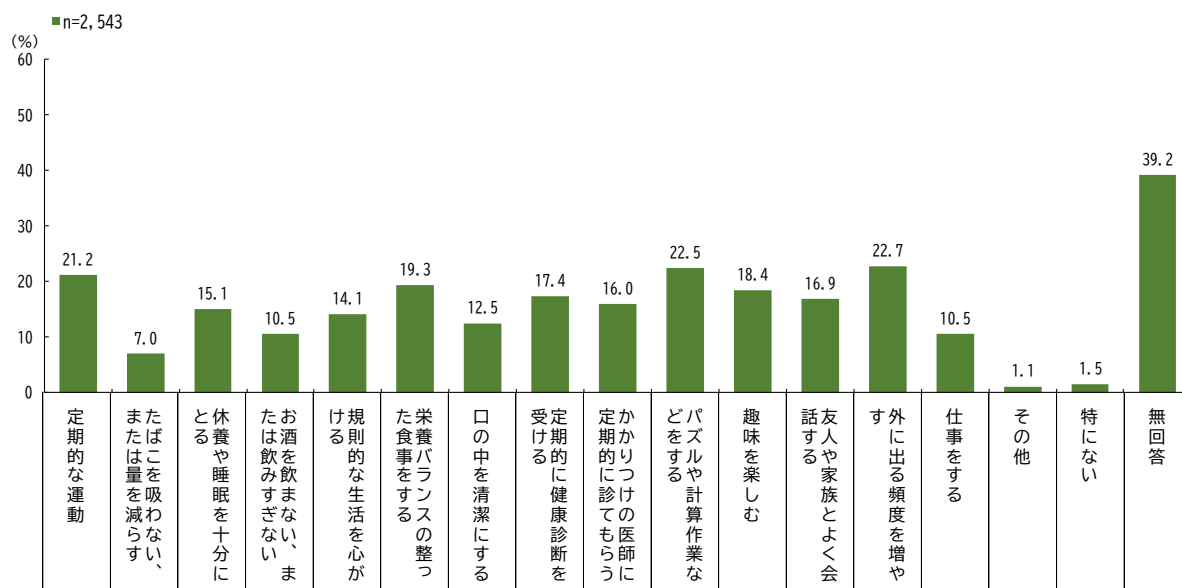
### 【1. これまで取り組んできたこと】

健康のために、これまで取り組んできたことについては、「口の中を清潔にする」が58.3%と最も高く、次いで「規則的な生活を心がける」が54.7%、「かかりつけの医師に定期的に診てもらおう」が54.6%となっています。



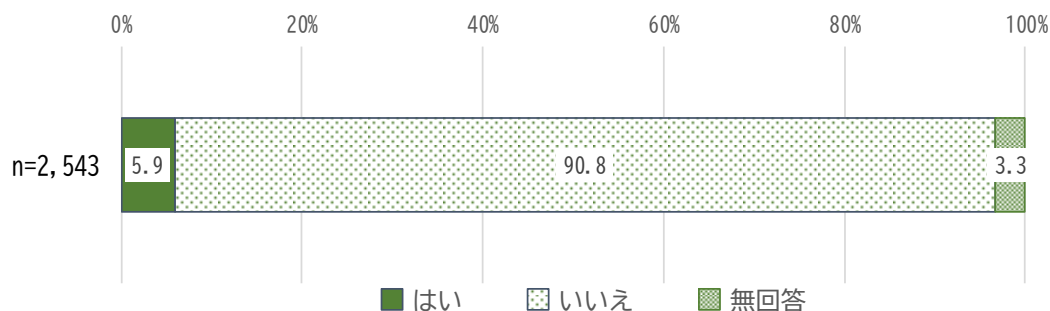
## 【2. 今後取り組みたいこと】

健康のために、今後取り組みたいことについては、「外に出る頻度を増やす」が22.7%と最も高く、次いで「パズルや計算作業などをする」が22.5%、「定期的な運動」が21.2%となっています。



### 問24 家族に認知症の方はいらっしゃいますか。

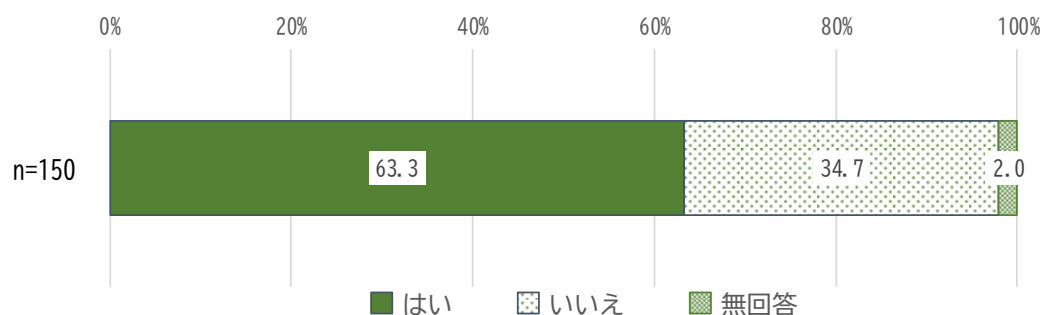
家族の認知症の状況は、「いいえ」が90.8%、「はい」が5.9%となっています。



### 問24-1 問24で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

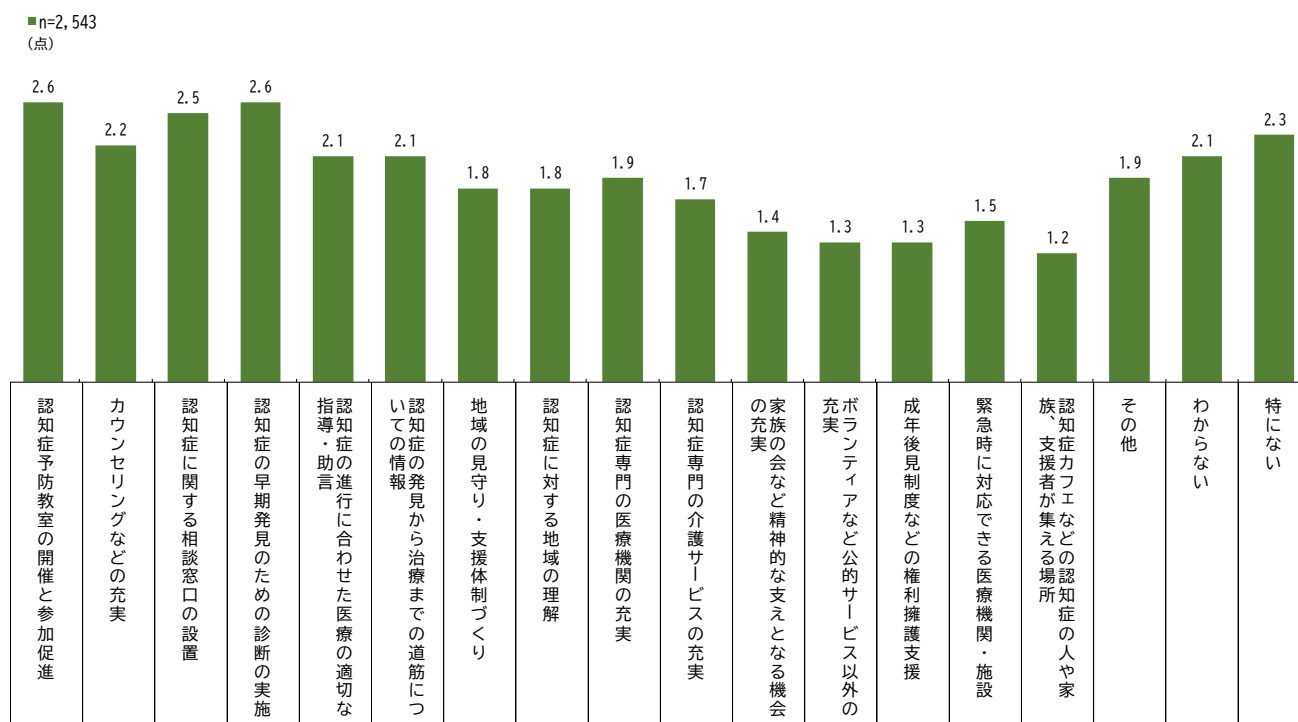
#### 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口を認知しているかについては、「はい」が63.3%、「いいえ」が34.7%となっています。



問25 認知症の方や、その家族に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるもの、2番目に当てはまるもの、3番目に当てはまるものをそれぞれ選び、選択肢の右の欄に数字を記入してください。

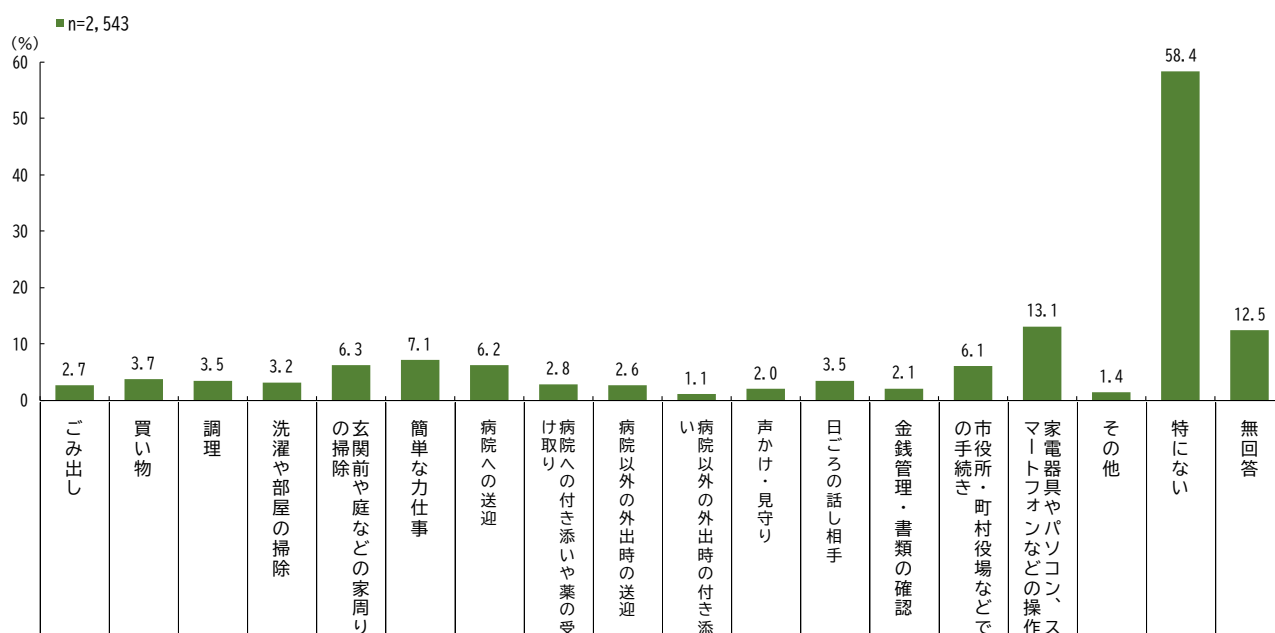
認知症の方とその家族に対して必要な支援は、「認知症予防教室の開催と参加促進」「認知症の早期発見のための診断の実施」が2.6点と最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口の設置」が2.5点となっています。



## ◆ 生活支援、社会参加について

問26 あなたが普段の生活で十分にできておらず、手助けしてほしいことはありますか。

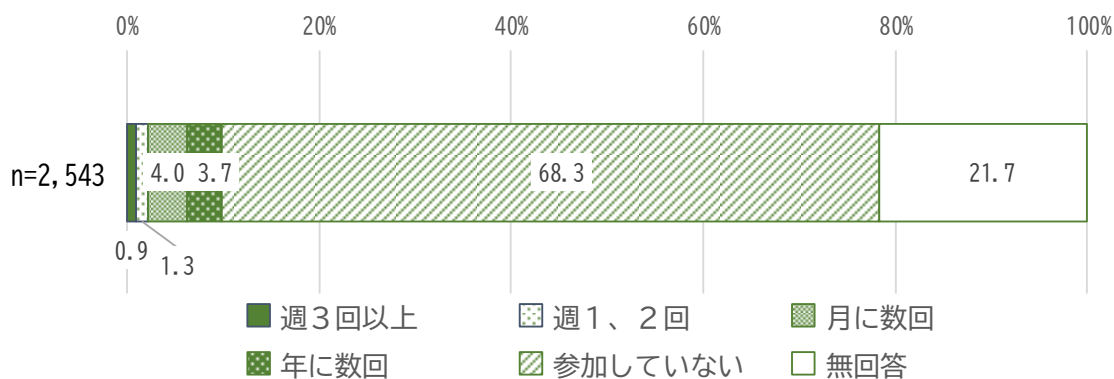
普段の生活の中で十分にできておらず、手助けしてほしいことは、「特にない」が58.4%と最も高く、次いで「家電器具やパソコン、スマートフォンなどの操作」が13.1%、「簡単な力仕事」が7.1%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

### (1) ボランティアのグループ

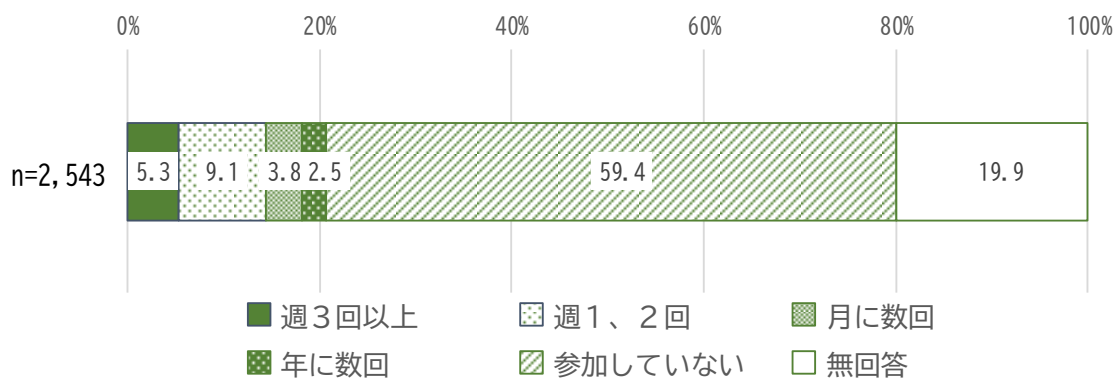
ボランティアグループの活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が68.3%と最も高く、次いで「月に数回」が4.0%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(2) スポーツ関係のグループやクラブ

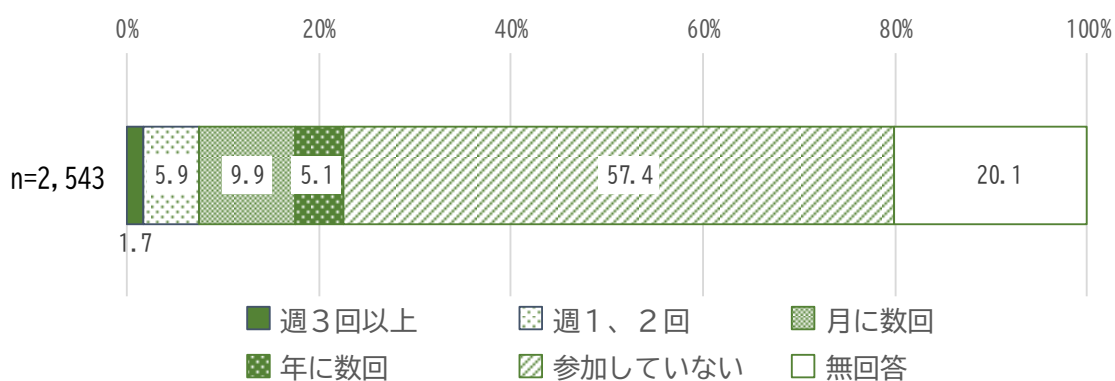
スポーツ関係のグループやクラブの活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が59.4%と最も高く、次いで「週1、2回」が9.1%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(3) 趣味関係のグループ

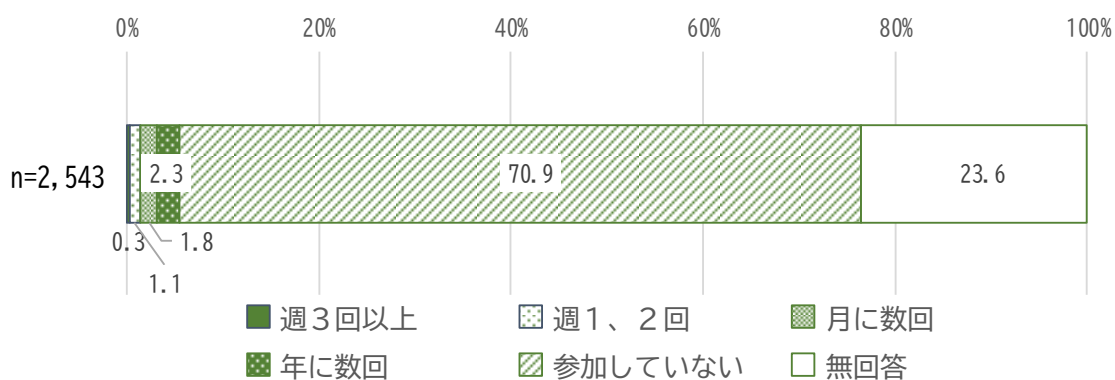
趣味関係のグループの活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が57.4%と最も高く、次いで「月に数回」が9.9%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(4) 学習・教養サークル

学習・教養サークルの活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が70.9%と最も高く、次いで「年に数回」が2.3%となっています。

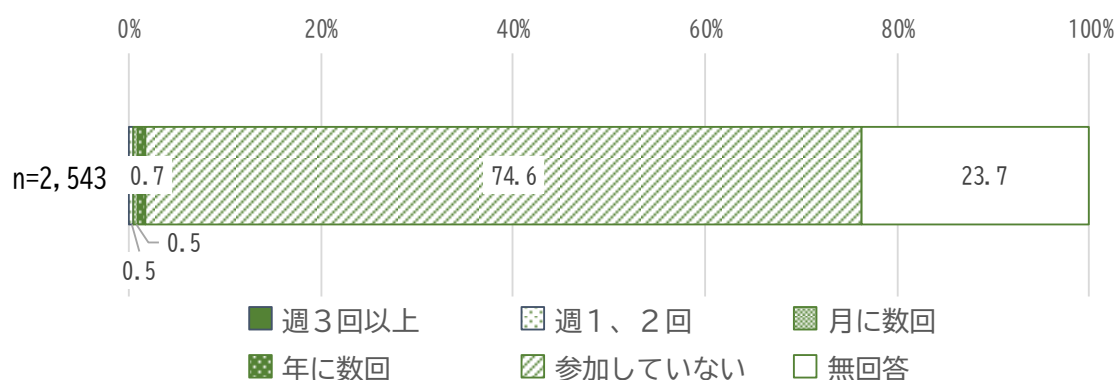




問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(5) 介護予防のための通いの場

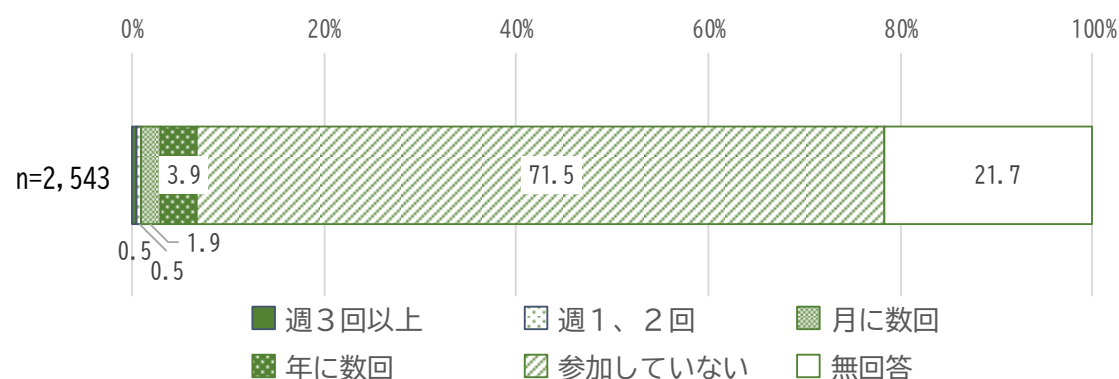
介護予防のための通いの場にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が74.6%と最も高く、次いで「年に数回」が0.7%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(6) 老人クラブ

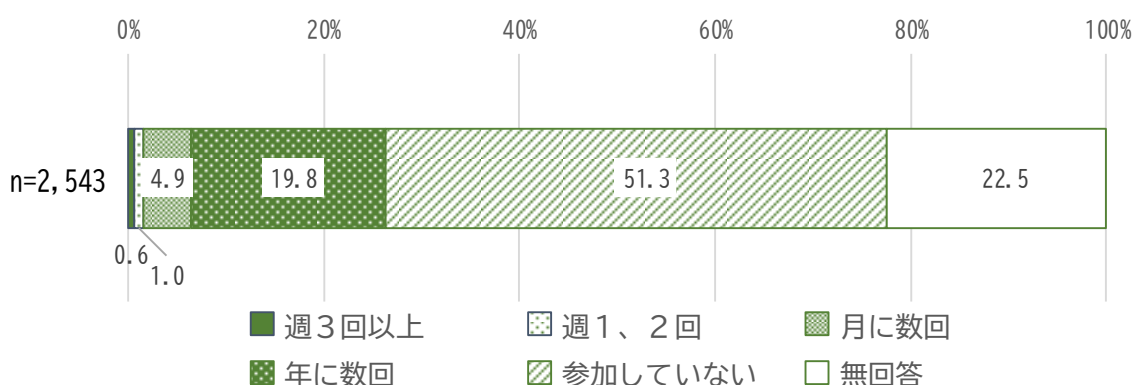
老人クラブの活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が71.5%と最も高く、次いで「年に数回」が3.9%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(7) 町内会・自治会

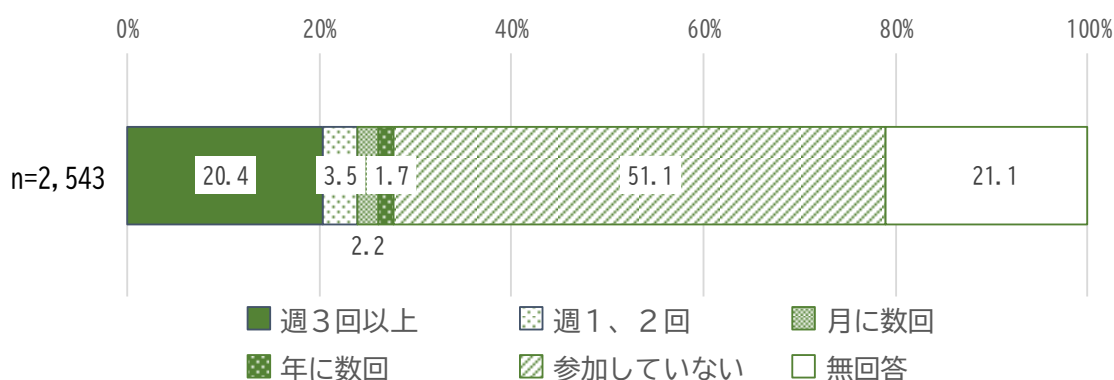
町内会・自治会の活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が51.3%と最も高く、次いで「年に数回」が19.8%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

(8) 収入のある仕事

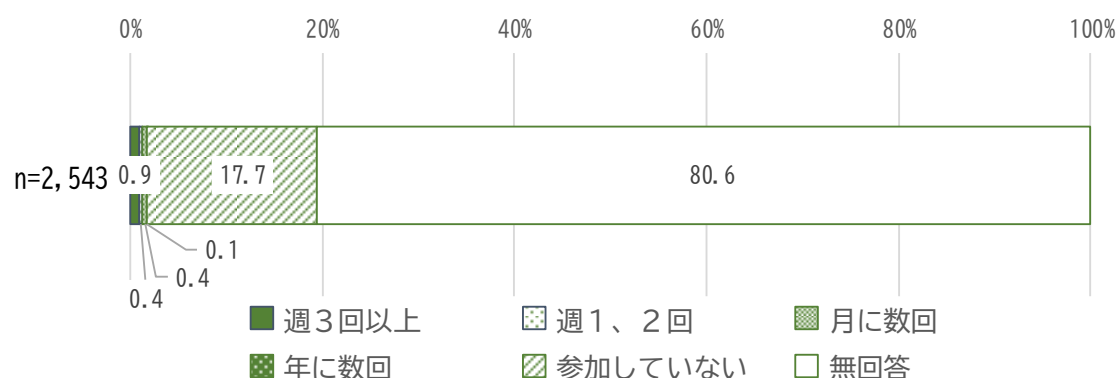
収入のある仕事の活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「参加していない」が51.1%と最も高く、次いで「週3回以上」が20.4%となっています。



問27 あなたは、以下の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。

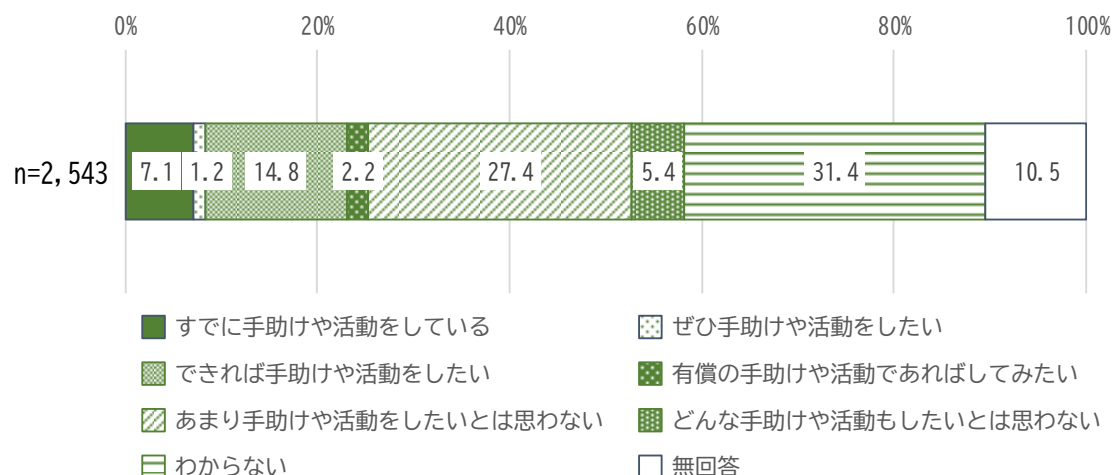
(9) その他

その他の活動にどれくらいの頻度で参加しているかは、「無回答」を除くと「参加していない」が17.7%と最も高くなっています。



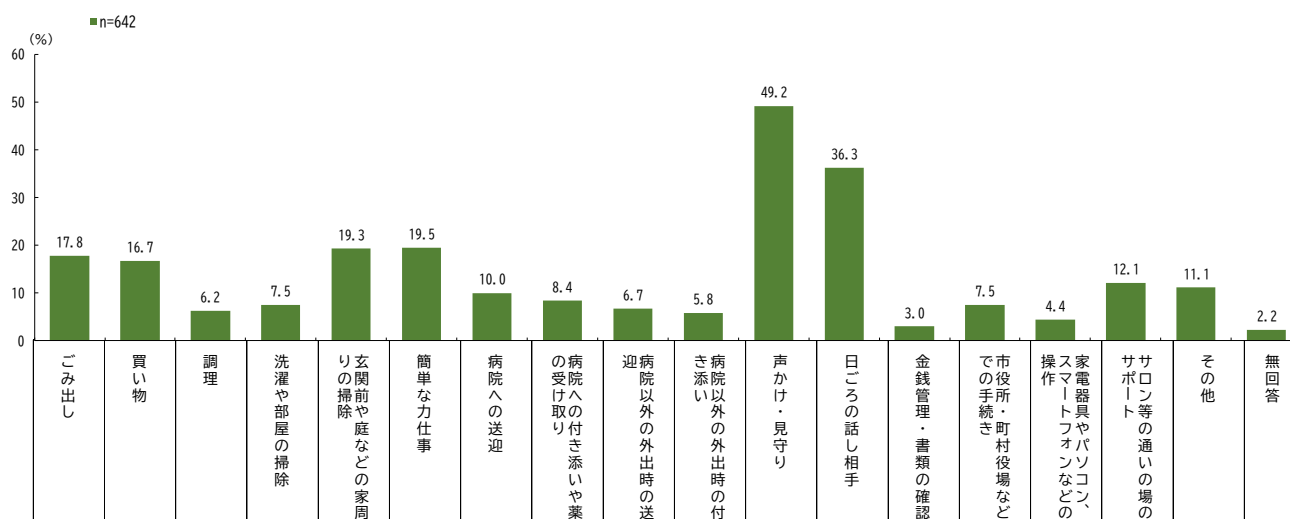
問28 あなたはお住まいの地域で、何か他の人の手助けや活動（ボランティアを含む）をしたいと思いますか。

他の人の手助けや活動をしたいかは、「わからない」が31.4%と最も高く、次いで「あまり手助けや活動をしたいとは思わない」が27.4%となっています。



問28-1 問28で「手助けや活動をしている・したい」に○をつけた方にうかがいます。  
それはどのような手助けや活動ですか。

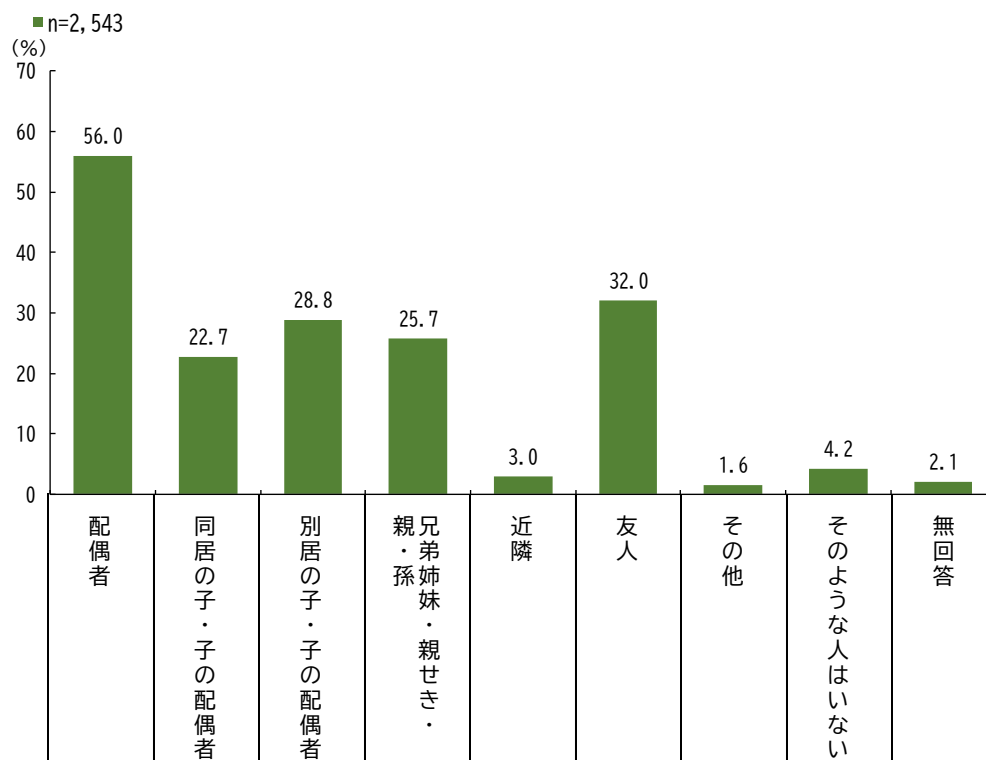
他の方の手助けや活動をしたいと思う方のその内容については、「声かけ・見守り」が49.2%と最も高く、次いで「日ごろの話し相手」が36.3%となっています。



問29 「たすけあい」の状況についてうかがいます。

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。

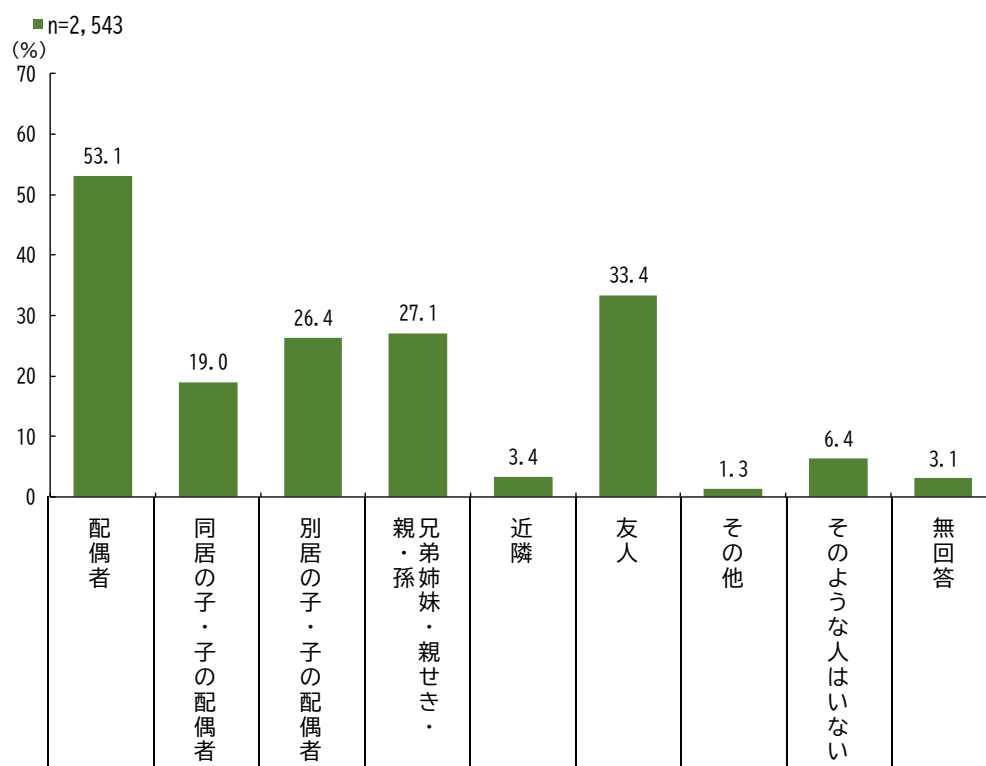
助け合いの状況について、心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が56.0%と最も高く、次いで「友人」が32.0%となっています。



問29 「たすけあい」の状況についてうかがいます。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。

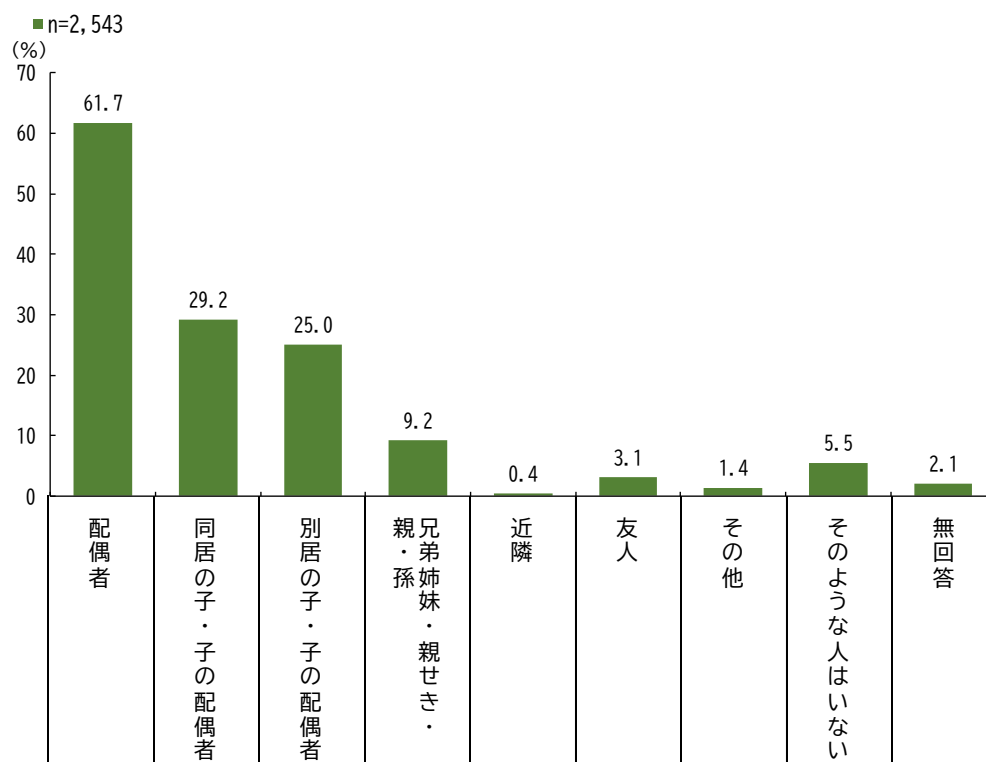
助け合いの状況について、心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が53.1%と最も高く、次いで「友人」が33.4%となっています。



問29 「たすけあい」の状況についてうかがいます。

(3) あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。

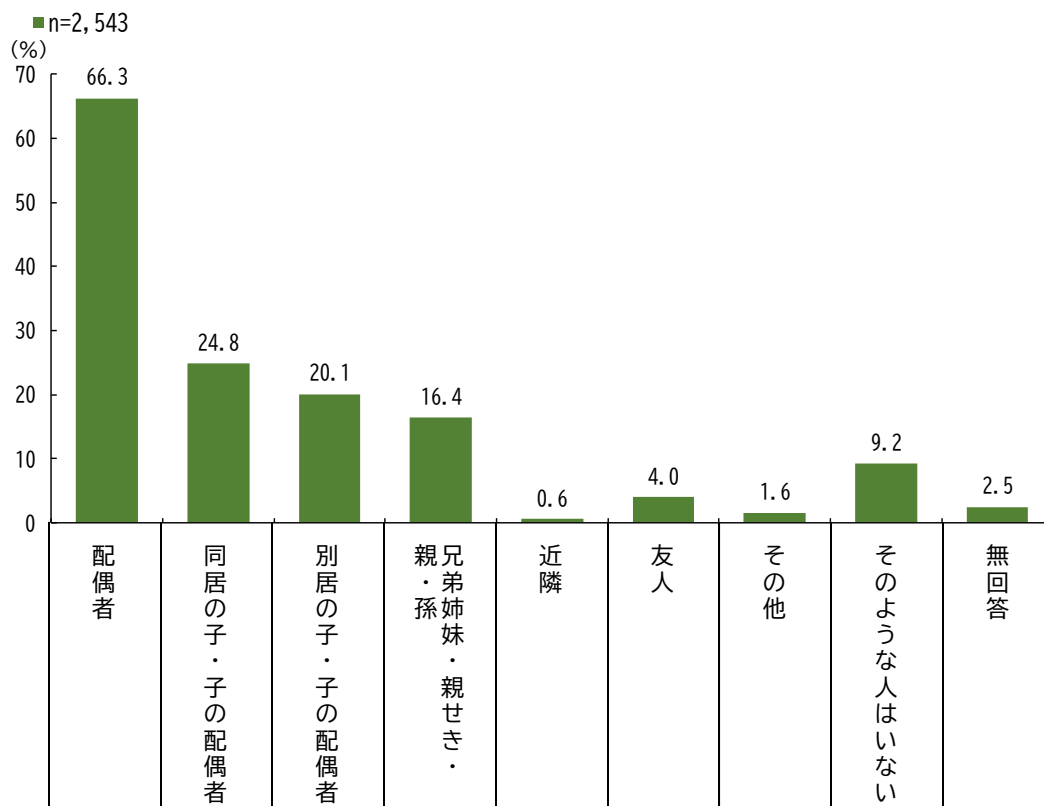
助け合いの状況について、病気の際に看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が61.7%と最も高く、次いで「同居の子・子の配偶者」が29.2%となっています。



問29 「たすけあい」の状況についてうかがいます。

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。

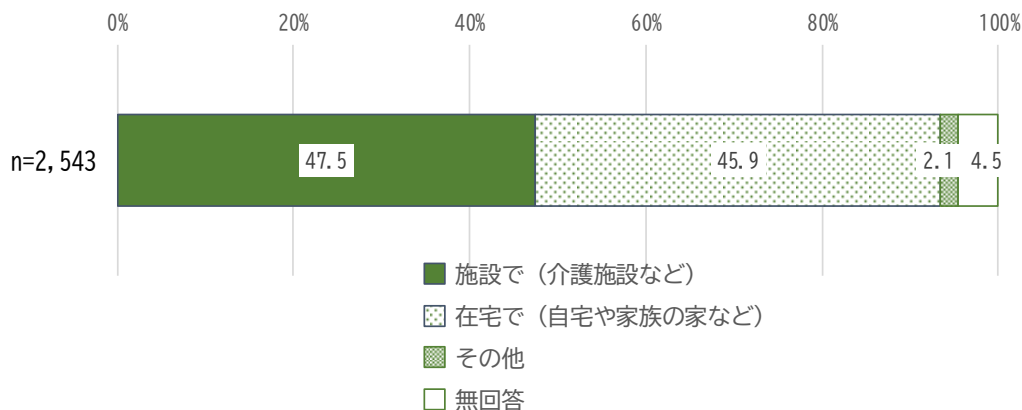
助け合いの状況について、病気のとくに看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が66.3%と最も高く、次いで「同居の子・子の配偶者」が24.8%となっています。



## ◆ 介護について

問30 あなたは将来、介護が必要になったときには、どこで介護を受けたいですか。

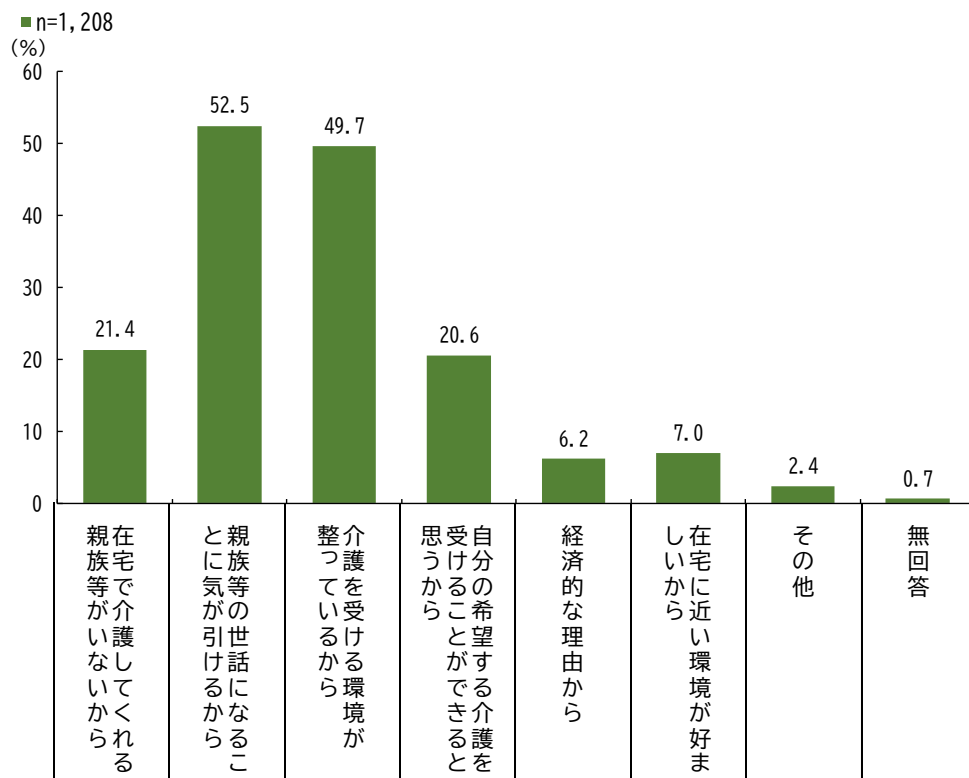
将来、介護が必要になった時にどこで介護を受けたいかは、「施設で（介護施設など）」が47.5%と最も高く、次いで「在宅で（自宅や家族の家など）」が45.9%となっています。



問30-1 問30で「施設で（介護施設など）」に○をつけた方にうかがいます。

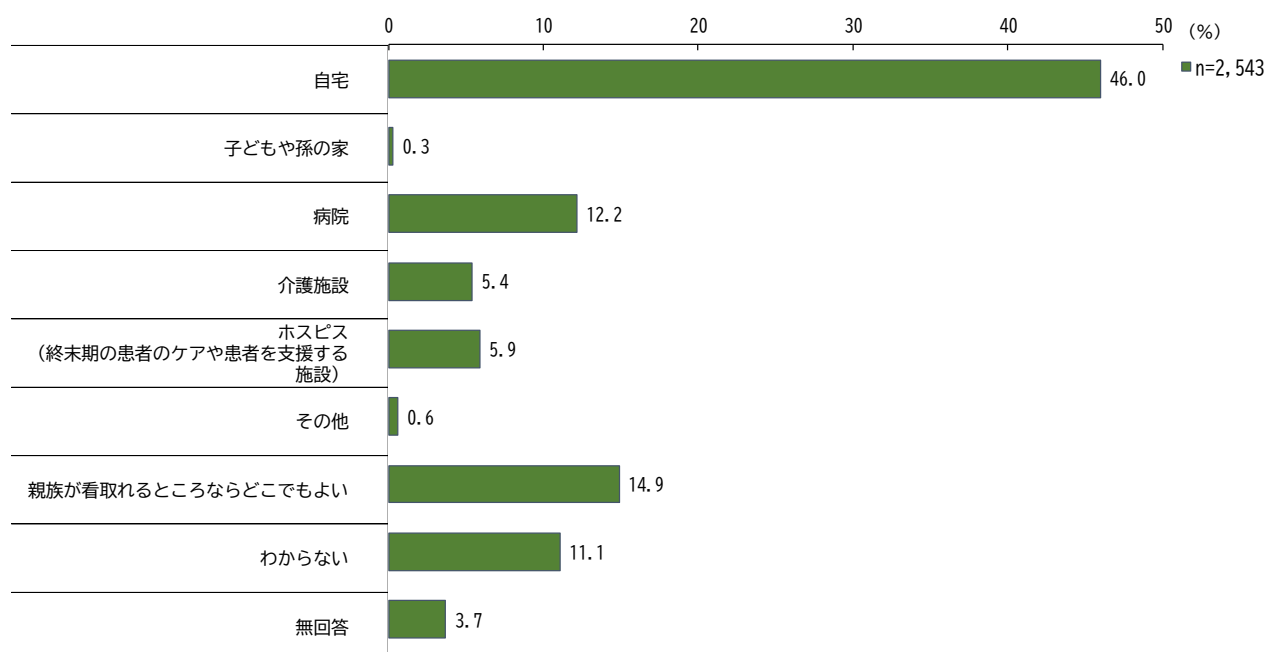
その場所を選んだのは、なぜですか。

施設で介護を受けたいと思う理由については、「親族等の世話になることに気が引けるから」が52.5%と最も高く、次いで「介護を受ける環境が整っているから」が49.7%となっています。



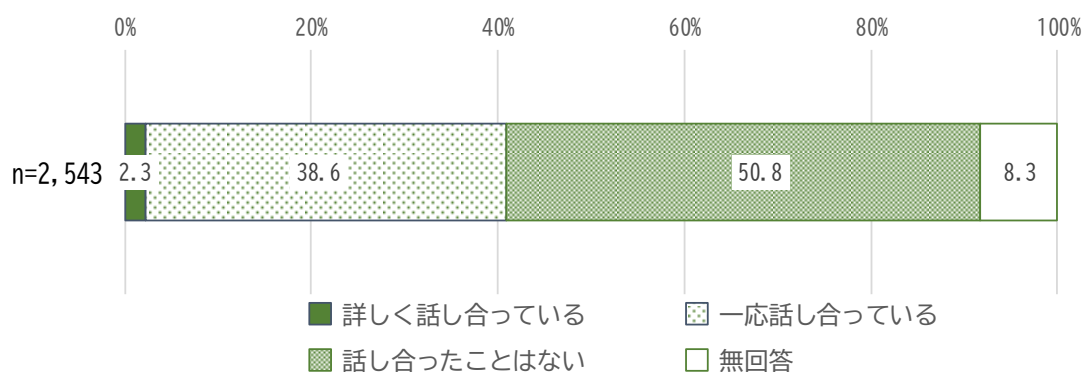
問31 あなたは、人生の最期を迎える場所として、どこを希望していますか。

人生の最後を迎える場所の希望は、「自宅」が46.0%と最も高く、次いで「親族が看取れるならどこでもよい」が14.9%、「病院」が12.2%となっています。



問32 あなたは、人生の最期に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族などや医療関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

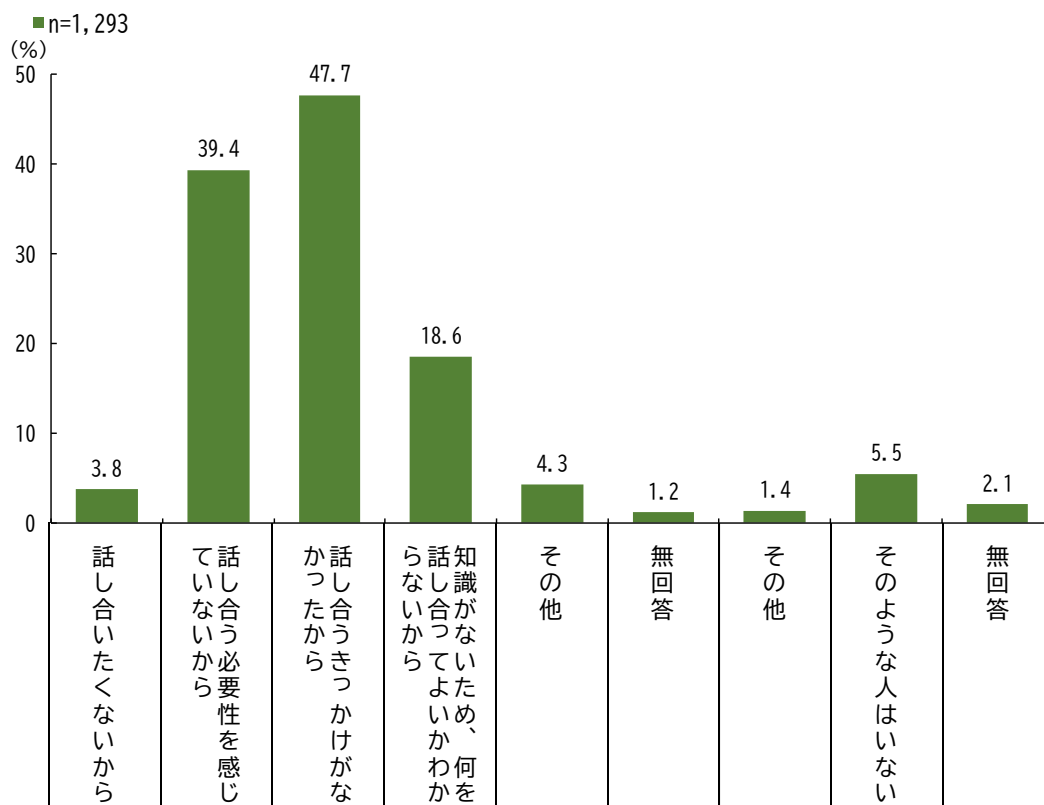
人生最後の医療について、どのくらい話し合ったことがあるかは、「話し合ったことはない」が50.8%、「一応話し合っている」が38.6%、「詳しく話し合っている」が2.3%となっています。



問32-1 問32で「話し合ったことはない」に○をつけた方にうかがいます。

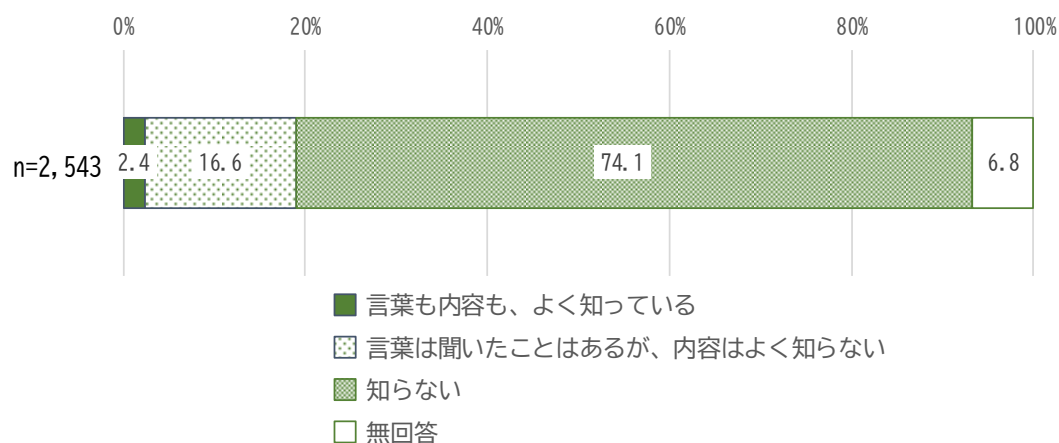
これまで話し合ったことはない理由は何ですか。

人生最期の医療について、これまで話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがなかったから」が47.7%と最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」が39.4%となっています。



問33 あなたは、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」（通称「人生会議」）について、知っていますか。

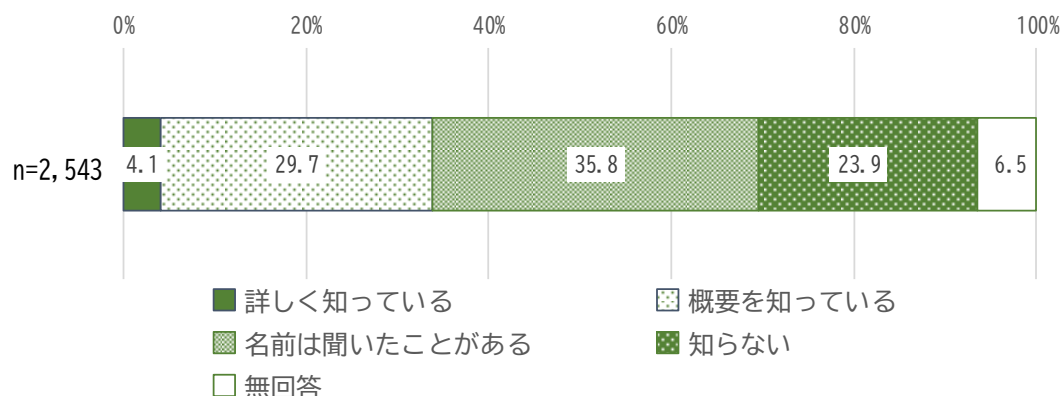
「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の認知状況は、「知らない」が74.1%、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が16.6%、「知らない」が2.4%となっています。





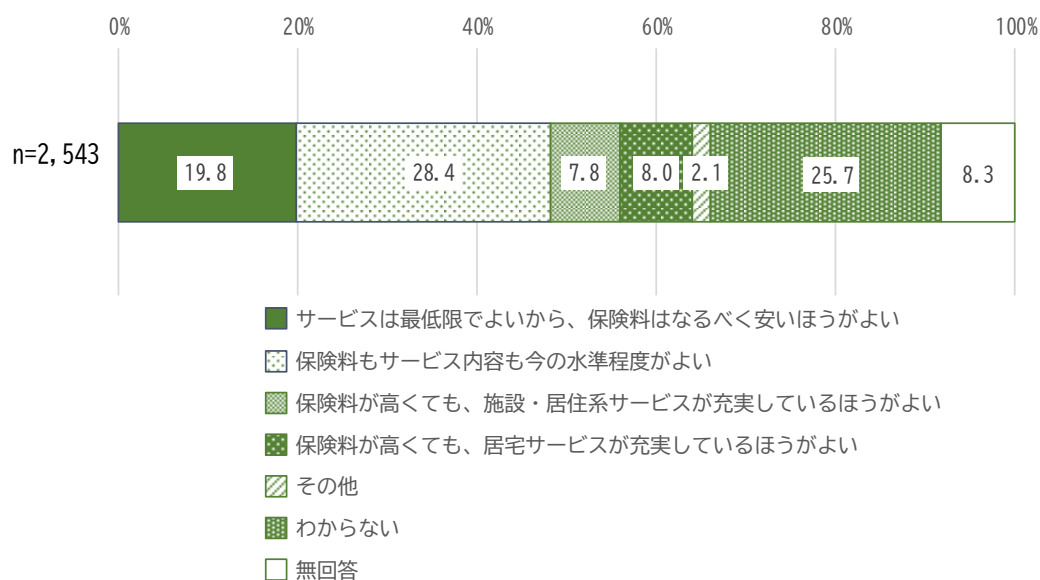
### 問34 あなたは、成年後見制度について、知っていますか。

成年後見制度の認知状況は、「名前は聞いたことがある」が35.8%、「概要を知っている」が29.7%、「知らない」が23.9%、「詳しく知っている」が4.1%となっています。



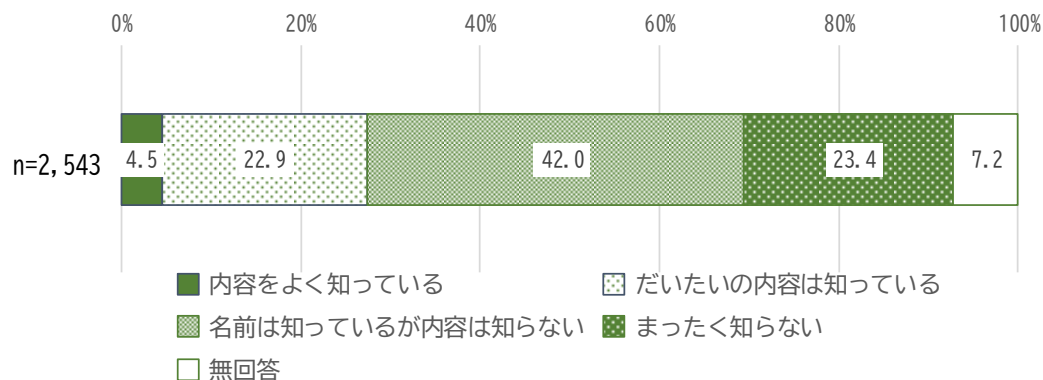
### 問35 介護保険制度で提供するサービスや介護予防のためのサービスの範囲について、あなたの考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。

介護保険制度で提供するサービスの範囲についての考えは、「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」が28.4%と最も高く、次いで「わからない」が25.7%、「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安いほうがよい」が19.8%となっています。



**問36 あなたは地域包括支援センター（または、高齢者相談センター・高齢者支援センター・高齢者ふれあい相談センター）を知っていますか。**

地域包括支援センターの認知度は、「名前は知っているが内容は知らない」が42.0%、「まったく知らない」が23.4%、「だいたいの名前は知っている」が22.9%、「内容をよく知っている」が4.5%となっています。

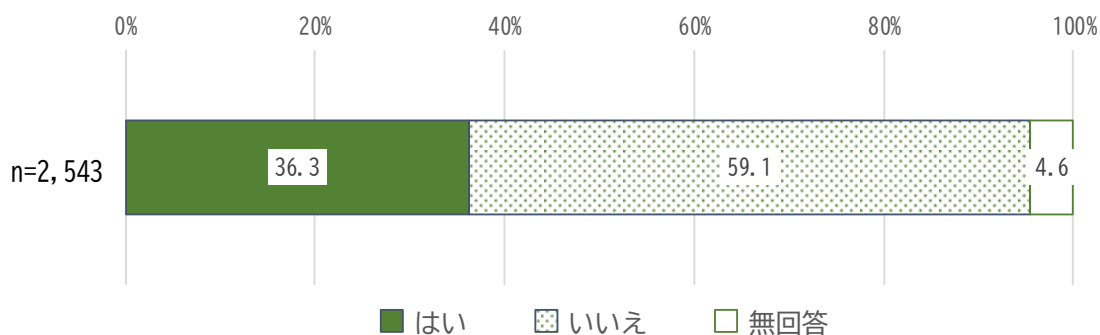


※豊川市の地域包括支援センターは令和5年4月1日から、「高齢者相談センター」から「福祉相談センター」へ名称を変更した。

**問36-1 問36で「内容をよく知っている」「だいたいの内容は知っている」に○をつけた方にかがいます。**

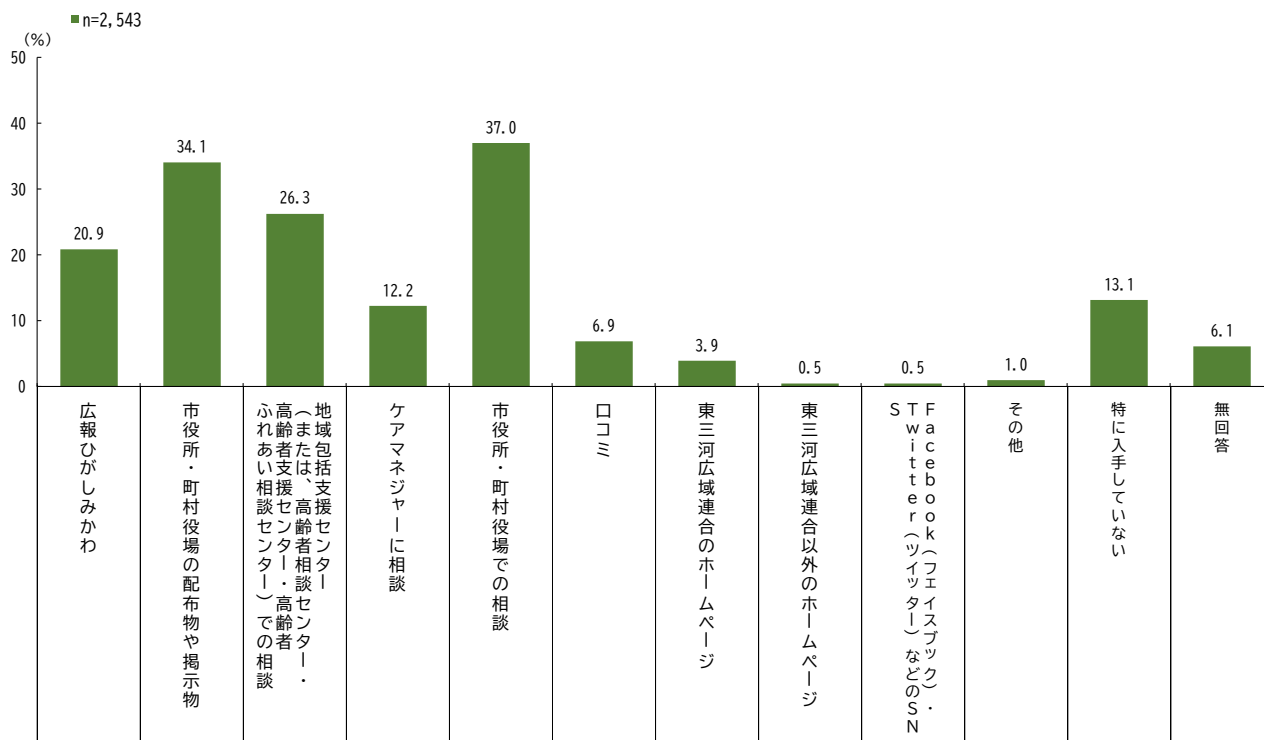
**あなたは地域包括支援センター（または、高齢者相談センター・高齢者支援センター・高齢者ふれあい相談センター）に相談したことがありますか。**

地域包括支援センターを認知している方の相談経験は、「はい」が36.3%、「いいえ」が59.1%となっています。



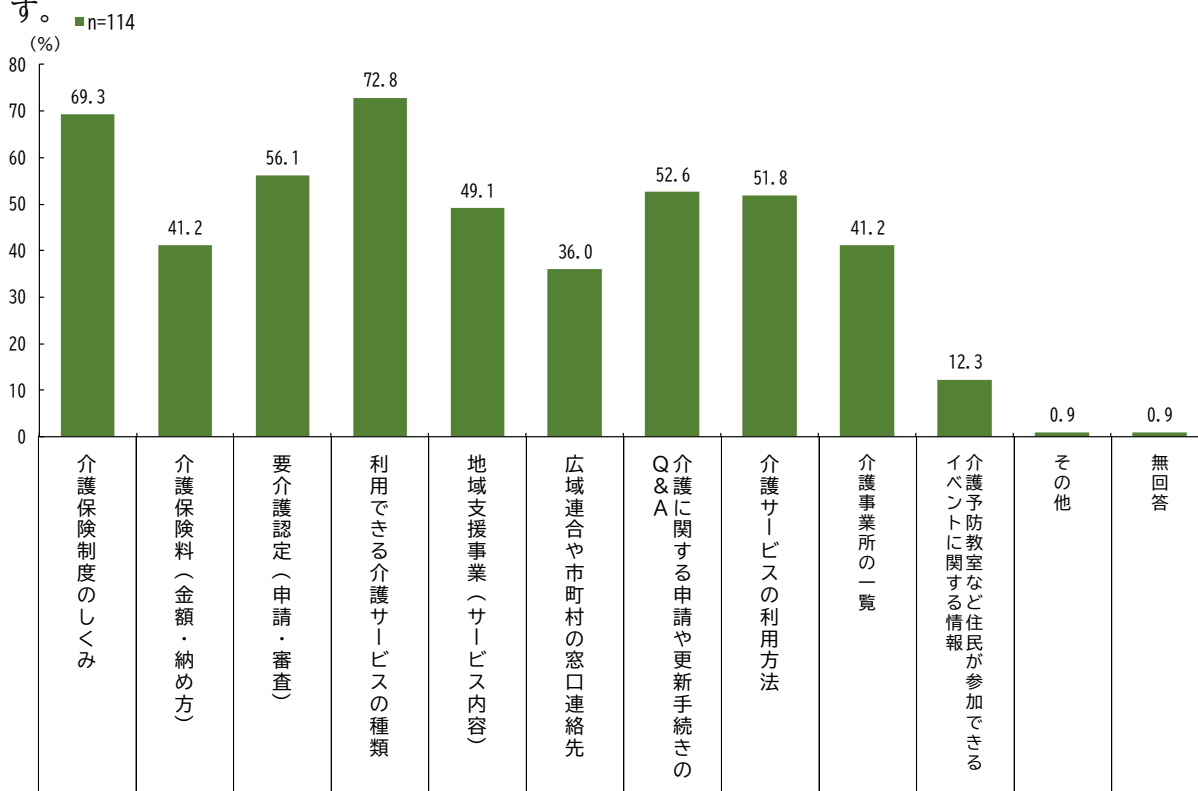
### 問37 あなたは、介護に関する情報を知りたい場合、どのように入手しますか。

介護に関する情報入手経路については、「市役所・町村役場での相談」が37.0%と最も高く、次いで「市役所・町村役場の配布物や掲示物」が34.1%となっています。



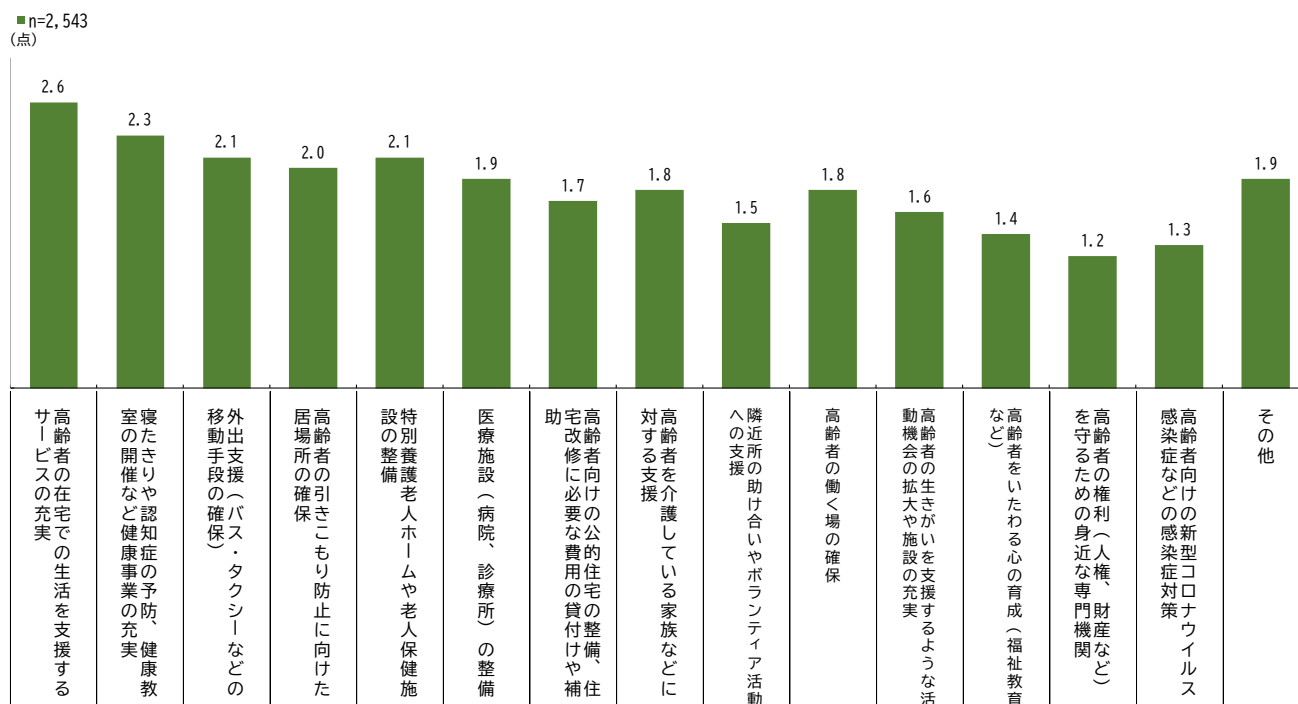
#### 問37-1 問37で「東三河広域連合のホームページ」「東三河広域連合以外のホームページ」「Facebook・TwitterなどのSNS」に○をつけた方にうかがいます。ホームページやSNSで知りたい介護に関する情報は何ですか。

ホームページやSNSで介護に関するそのような情報を入手したいかは、「利用できる介護サービスの種類」が72.8%と最も高く、次いで「介護保険制度のしくみ」が69.3%となっています。



問38 今後、高齢社会において、さらに充実させた方がよいと考えるものはどのようなものですか。最も当てはまるもの、2番目に当てはまるもの、3番目に当てはまるものをそれぞれ選び、選択肢の右の欄に数字を記入してください。

高齢社会において充実させたいと考えることは、「高齢者の在宅での生活を支援するサービスの充実」が2.6点と最も高く、次いで「寝たきりや認知症の予防、健康教室の開催など健康事業の充実」が2.3点となっています。



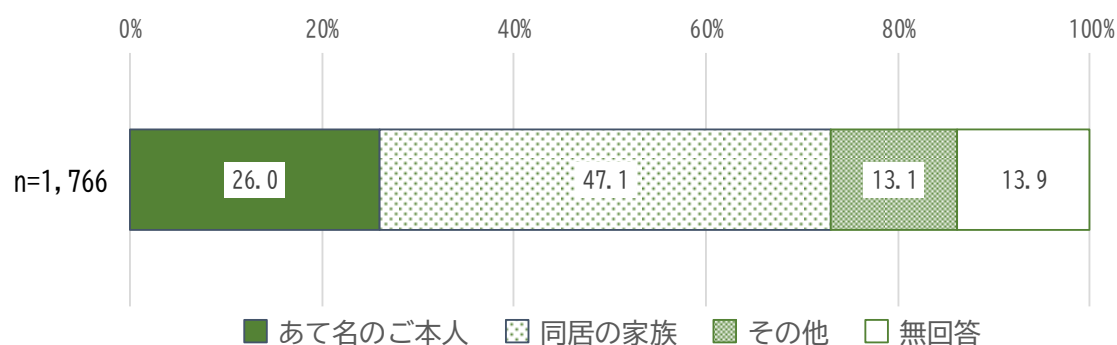
# 3

## 調査結果【要介護等認定者ニーズ調査】

### ◆ 宛名のご本人および家族について

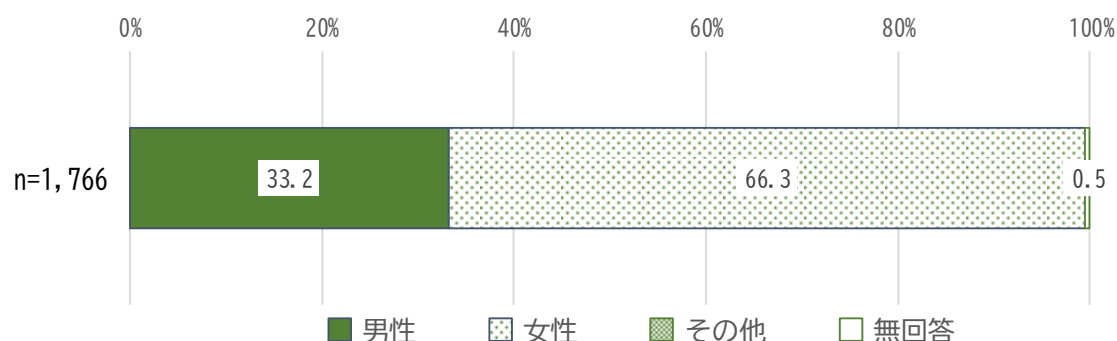
問1 この調査票にご回答いただいているのは、どなたですか。

要介護等認定者ニーズ調査の回答者は、「あて名のご本人」が26.0%、「同居の家族」が47.1%となっています。



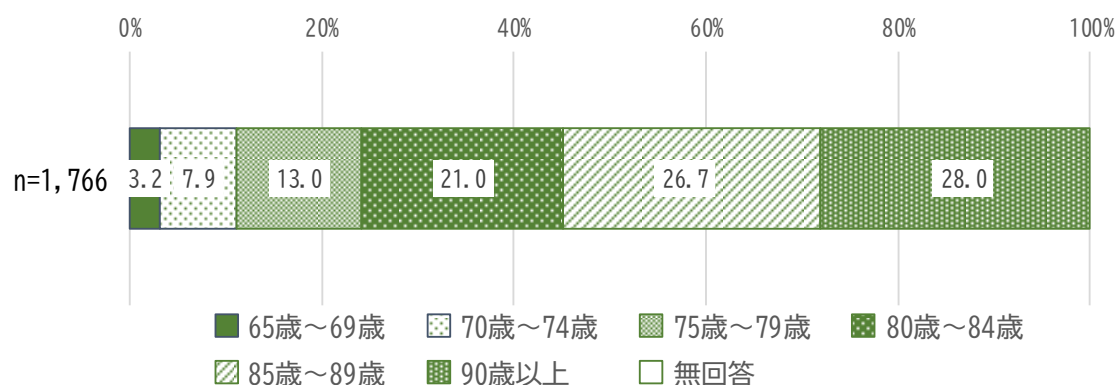
問2 あなたの性別をお答えください。

性別は、「男性」が33.2%、「女性」が66.3%となっており、「女性」の回答割合が高くなっています。



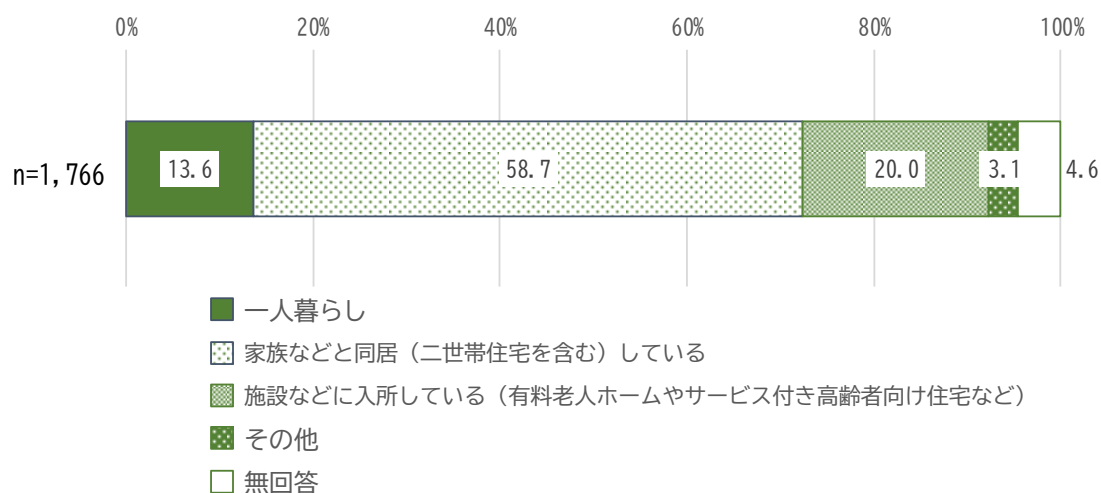
問3 あなたの令和4年8月1日現在の満年齢をお答えください。

年齢は、「90歳以上」が28.0%と最も高く、次いで「85歳～89歳」が26.7%となっています。



## 問5 あなたの現在の世帯の状況をお答えください。

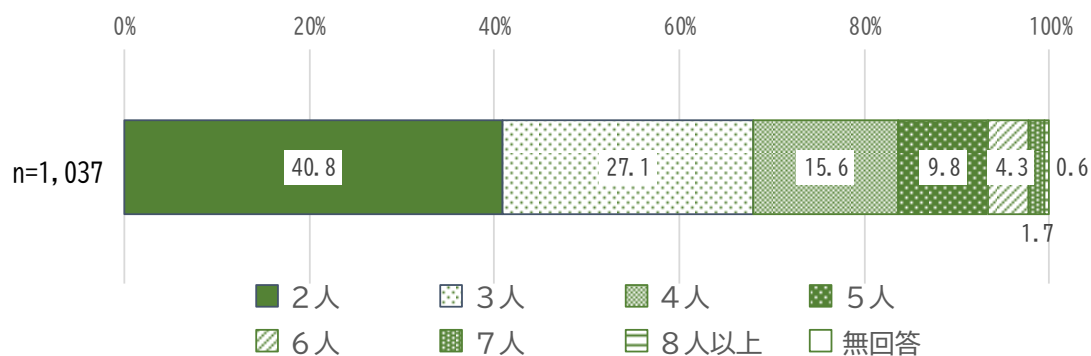
現在の世帯の状況は、「家族など同居（二世帯住宅を含む）している」が58.7%と最も高く、次いで「施設などに入所している（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など）」が20.0%となっています。



## 問5-1 問5で「家族など同居（二世帯住宅を含む）している」に○をつけた方にうかがいます。

### （1）あなたは、ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

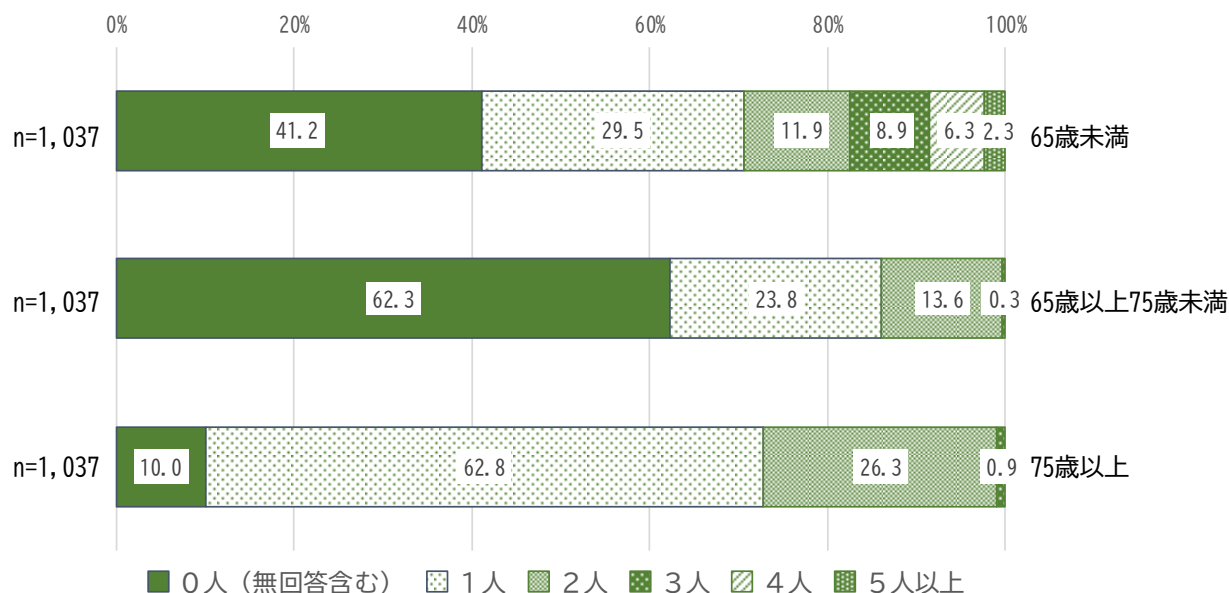
同居者数は、「2人」が40.8%と最も高く、次いで「3人」が27.1%となっています。



問5-1 問5で「家族などと同居（二世帯住宅を含む）している」に○をつけた方にうかがいます。

（2）そのうち、65歳未満、65歳以上75歳未満、75歳以上の方はそれぞれ何人ですか。

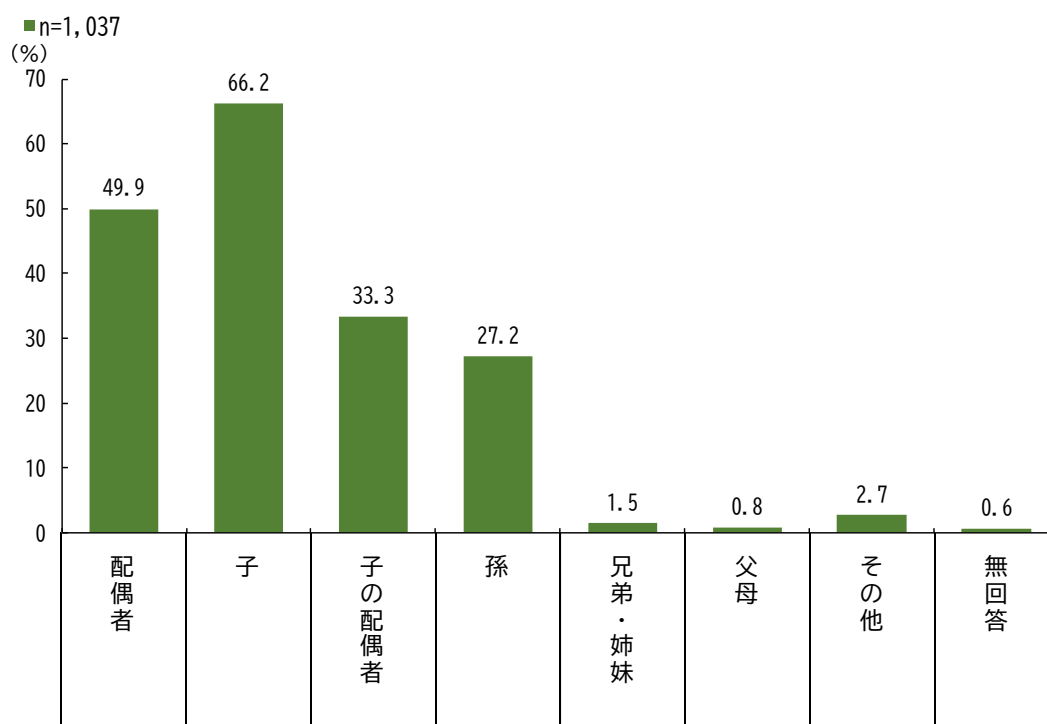
同居している人数は、65歳未満は「0人」が41.2%、65歳以上75歳未満は「0人」が62.3%、75歳以上は「1人」が62.8%とそれぞれ最も高くなっています。



問5-1 問5で「家族などと同居（二世帯住宅を含む）している」に○をつけた方にうかがいます。

（3）同居されている方はどなたですか。

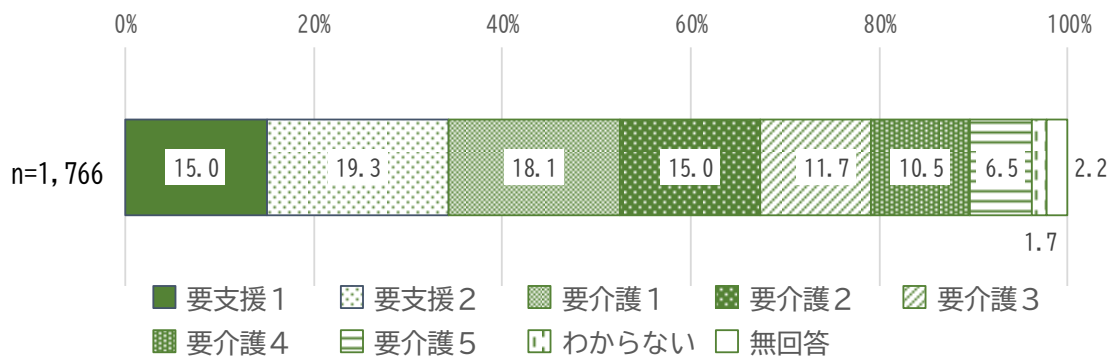
同居者の構成は、「子」が66.2%と最も高く、次いで「配偶者」が49.9%となっています。



## ◆ 介護について

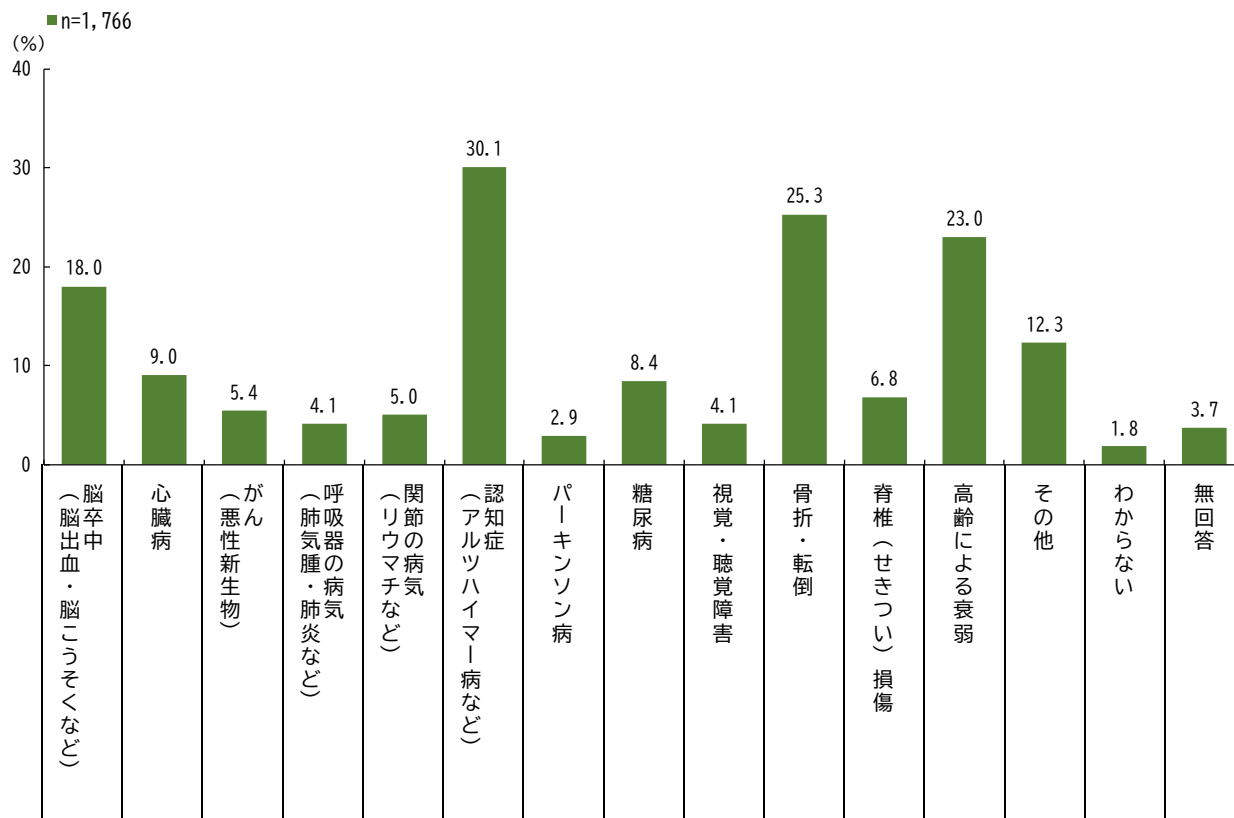
### 問6 あなたの現在の要介護度は次のどれにあたりますか。

現在の要介護度は、「要支援2」が19.3%と最も高く、次いで「要介護1」が18.1%、「要支援1」が15.0%となっています。



### 問7 あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。

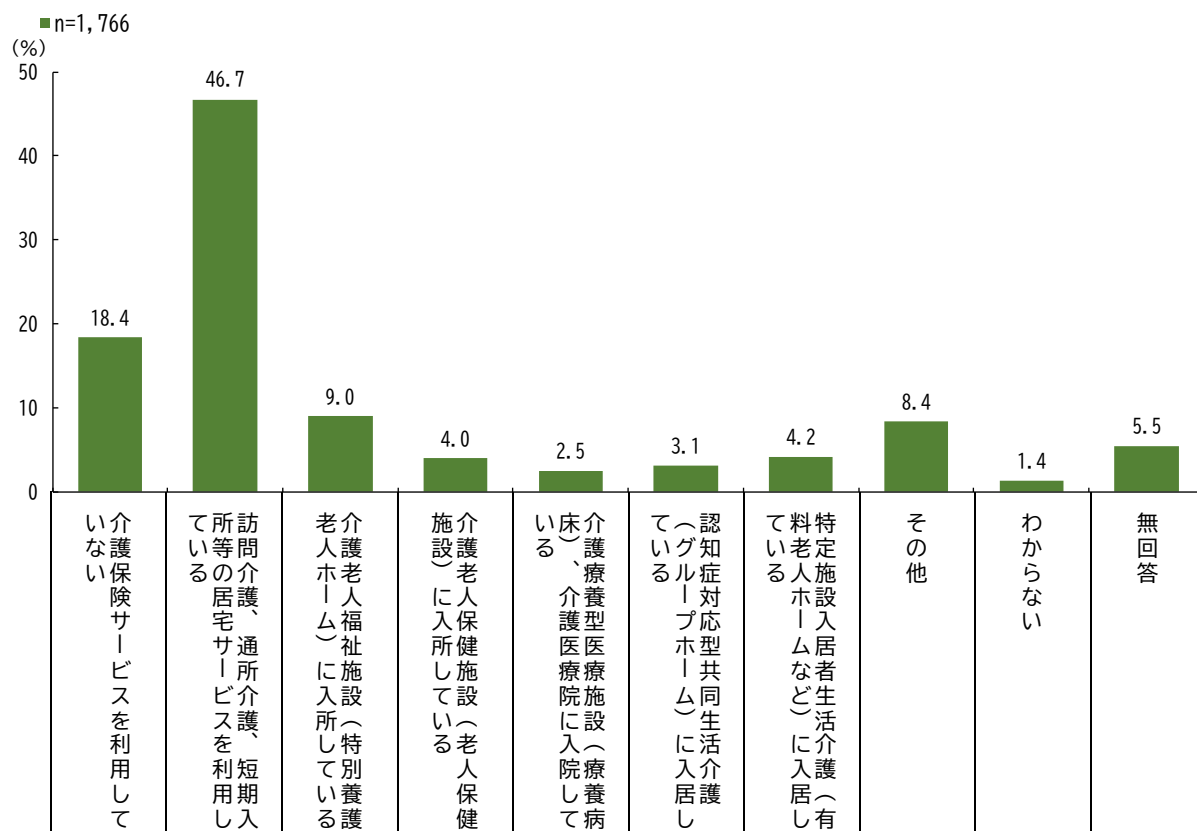
介護が必要になった主な原因は、「認知症（アルツハイマー病など）」が30.1%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が25.3%、「高齢による衰弱」が23.0%となっています。





## 問8 現在、あなたはどのような介護保険サービスを利用していますか。

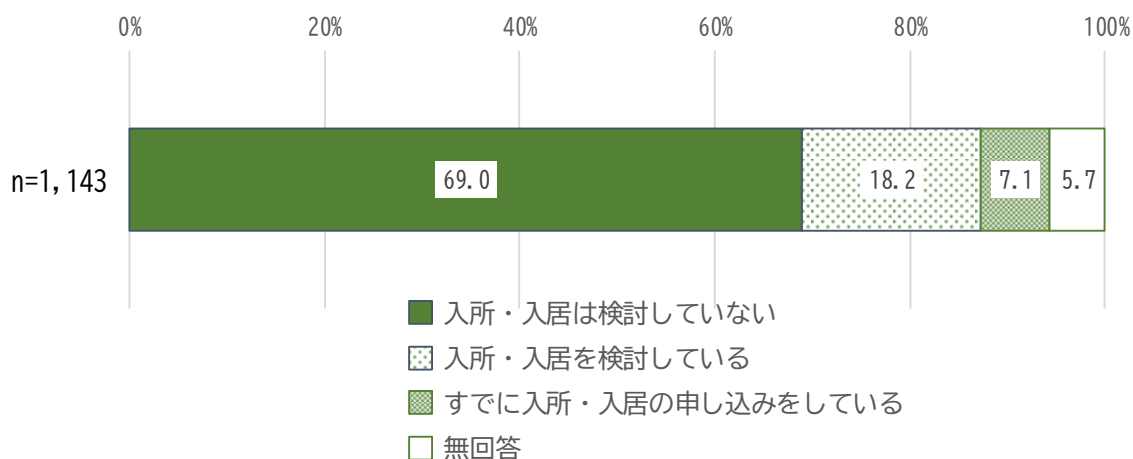
利用している介護保険サービスは、「訪問介護、通所介護、短期入所等の居宅サービスを利用している」が46.7%と最も高く、次いで「介護保険サービスを利用していない」が18.4%となっています。



### 問8-1 問8で「介護保険サービスを利用していない」「訪問介護、通所介護、短期入所等の居宅サービスを利用している」に○をつけた方にうかがいます。

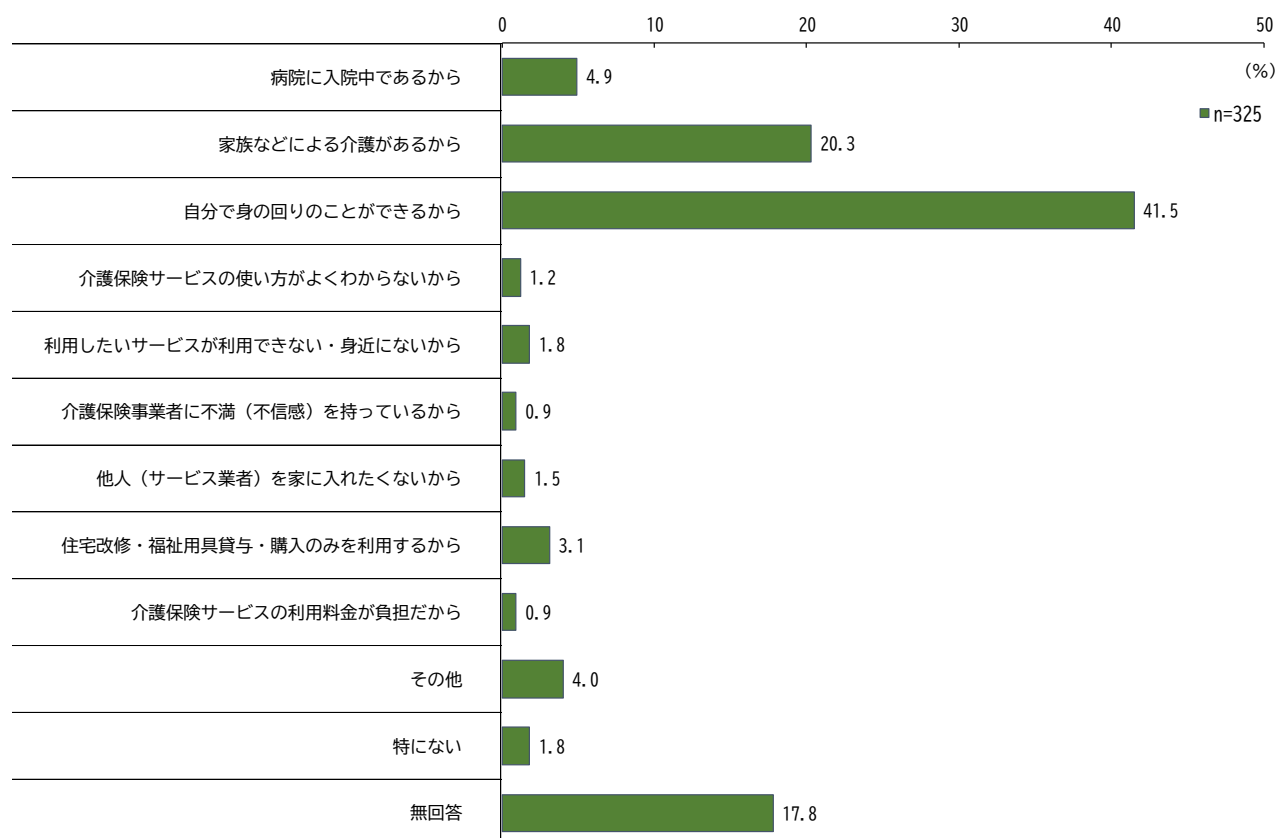
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。

現時点での施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が69.0%、「入所・入居を検討している」が18.2%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が7.1%となっています。



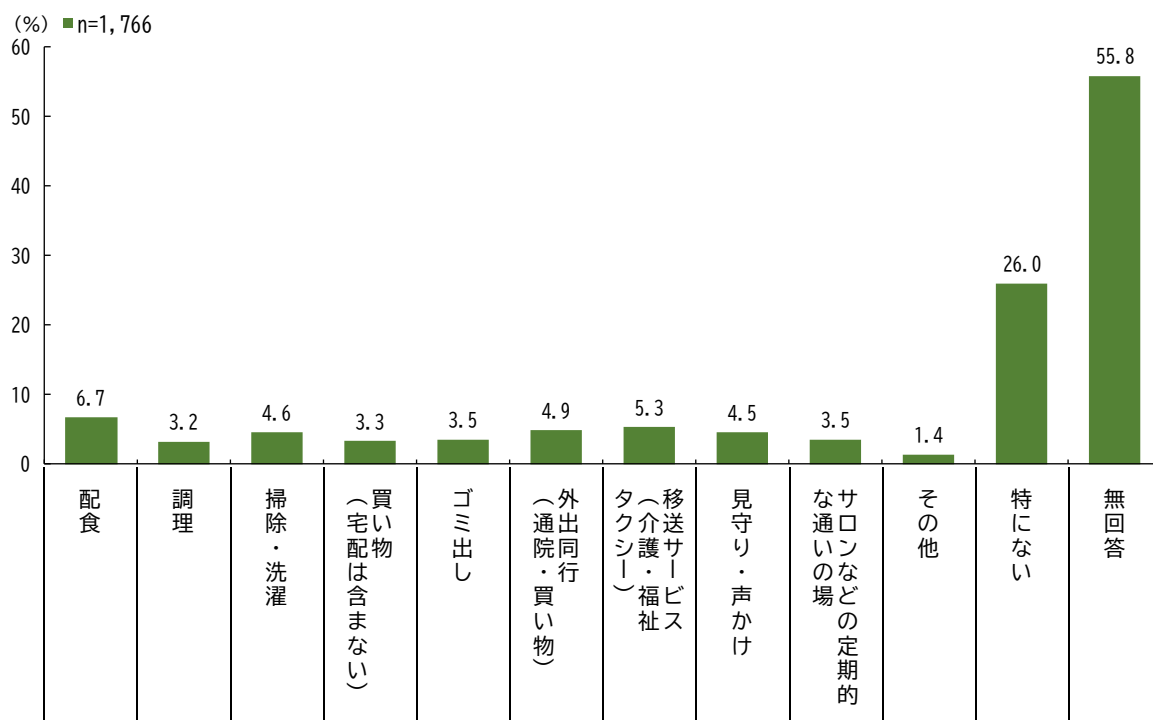
問8-2 問8で「介護保険サービスを利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
あなたが介護保険サービスを利用していない理由について、最もあてはまるものに○  
をつけてください。

介護保険サービスを利用していない理由は、「自分で身の回りのことができるから」が41.5%  
と最も高く、次いで「家族などによる介護があるから」が20.3%となっています。



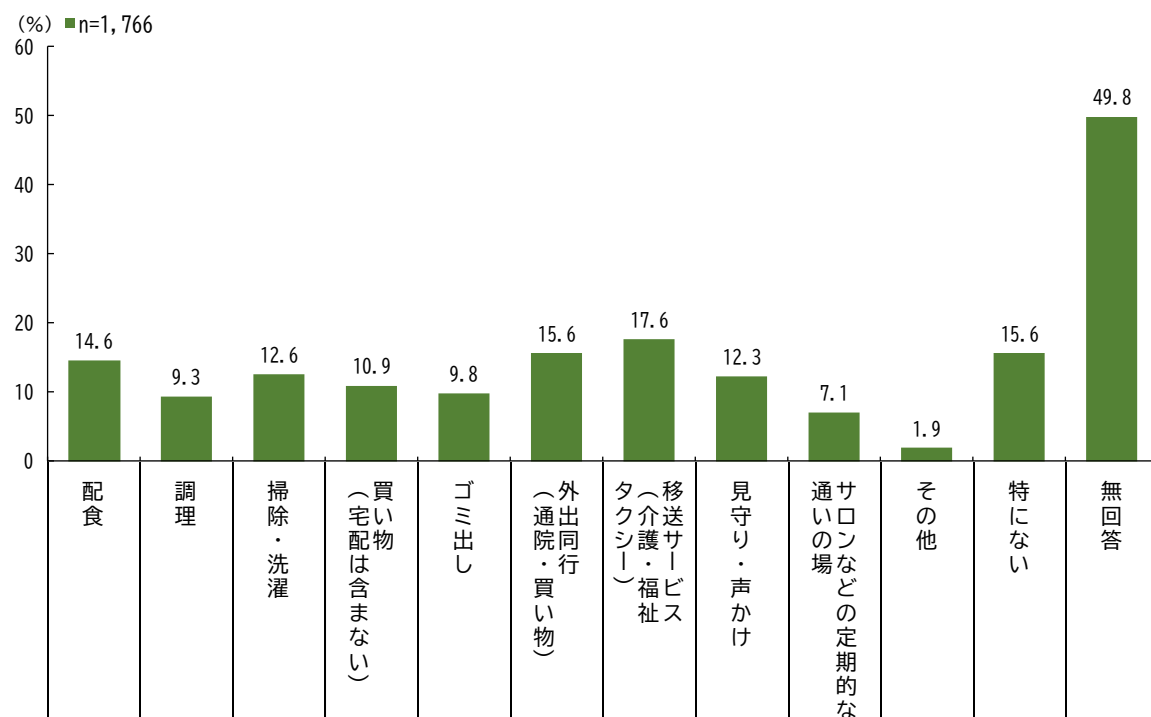
問9 1. あなたが現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスは、「特にない」を除くと「配食」が6.7%と最も高く、次いで「外出同行（通院・買い物）」が4.9%となっています。



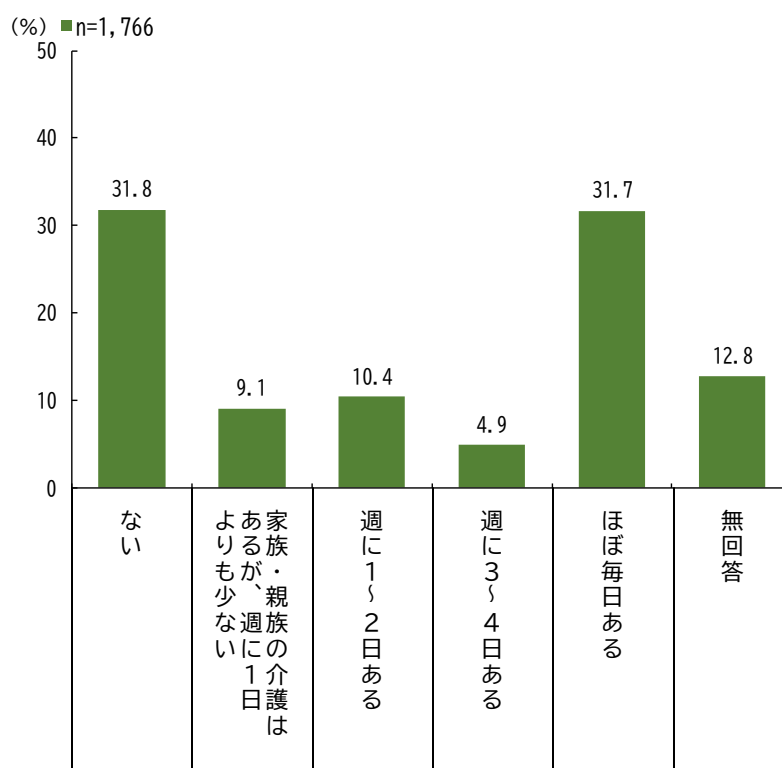
問9 2. あなたが今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

今後の住宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が17.6%と最も高く、次いで「外出同行（通院・買い物）」が15.6%となっています。



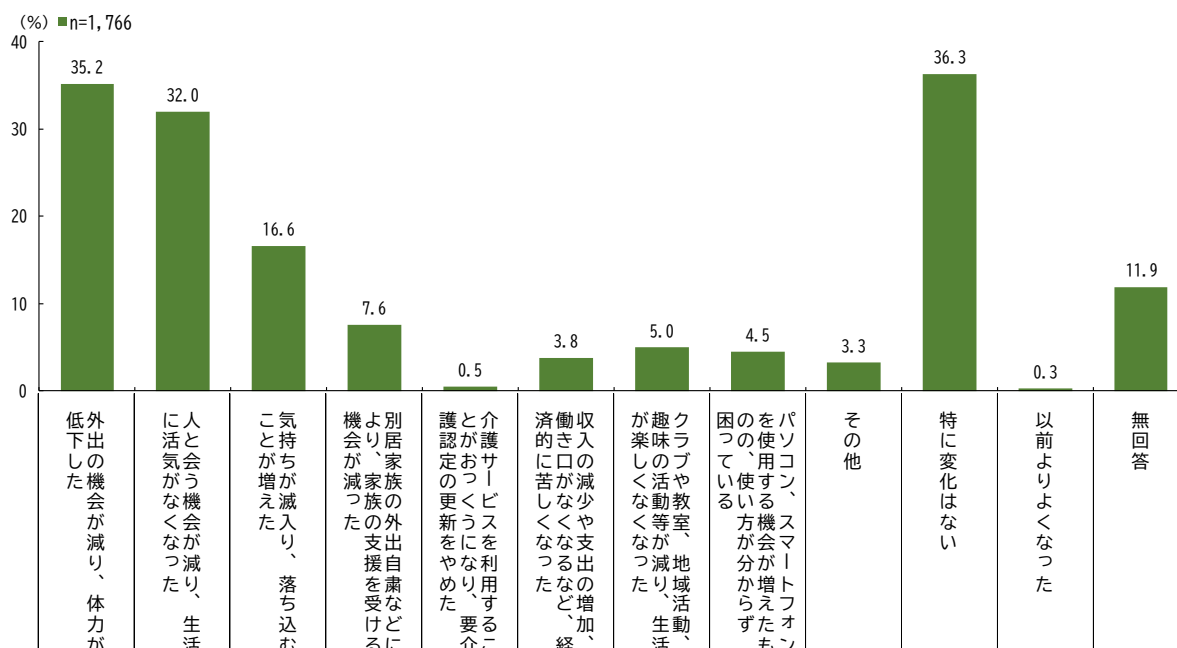
問10 ご家族やご親族からの介護（同居していない子どもや親族などからの介護を含む）は、週にどのくらいありますか。

家族や親族からの介護の頻度は、「ない」が31.8%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」が31.7%となっています。



問11 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降（令和2年3月以降）、心身の状態や環境に影響はありましたか。

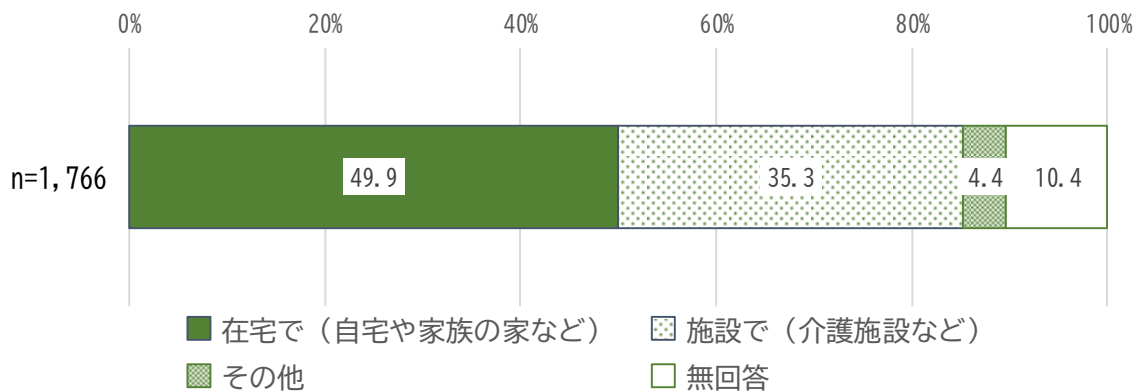
新型コロナウイルス感染症の影響については、「特に変化はない」を除くと、「外出の機会が減り、体力が低下した」が35.2%と最も高く、次いで「人と会う機会が減り、生活になんかなくなった」が32.0%となっています。



## ◆ 住まい、介護保険について

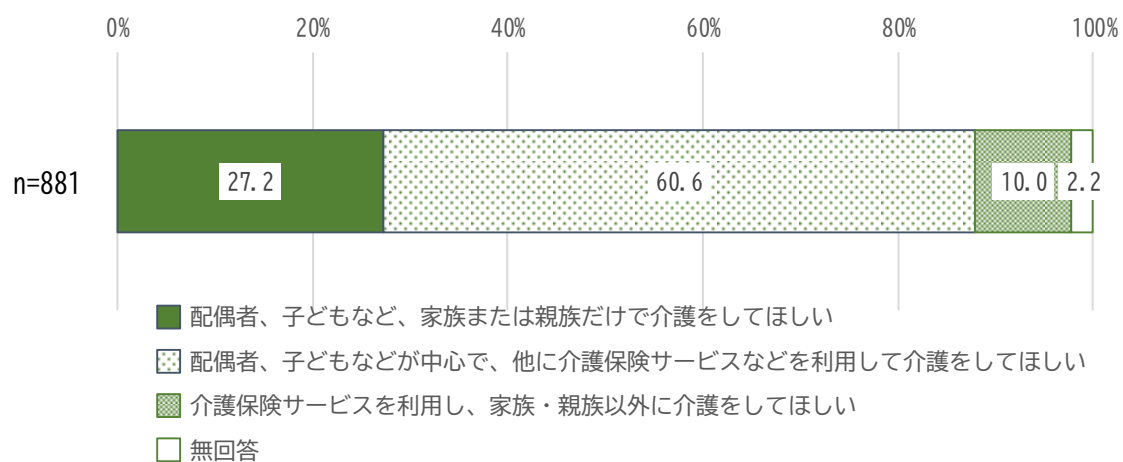
### 問12 あなたは今後、どこで介護を受けたいですか。

現在の要介護度は、「在宅で（自宅や家族の家など）」が 49.9%、「施設で（介護施設など）」が 35.3%となっています。



### 問12-1 問12で「在宅で（自宅や家族の家など）」に○をつけた方にうかがいます。 どなたから介護を受けたいですか。

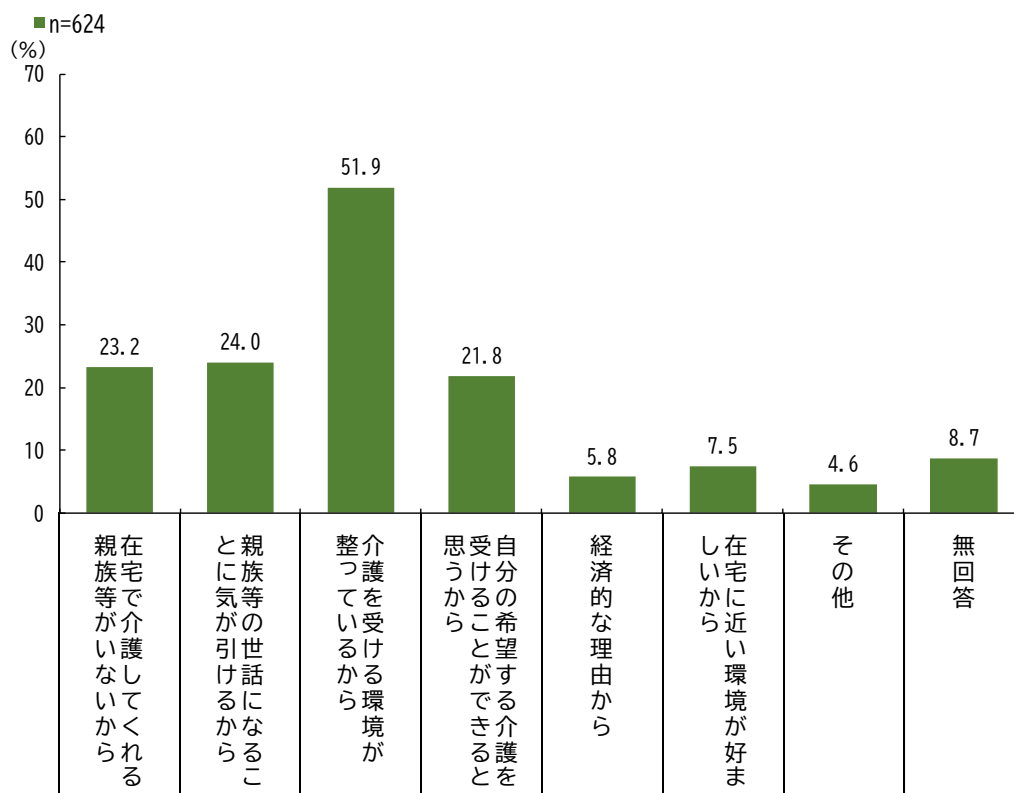
今後、在宅で介護を受けたい方が介護を受けたい人は、「配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい」が 60.6%と最も高く、次いで「配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい」が 27.2%となっています。



問12-2 問12で「施設で（介護施設など）」に○をつけた方にうかがいます。

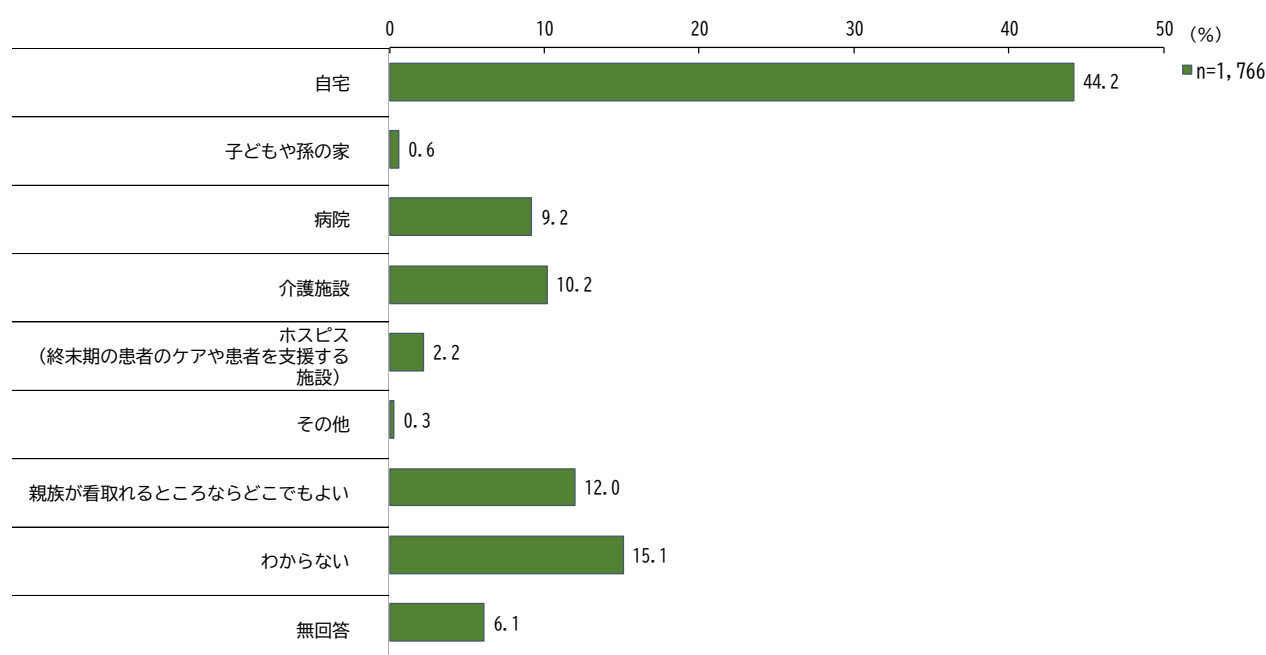
その場所を選んだのは、なぜですか。

今後、施設で介護を受けたい理由については、「介護を受ける環境が整っているから」が51.9%と最も高く、次いで「親族等の世話になることに気が引けるから」が24.0%となっています。



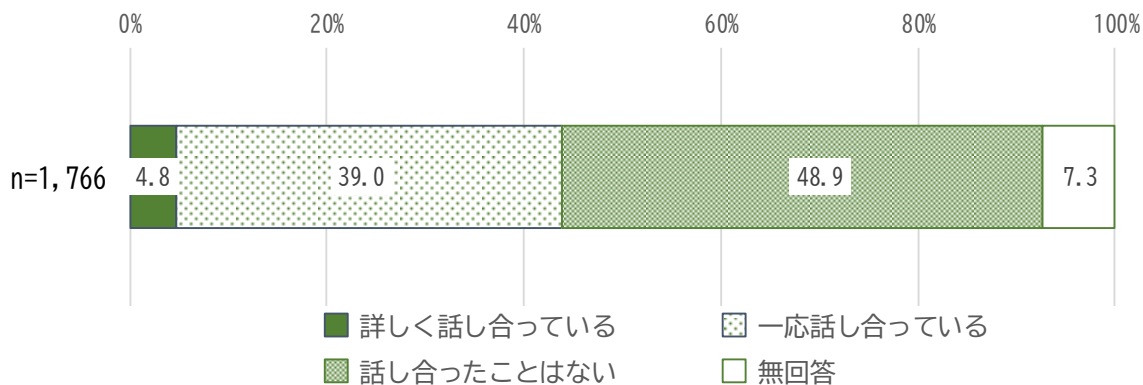
問13 あなたは、人生の最期を迎える場所として、どこを希望していますか。

人生の最期を迎える場所の希望は、「自宅」が44.2%と最も高く、次いで「親族が看取れるところならどこでもよい」が12.0%となっています。



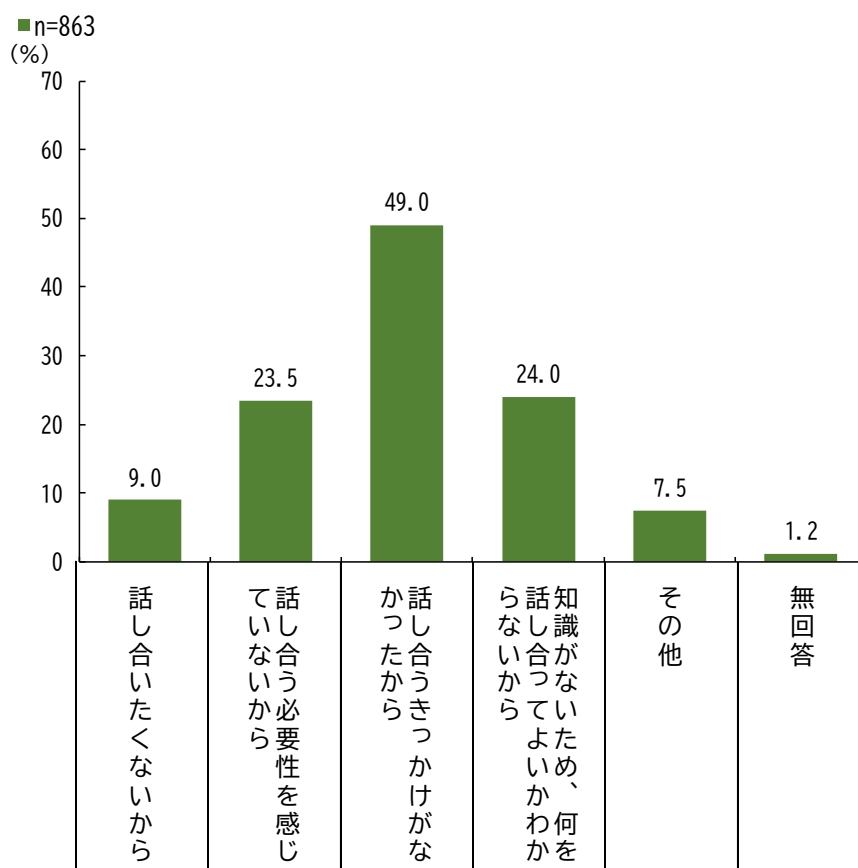
問14 あなたは、人生の最期に受けた医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族などや医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

人生最後の医療について、どのくらい話し合ったことがあるかは、「話し合ったことはない」が48.9%と最も高く、次いで「一応話し合っている」が39.0%となっています。



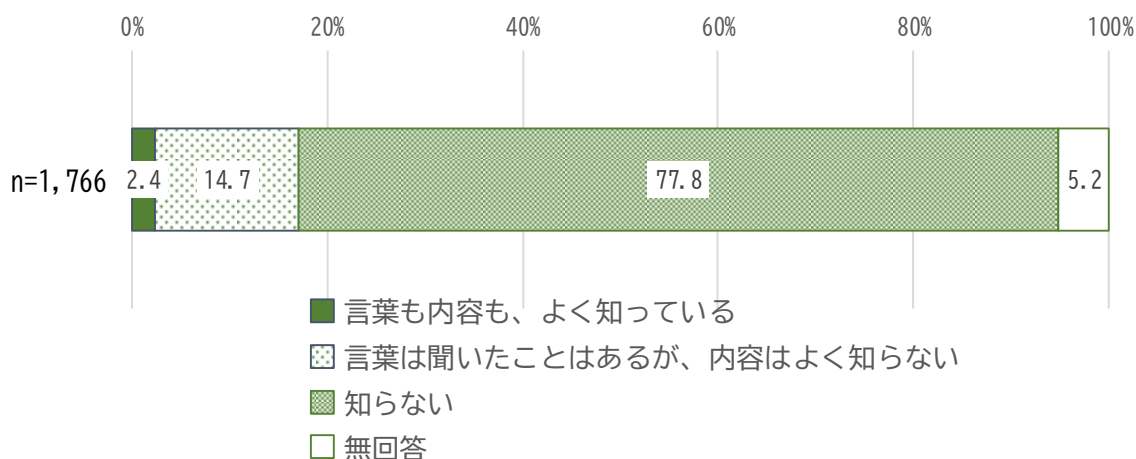
問14-1 問14で「話し合ったことはない」に○をつけた方にうかがいます。  
これまで話し合ったことはない理由は何ですか。

人生最期の医療について、これまで話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがなかったから」が49.0%と最も高く、次いで「知識がないため、何を話し合ってもいいかわからないから」が24.0%となっています。



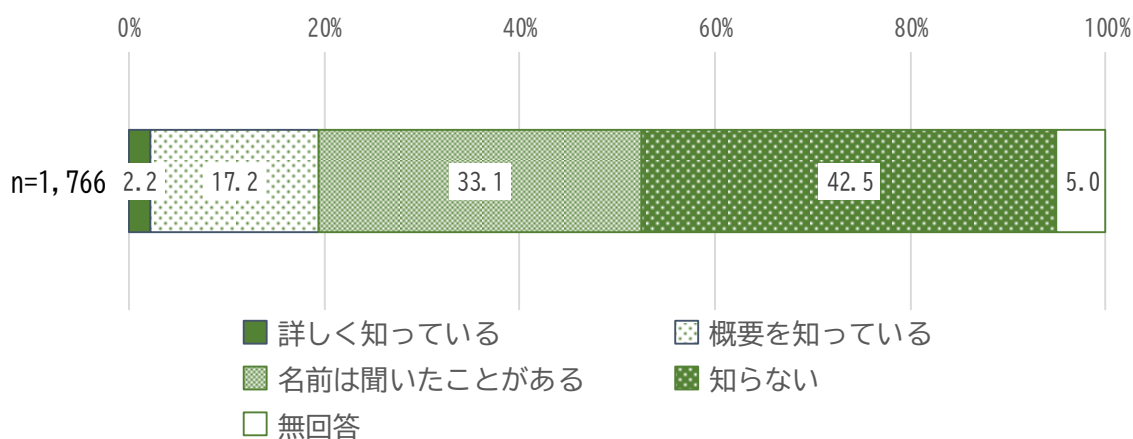
問15 あなたは、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」（通称「人生会議」）について、知っていますか。

「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の認知状況は、「言葉も内容もよく知っている」が2.4%、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が14.7%、「知らない」が77.8%となっています。



問16 あなたは、成年後見制度について、知っていますか。

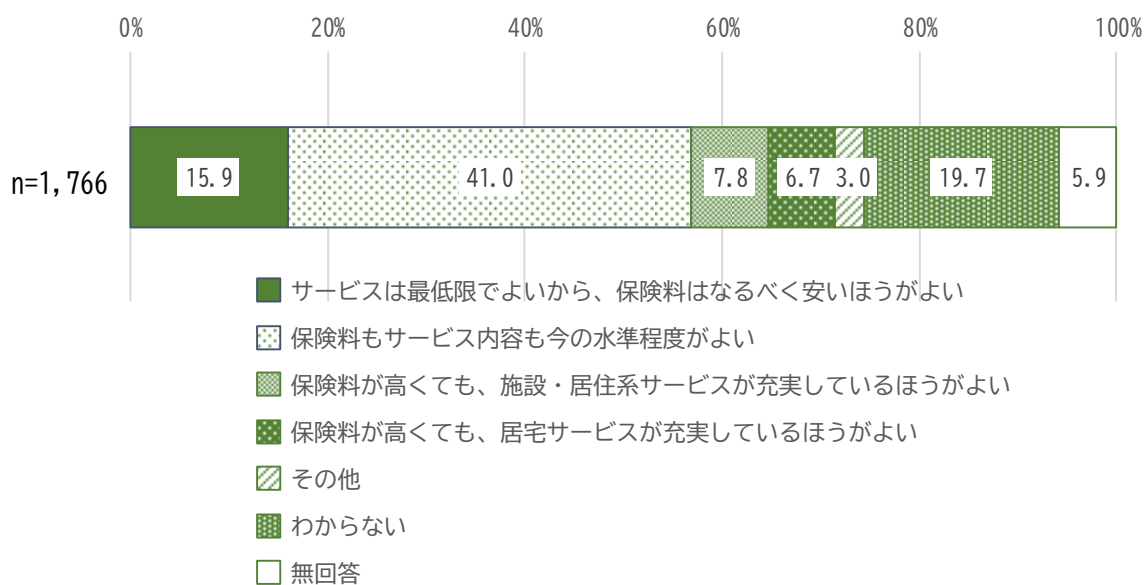
成年後見制度の認知状況は、「知らない」が42.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」が33.1%となっています。





問17 介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスの範囲について、あなたの考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。

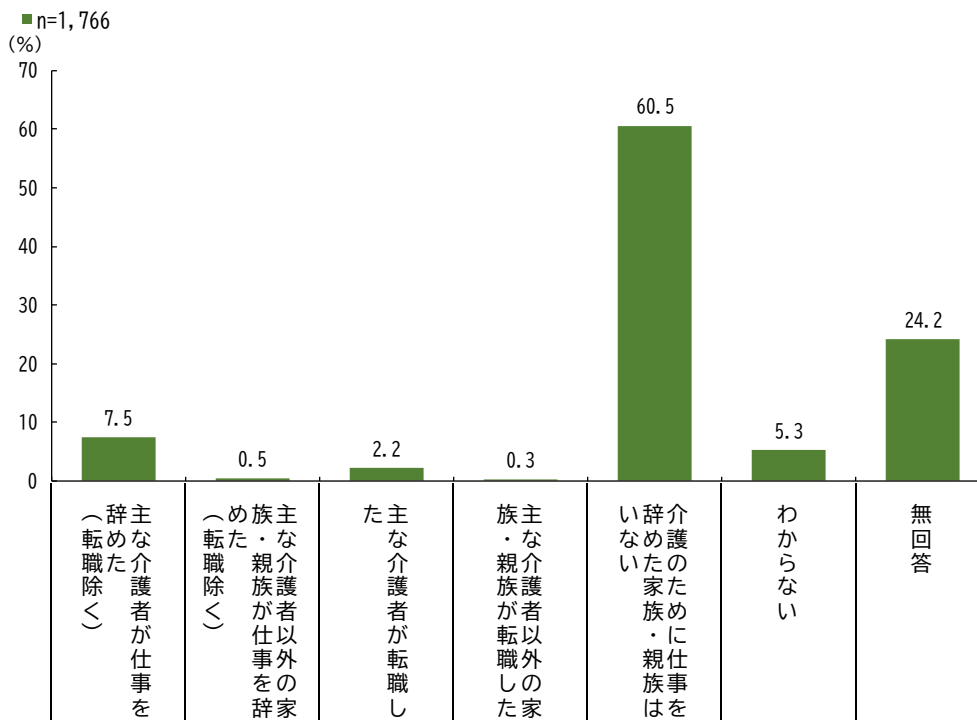
介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスの範囲についての考えは、「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」が41.0%と最も高く、次いで「わからない」が19.7%、「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安いほうがよい」が15.9%となっています。



## ◆ 中心介護者について

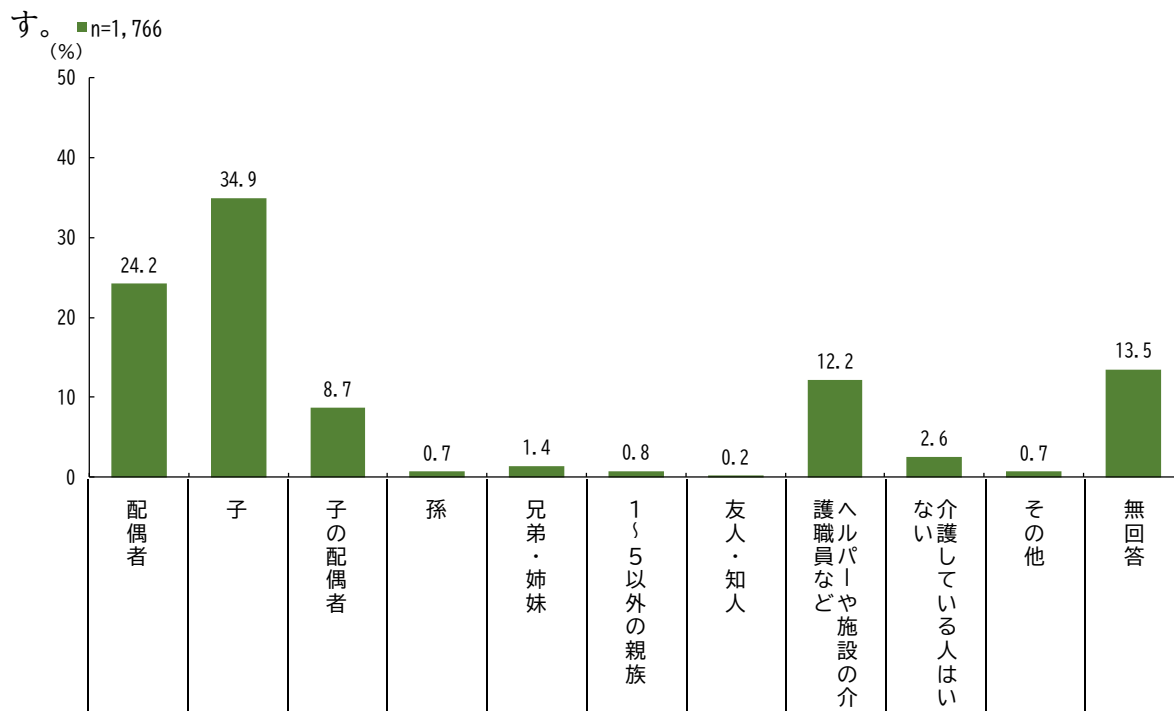
問18 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

介護を主な理由として、過去1年の間に退職した方がいるかは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.5%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.5%となっています。



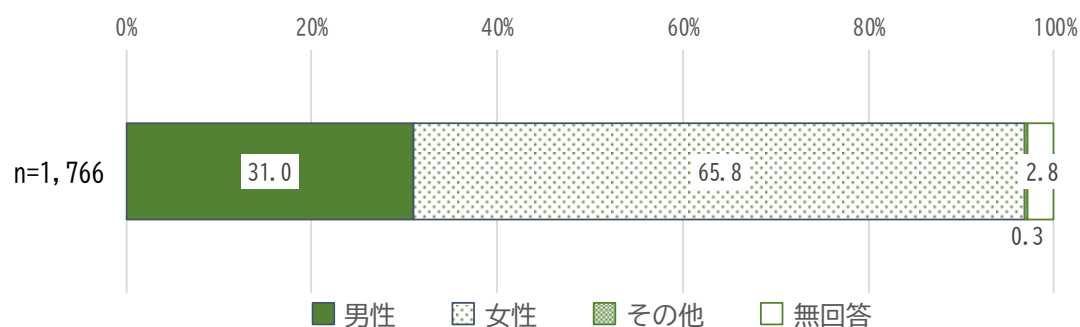
問19 中心となって介護をしている方は、介護されている方（あて名のご本人）から見てどのような続柄ですか。

中心介護者の続柄は、「子」が34.9%と最も高く、次いで「配偶者」が24.2%となっています。



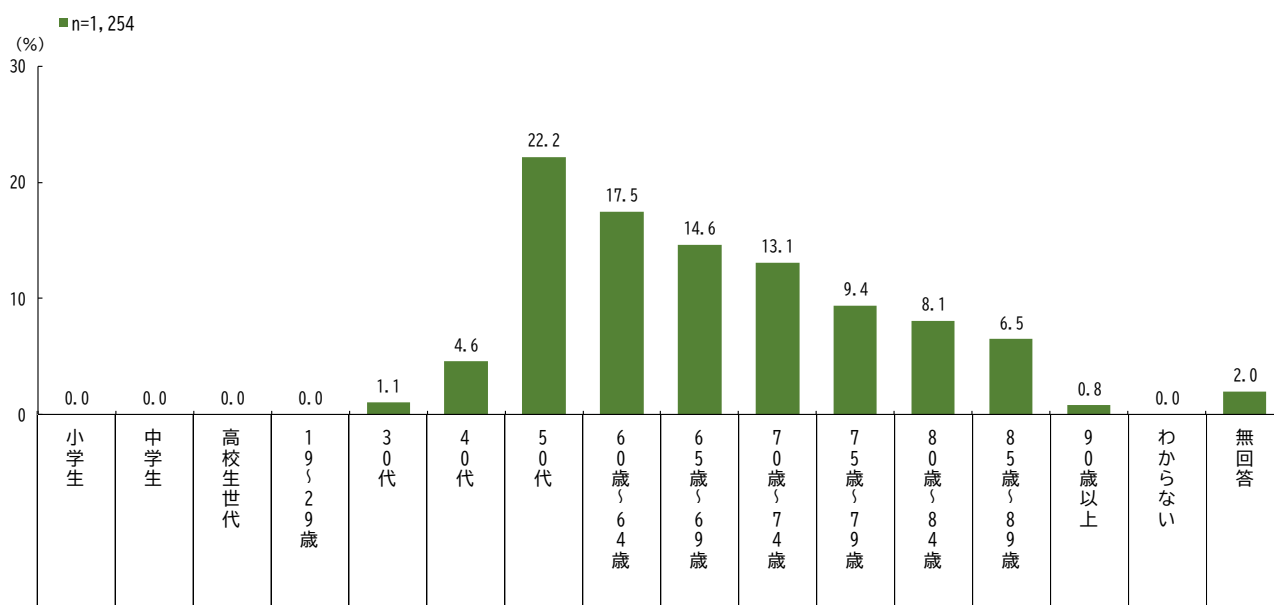
問20 中心となって介護をしている方の性別をお答えください。

中心介護者の性別は、「男性」が31.0%、「女性」が65.8%となっています。



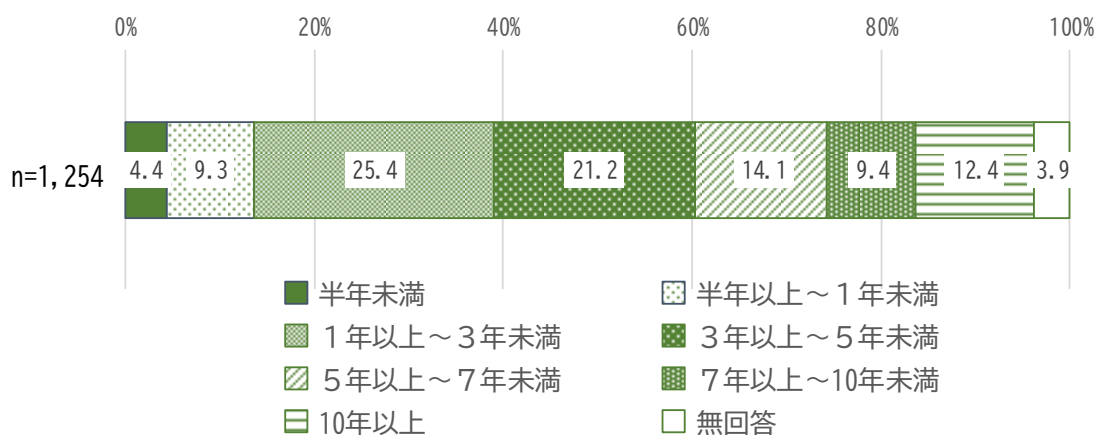
問21 中心となって介護をしている方の年齢はいくつですか。

中心介護者の年齢は、「50代」が22.2%と最も高く、次いで「60歳～64歳」が17.5%となっています。



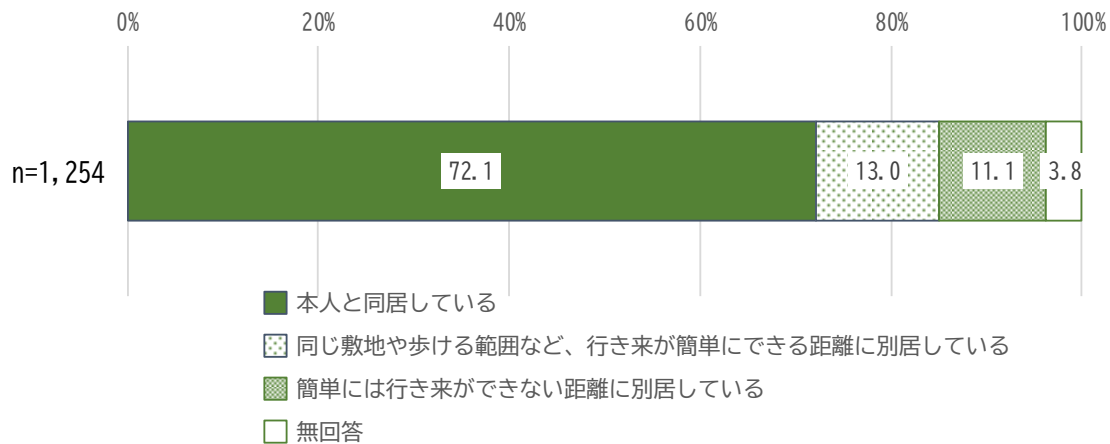
問22 中心となって介護をしている方が介護を始めてから現在までの期間は、どのくらいですか。

中心介護者の介護期間は、「1年以上～3年未満」が25.4%と最も高く、次いで「3年以上～5年未満」が21.2%となっています。



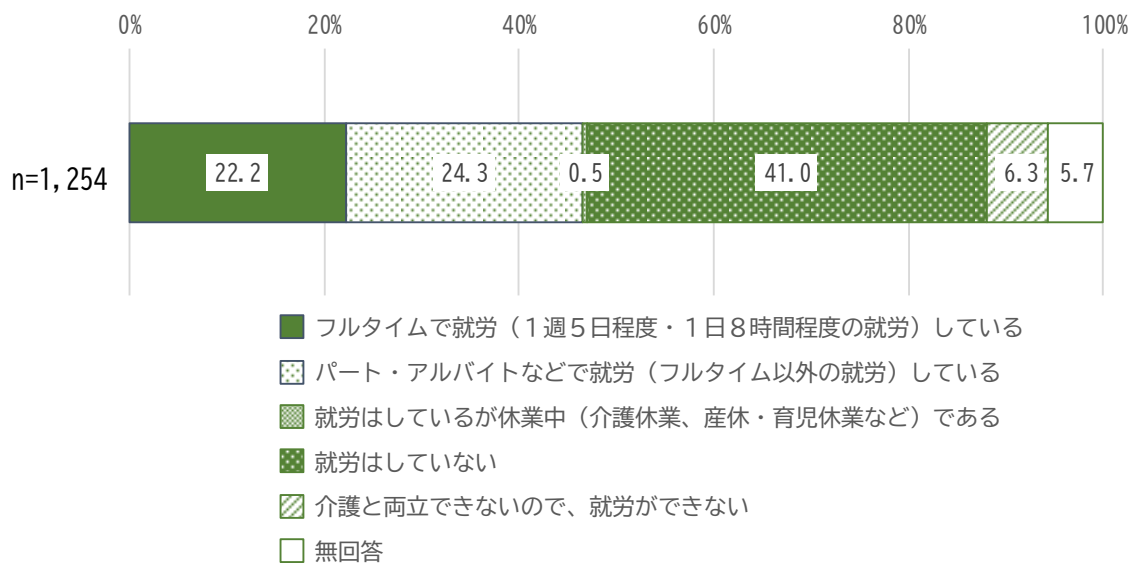
### 問23 中心となって介護をしている方は、同居されていますか。

あて名の本人と中心介護者の同居状況は、「本人と同居している」が 72.1%、「同じ敷地や歩ける範囲など、行き来が簡単にできる距離に別居している」が 13.0%、「簡単には行き来ができない距離に別居している」が 11.1%となっています。



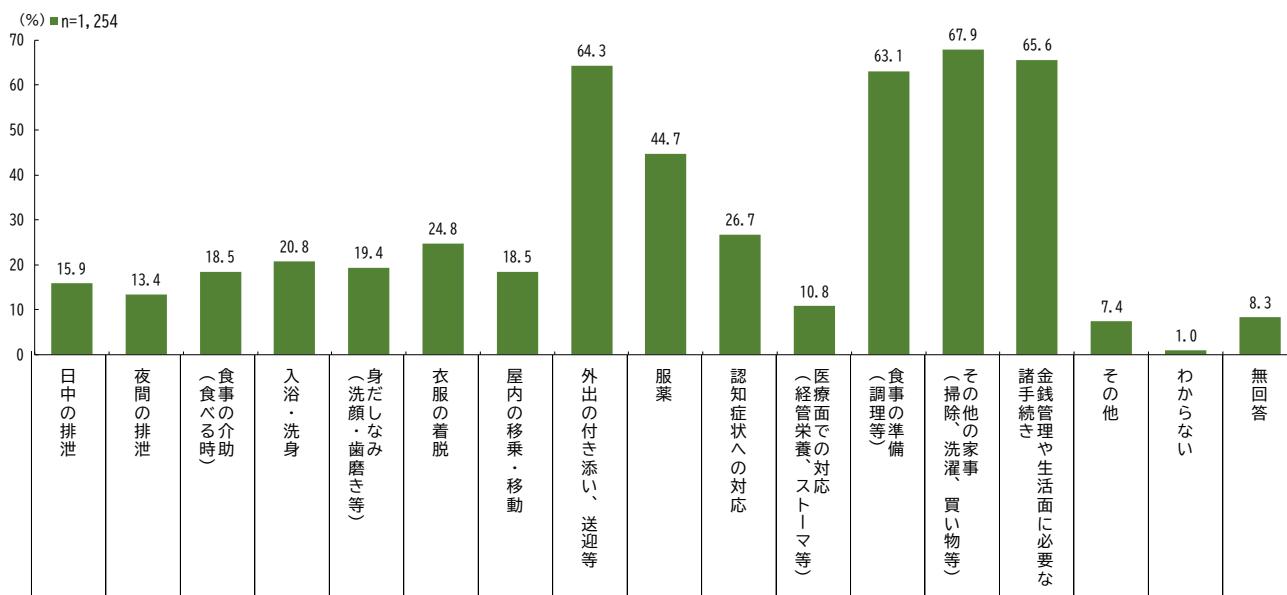
### 問24 中心となって介護をしている方は、就労していますか。

中心介護者の就労状況は、「就労はしていない」が 41.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで就労（フルタイム以外の就労）している」が 24.3%となっています。



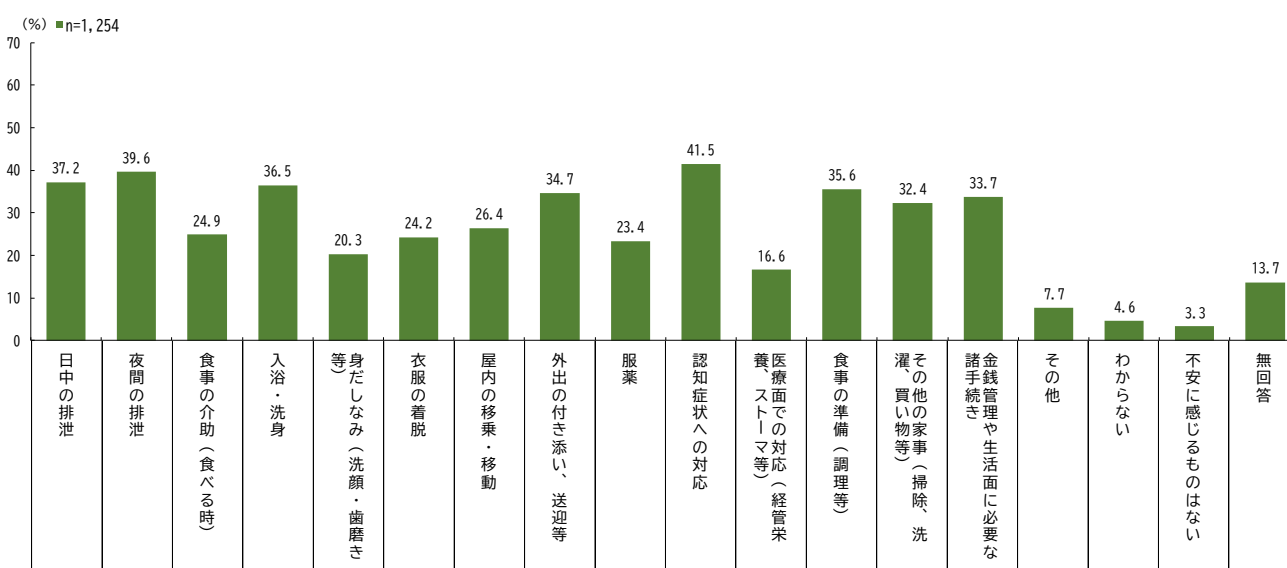
問25 現在、中心となって介護をしている方が行っている身体介護や生活援助について、ご回答ください。

中心介護者が行っている身体介護や生活援助は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 67.9%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 65.6%となっています。



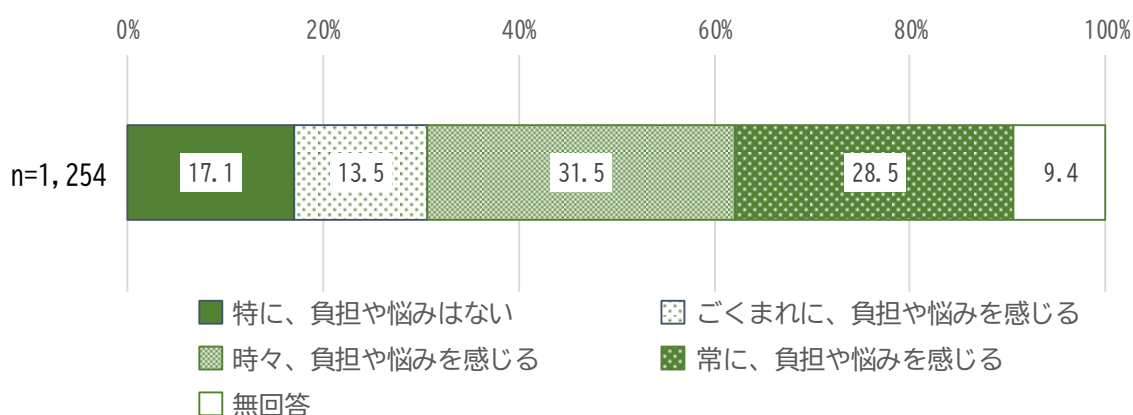
問26 現在の生活を継続していくにあたって、中心となって介護をしている方が将来不安に感じる身体介護や生活援助について、ご回答ください。

現在の生活を継続していくにあたり、中心介護者が将来不安に感じる身体介護や生活援助は、「認知症状への対応」が 41.5%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が 39.6%となっています。



問27 中心となって介護をしている方は、介護を行う上で負担や悩みを感じることがありますか。

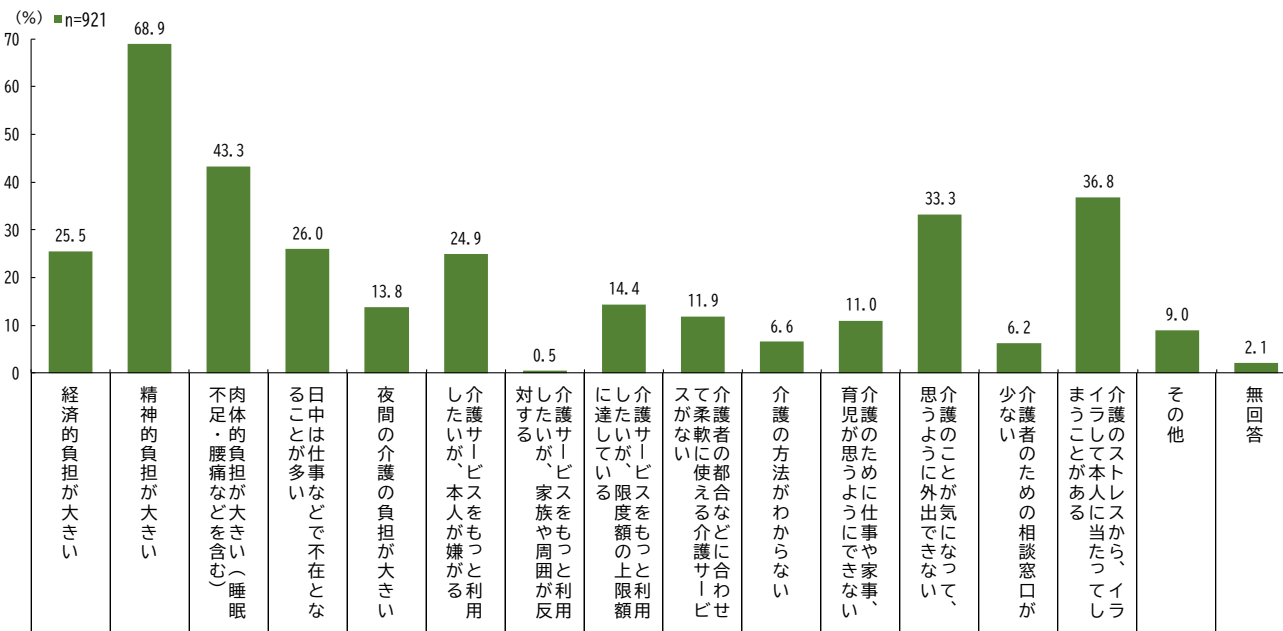
中心介護者が介護を行う上で負担や悩みを感じるかは、「時々、負担や悩みを感じる」が31.5%と最も高く、次いで「常に、負担や悩みを感じる」が28.5%となっています。



問27-1 問27で「負担や悩みを感じる」に○をつけた方にうかがいます。

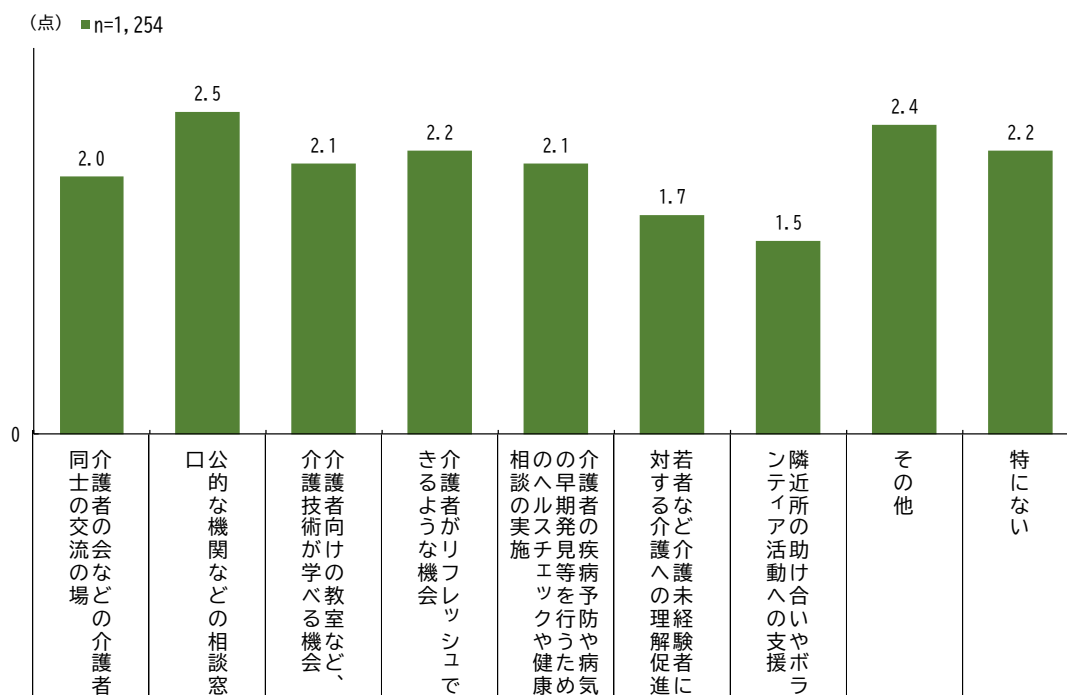
中心となって介護をしている方の介護を行う上での負担や悩みは何ですか。

介護を行う上で負担や悩みを感じる中心介護者のその内容は、「精神的負担が大きい」が68.9%と最も高く、次いで「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛などを含む）」が43.3%となっています。



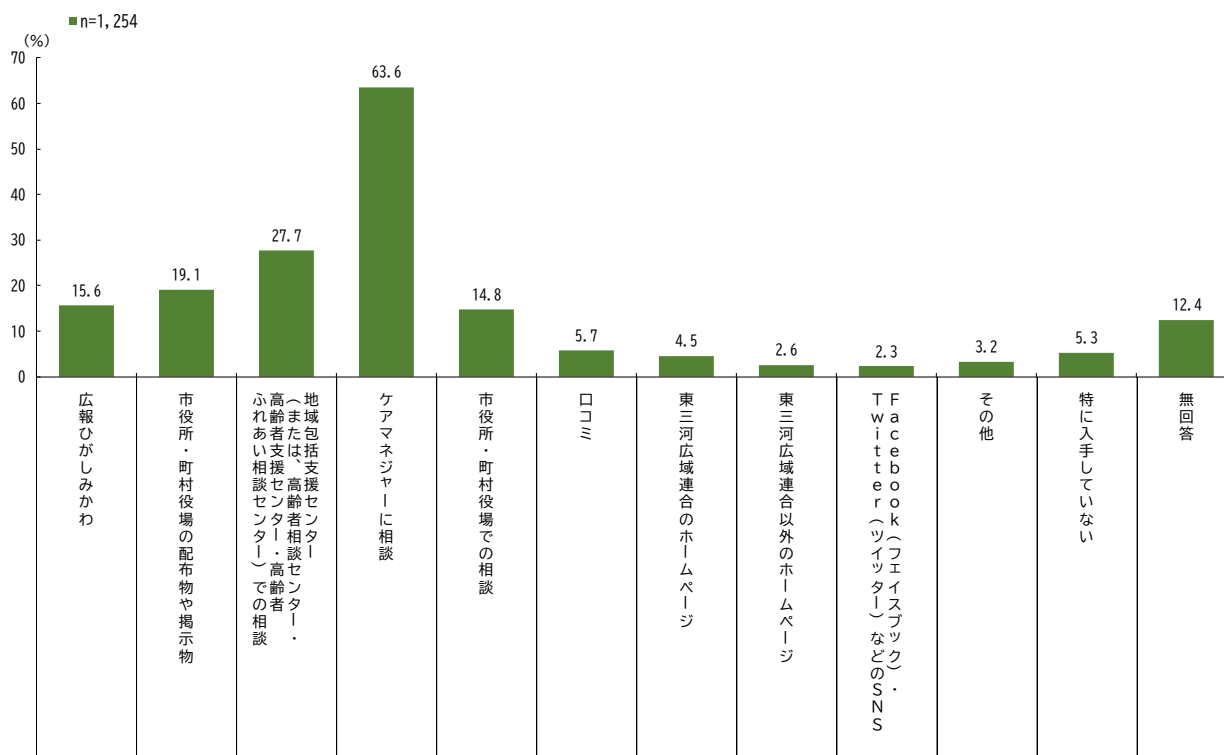
問28 在宅介護を継続するにあたって、中心となって介護をしている方が、家族介護者支援として充実を望むことは何ですか。最も当てはまるもの、2番目に当てはまるもの、3番目に当てはまるものをそれぞれ選び、選択肢の右の欄に数字を記入してください。

中心介護者が、家族介護者支援として充実を望むことは、「その他」を除くと「公的機関などの相談窓口」が2.5点と最も高く、次いで「介護者がリフレッシュできるような機会」が2.2点となっています。



問29 中心となって介護をしている方は、介護に関する情報を知りたい場合、どのように入手しますか。

中心介護者の介護に関する情報入手経路は、「ケアマネジャーに相談」が63.6%と最も高く、次いで「地域包括支援センターでの相談」が27.7%となっています。



高齢者等実態把握調査・  
介護保険事業者実態調査  
調査結果報告書（豊川市）  
【概要版】

---

令和5年6月

発 行 : 豊川市福祉部介護高齢課  
企画・編集 : 豊川市福祉部介護高齢課

---